

# 大竹市国民健康保険 第2期データヘルス計画

平成30年3月  
大竹市

<b>第1章 計画策定について</b>		
1. 背景		3
2. 計画期間		3
3. 基本方針		4
4. データヘルス計画の位置づけ		5
5. 実施体制・関係者連携		5
<b>第2章 現状と課題把握</b>		
1. 保険者の特性把握		6
(1) 基本情報		6
(2) 医療費等の状況		8
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況		9
① 特定健康診査		9
② 特定保健指導		11
(4) 介護保険の状況		13
(5) 主たる死因の状況		17
2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)		19
3. 医療情報分析結果		23
4. 分析結果に基づく健康課題の把握		25
(1) 分析結果		25
(2) 分析結果に基づく課題とその対策		28
① 正しい生活習慣の普及啓発及び特定健康診査の受診率向上		28
② 特定健診・特定保健指導も活用した生活習慣病予防		28
③ 生活習慣病の重篤化リスクのある患者への重症化予防		29
④ 受診行動適正化		29
⑤ ジェネリック医薬品普及率の向上		29
<b>第3章 保健事業実施計画</b>		
1. 各事業の目的と概要一覧		31
2. 保健事業実施に係る分析結果		33
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析		33
(2) 特定健康診査に係る分析		34
(3) 特定保健指導に係る分析		36
(4) 健診異常値放置者に係る分析		38
(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析		40
(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析		42
(7) 受診行動適正化に係る分析		46
(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析		49
3. 各事業の実施内容と評価方法		52
(1) 事業内容の掲載		52
(2) 健診異常値放置者受診勧奨事業		53
(3) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業		54

	(4) 受診行動適正化指導事業(重複受診、頻回受診、重複服薬)	56
	(5) ジェネリック医薬品差額通知事業	57
	(6) 糖尿病性腎症重症化予防事業	59
第4章 その他		
	1. データヘルス計画の見直し	60
	(1) 評価	60
	(2) 評価時期	60
	2. 計画の公表・周知	60
	3. 個人情報の取り扱い	60
	4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	60
詳細分析		
	1. 大分類による疾病別医療費統計	
	2. 中分類による疾病別医療費統計	
地区分析		
	1. 大分類による疾病別医療費地区別統計	
	2. 中分類による疾病別医療費地区別統計	
年度別 特定健康診査結果分析		
	1. 有所見者割合	
	2. 質問別回答状況	
巻末資料		
	1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	
	2. 用語解説集	
	3. 疾病分類表	

# 第1章 計画策定について

## 1. 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちにに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

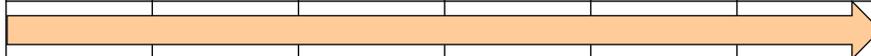
レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

- ※医療費分解技術(特許第4312757号) レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。
- ※傷病管理システム(特許第5203481号) レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。
- ※レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号) 中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

## 2. 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度の6年間とする。

### ■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

### 3. 基本方針

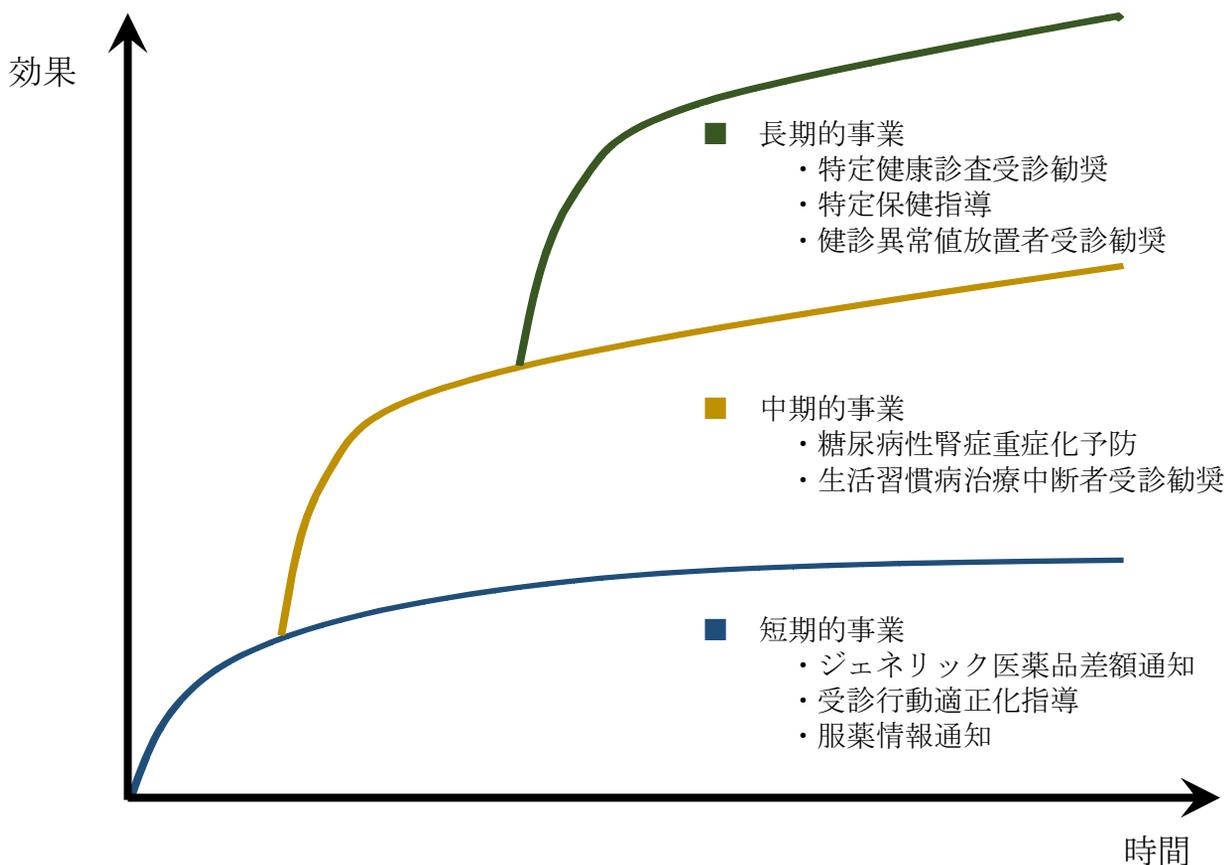
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。これら事業を大竹市国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



## 4. データヘルス計画の位置づけ

---

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「都道府県健康増進計画」及び「市町村健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

## 5. 実施体制・関係者連携

---

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、関係部局(保健衛生、介護部門等)・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進する。そのために、課題や評価について共有する場としてのプロジェクトチーム等を設置し、一体となって保健事業の実施に当たる。

また、医師会、栄養士会等の外部有識者や被保険者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等の活用、または新たな会議体の設置、被保険者向け説明会等を行い、外部有識者からの支援体制を強化し、被保険者自身が当事者意識を持って主体的・積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営する。

### ■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ  
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト  
単年分析  
平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)  
年度分析  
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12カ月分)  
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12カ月分)  
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)
- ・ 健康診査データ  
単年分析  
平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)  
年度分析  
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12カ月分)  
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)  
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)

# 第2章 現状と課題把握

## 1. 保険者の特性把握

### (1) 基本情報

本市の平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は29.3%であり、県との比較で1.2倍、同規模との比較でほぼ等倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は7,020人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は24.6%である。国民健康保険被保険者平均年齢は55.6歳である。

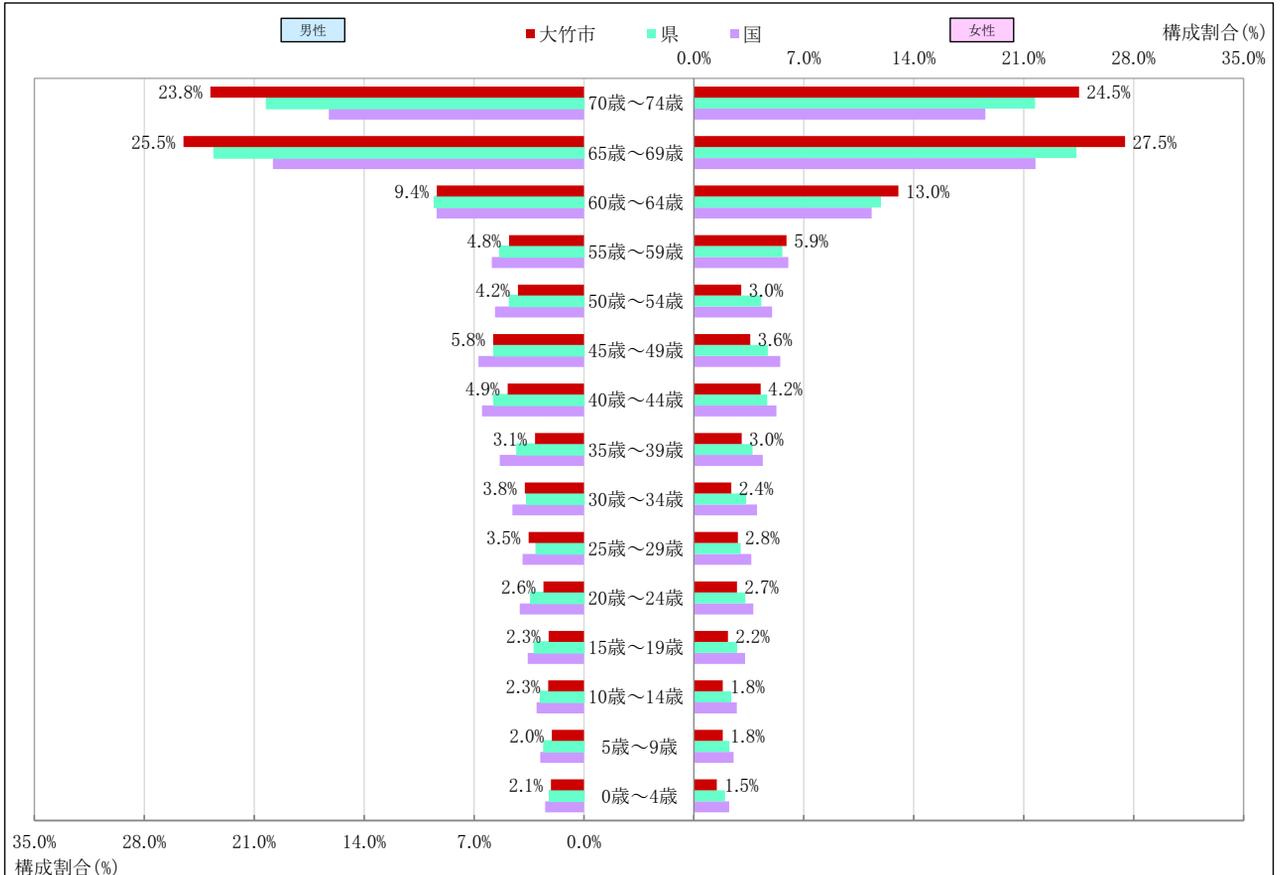
人口構成概要(平成28年度)

	人口総数(人)	高齢化率(65歳以上)	国保被保険者数(人)	国保加入率	国保被保険者平均年齢(歳)	出生率	死亡率
大竹市	28,506	29.3%	7,020	24.6%	55.6	6.4%	11.3%
県	2,786,363	24.1%	408,451	24.8%	53.3	9.2%	9.9%
同規模	34,868	29.1%	8,742	25.1%	53.9	7.2%	13.0%
国	124,852,975	23.2%	32,587,223	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

※「県」は広島県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

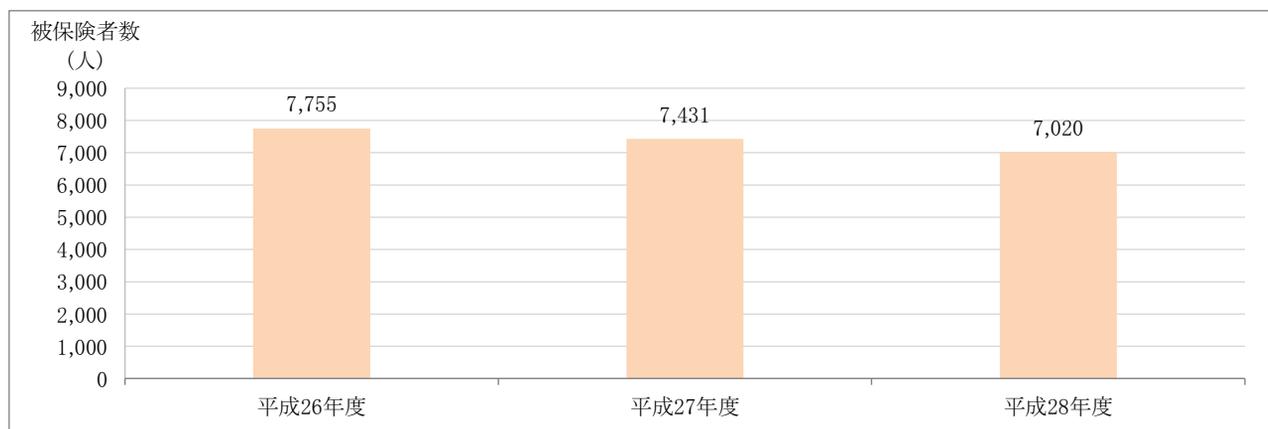
本市の平成26年度から平成28年度における、人口構成概要を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、国民健康保険被保険者数7,020人は平成26年度7,755人より735人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢55.6歳は平成26年度54.4歳より1.2歳上昇している。

### 年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
大竹市	平成26年度	28,506	29.3%	7,755	27.2%	54.4	6.4%	11.3%
	平成27年度	28,506	29.3%	7,431	26.1%	55.0	6.4%	11.3%
	平成28年度	28,506	29.3%	7,020	24.6%	55.6	6.4%	11.3%
県	平成26年度	2,786,363	24.1%	442,260	26.8%	52.5	9.2%	9.9%
	平成27年度	2,786,363	24.1%	427,130	25.9%	52.9	9.2%	9.9%
	平成28年度	2,786,363	24.1%	408,451	24.8%	53.3	9.2%	9.9%
同規模	平成26年度	34,457	29.1%	9,406	27.3%	52.8	7.2%	13.0%
	平成27年度	34,460	29.2%	9,061	26.3%	53.4	7.1%	13.1%
	平成28年度	34,868	29.1%	8,742	25.1%	53.9	7.2%	13.0%
国	平成26年度	124,852,975	23.2%	32,318,324	28.8%	50.3	8.6%	9.6%
	平成27年度	124,852,975	23.2%	33,767,446	28.2%	50.4	8.6%	9.6%
	平成28年度	124,852,975	23.2%	32,587,223	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

### 年度別 被保険者数



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

## (2) 医療費等の状況

本市の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

本市の千人当たり病床数、医師数、外来患者数、入院患者数は県、同規模、国と比較して多い。

### 医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	大竹市	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.4	0.4	0.4	0.3
診療所数	4.0	3.4	2.9	3.0
病床数	124.8	63.3	59.8	46.8
医師数	13.7	9.4	7.5	9.2
外来患者数	810.9	716.6	698.5	668.3
入院患者数	27.6	22.0	23.6	18.2
受診率	838.5	738.6	722.1	686.5
一件当たり医療費(円)				
一般(円)	36,810	36,730	38,460	35,330
退職(円)	36,530	36,600	38,470	35,270
後期(円)	44,910	41,390	38,220	37,860
後期(円)	0	0	0	0
外来				
外来費用の割合	53.8%	58.5%	56.9%	60.1%
外来受診率	810.9	716.6	698.5	668.3
一件当たり医療費(円)	20,490	22,140	22,610	21,820
一人当たり医療費(円)	16,620	15,870	15,790	14,580
一日当たり医療費(円)	12,650	13,400	14,550	13,910
一件当たり受診回数	1.6	1.7	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	46.2%	41.5%	43.1%	39.9%
入院率	27.6	22.0	23.6	18.2
一件当たり医療費(円)	516,520	512,630	507,410	531,780
一人当たり医療費(円)	14,250	11,260	11,980	9,670
一日当たり医療費(円)	28,140	31,210	29,780	34,030
一件当たり在院日数	18.4	16.4	17.0	15.6

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### (3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

#### ① 特定健康診査

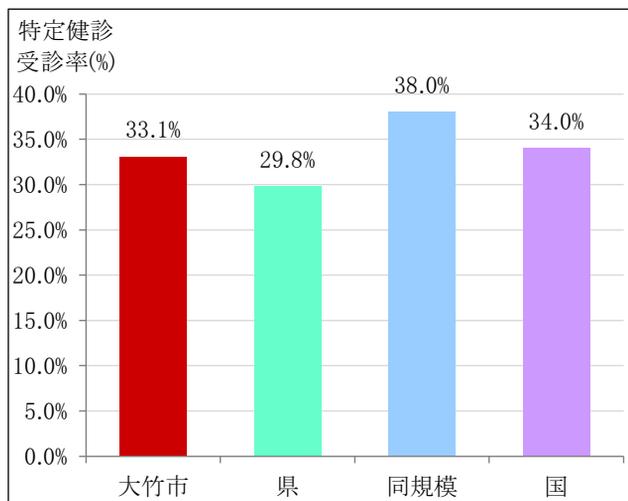
本市の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。  
本市の特定健診受診率は、県と比較して高いが、同規模、国と比較して低い。  
また、男女ともに年齢が高いほど受診率が高い。

#### 特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
大竹市	33.1%
県	29.8%
同規模	38.0%
国	34.0%

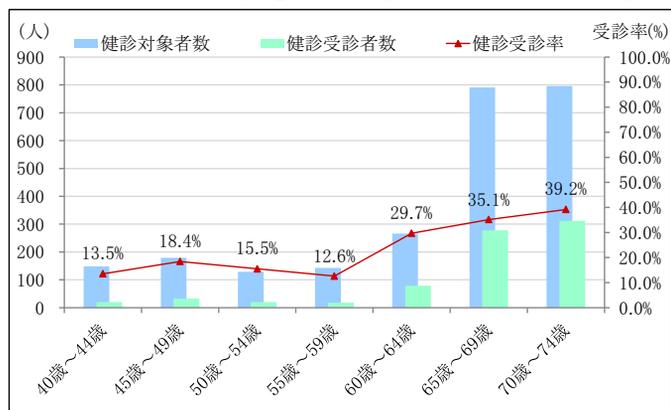
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

#### 特定健康診査受診率(平成28年度)

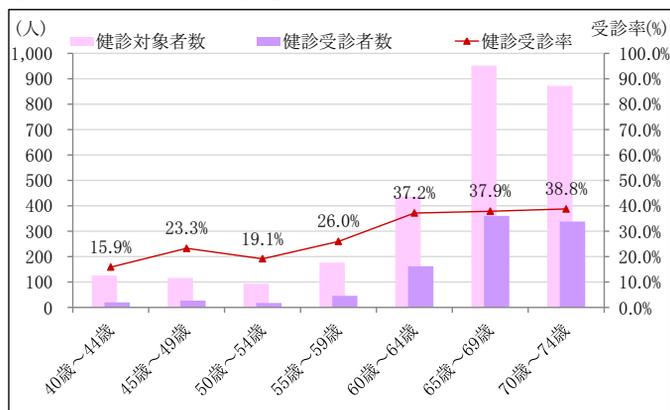


出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

#### (男性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



#### (女性)年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

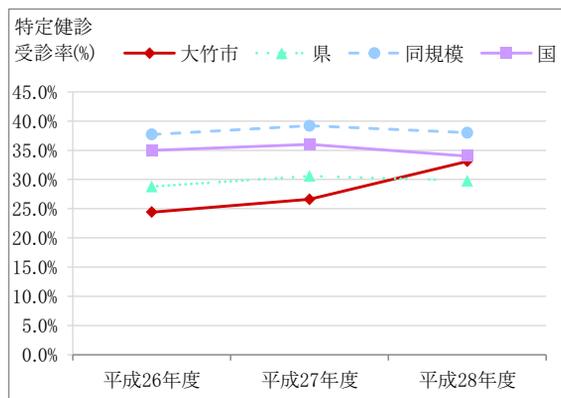
本市の平成26年度から平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示す。平成28年度の特定健康診査受診率33.1%は平成26年度24.4%より8.7ポイント上昇している。

### 年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
大竹市	24.4%	26.6%	33.1%
県	28.8%	30.6%	29.8%
同規模	37.7%	39.2%	38.0%
国	35.0%	36.0%	34.0%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

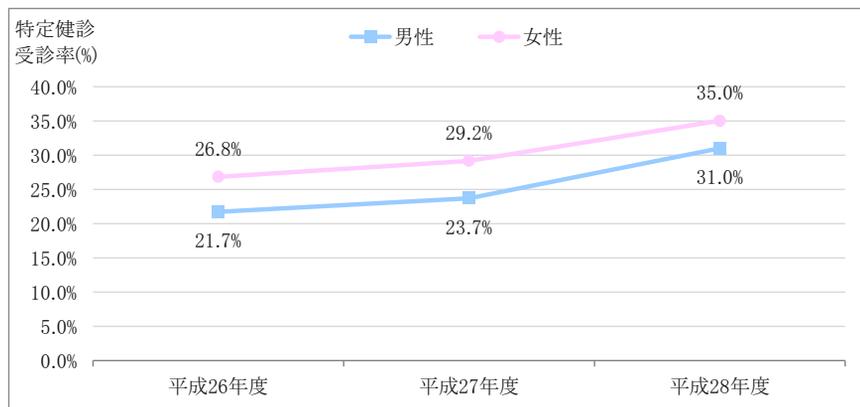
### 年度別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成28年度受診率31.0%は平成26年度21.7%より9.3ポイント上昇しており、女性の平成28年度受診率35.0%は平成26年度26.8%より8.2ポイント上昇している。

### 年度・男女別 特定健康診査受診率



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

## ②特定保健指導

本市の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

本市の支援対象者数割合は、県、同規模、国と比較して多い。

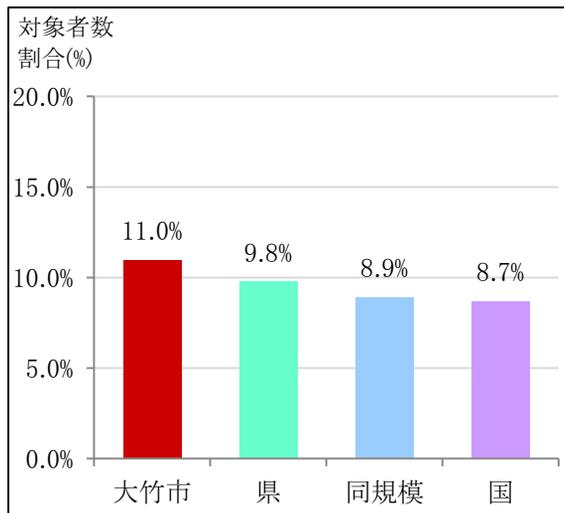
### 特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援対象者数割合	積極的支援対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導実施率
大竹市	11.0%	2.5%	13.5%	13.2%
県	9.8%	2.4%	12.2%	4.1%
同規模	8.9%	3.1%	12.0%	8.7%
国	8.7%	3.2%	11.9%	4.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

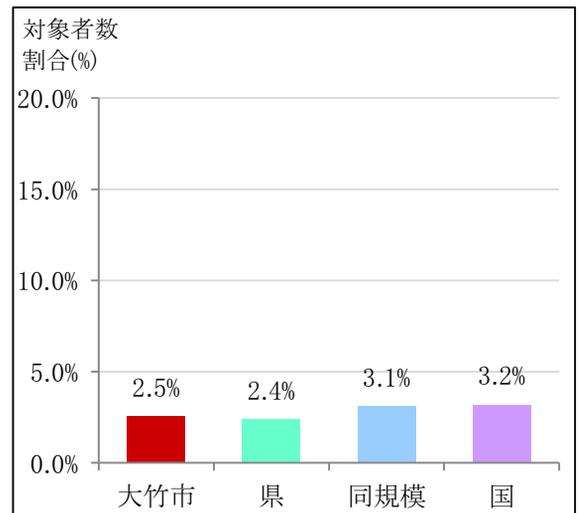
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



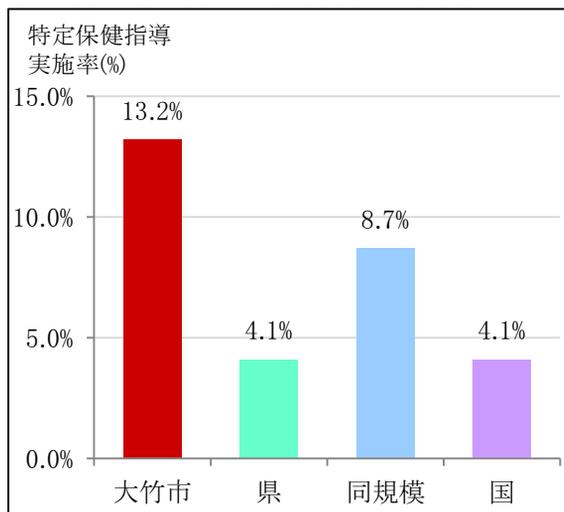
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。平成28年度の特定保健指導実施率13.2%は平成26年度42.8%より29.6ポイント低下している。

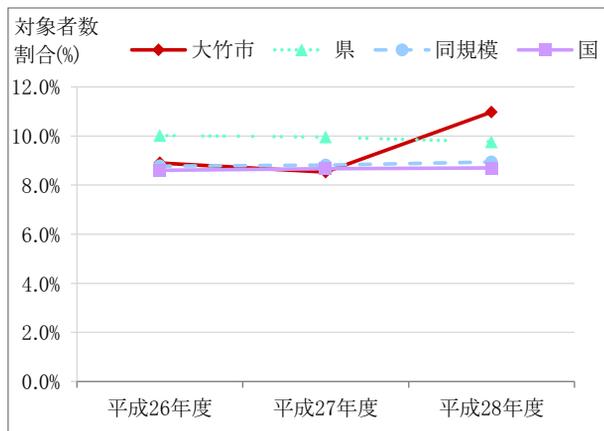
### 年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
大竹市	8.9%	8.5%	11.0%	3.0%	1.7%	2.5%	11.9%	10.2%	13.5%	42.8%	43.2%	13.2%
県	10.0%	10.0%	9.8%	3.2%	2.9%	2.4%	13.2%	12.9%	12.2%	19.2%	19.5%	4.1%
同規模	8.8%	8.8%	8.9%	3.4%	3.3%	3.1%	12.2%	12.1%	12.0%	35.3%	36.5%	8.7%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	11.9%	19.9%	20.2%	4.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

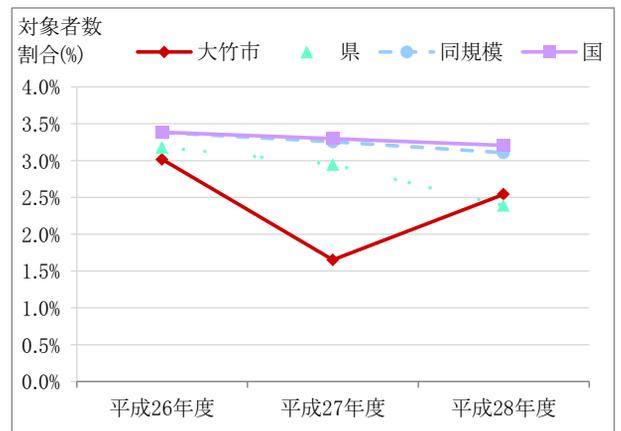
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 動機付け支援対象者数割合



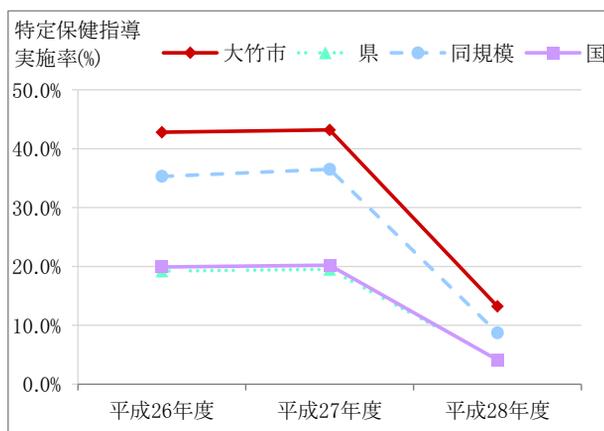
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 積極的支援対象者数割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 特定保健指導実施率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

#### (4) 介護保険の状況

本市の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

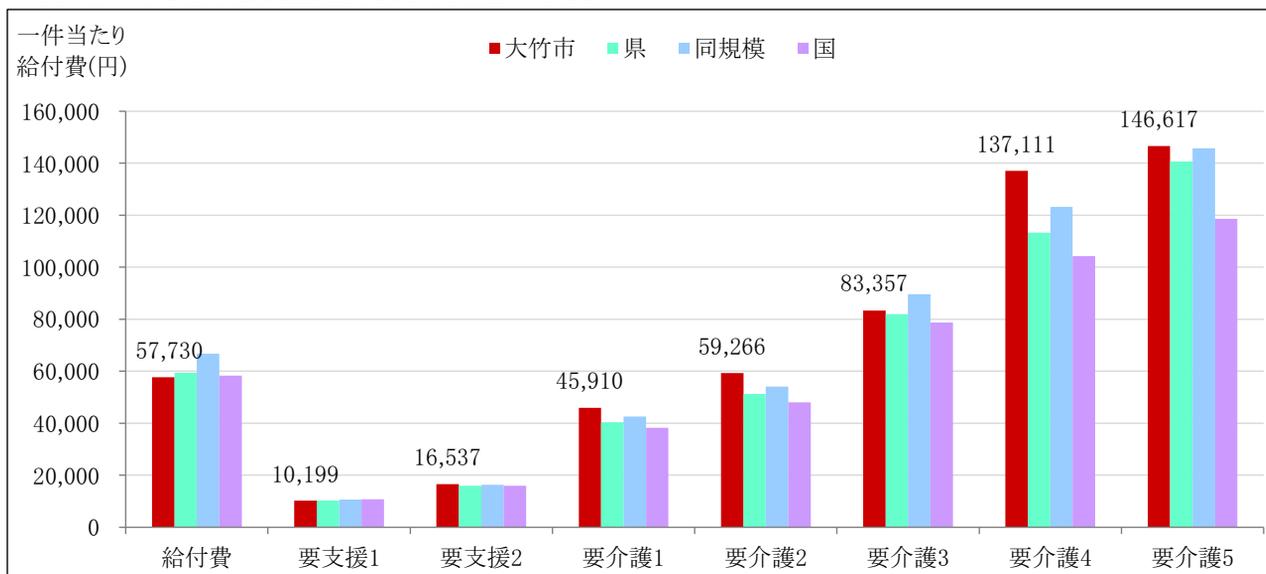
本市の介護認定率は県、同規模、国と比較して低いが、要介護1・2・4・5の一件当たり給付費は、高くなっている。

#### 認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	大竹市	県	同規模	国
認定率	18.9%	22.6%	20.5%	21.2%
認定者数(人)	1,606	102,376	550,688	6,034,085
第1号(65歳以上)	1,580	100,499	539,524	5,882,340
第2号(40～64歳)	26	1,877	11,164	151,745
一件当たり給付費(円)				
給付費	57,730	59,456	66,708	58,349
要支援1	10,199	10,213	10,605	10,730
要支援2	16,537	15,892	16,324	15,996
要介護1	45,910	40,346	42,565	38,200
要介護2	59,266	51,202	54,146	48,047
要介護3	83,357	81,929	89,614	78,791
要介護4	137,111	113,270	123,253	104,264
要介護5	146,617	140,671	145,754	118,599

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

#### 一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

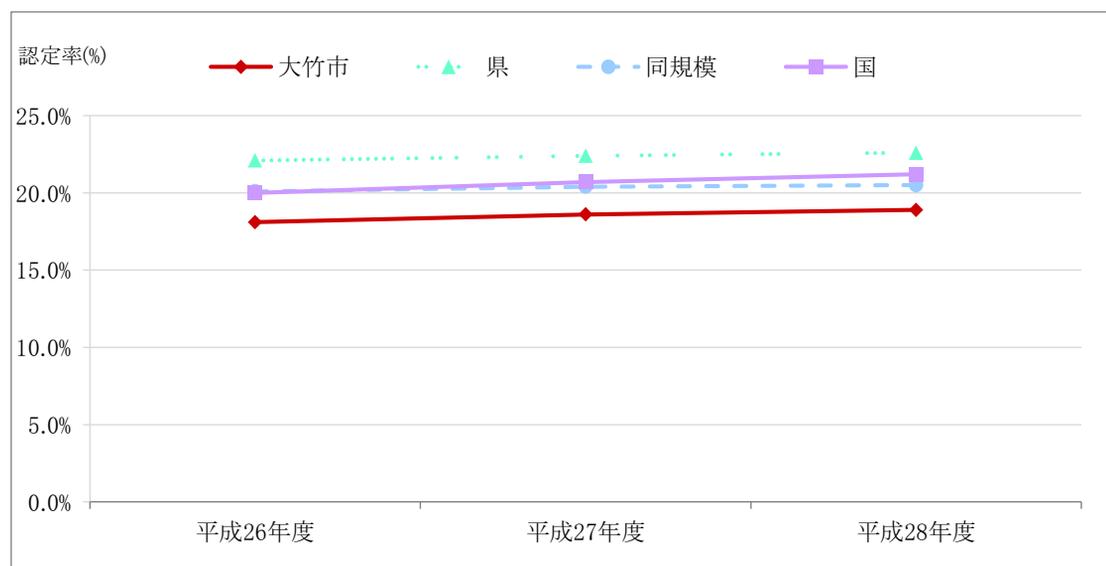
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率18.9%は平成26年度18.1%より0.8ポイント上昇しており、平成28年度の認定者数1,606人は平成26年度1,549人より57人増加している。

### 年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
			第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)	
大竹市	平成26年度	18.1%	1,549	1,528	21
	平成27年度	18.6%	1,599	1,575	24
	平成28年度	18.9%	1,606	1,580	26
県	平成26年度	22.1%	100,625	98,537	2,088
	平成27年度	22.4%	101,689	99,737	1,952
	平成28年度	22.6%	102,376	100,499	1,877
同規模	平成26年度	20.1%	523,363	511,692	11,671
	平成27年度	20.4%	529,235	518,066	11,169
	平成28年度	20.5%	550,688	539,524	11,164
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,034,085	5,882,340	151,745

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると5,474人となり、認定者は平均3.4疾病を有していることがわかる。有病割合が高い疾病は1位「心臓病」、2位「高血圧症」などで、上位を生活習慣病が占めている。

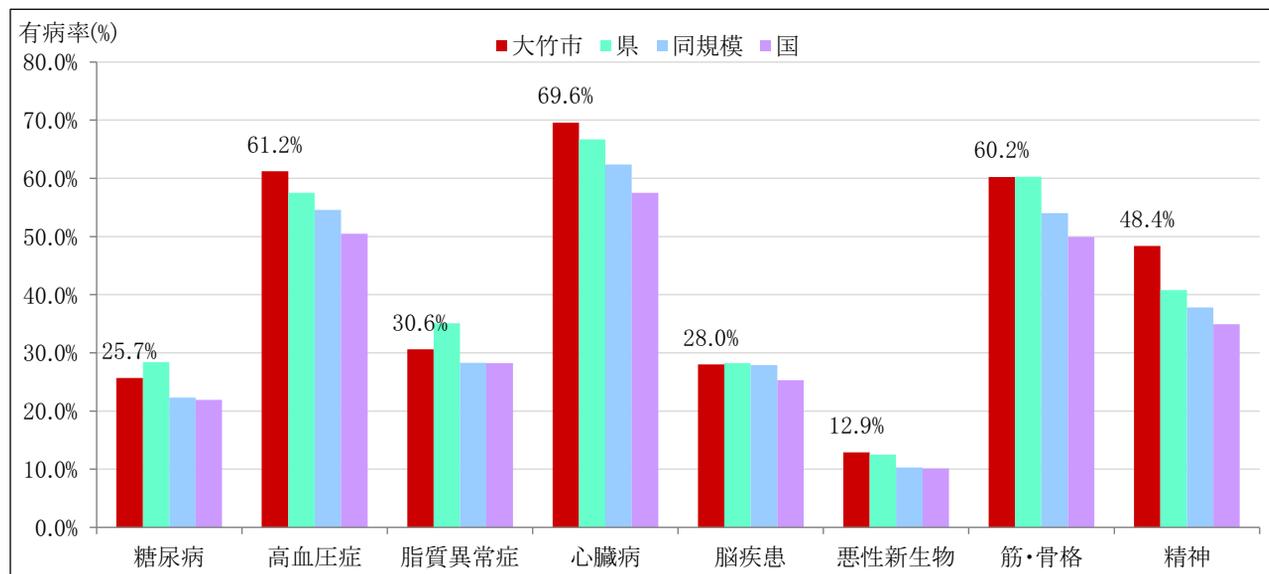
### 認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分	大竹市	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	1,606		102,376		550,688		6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	408	29,183		125,517		1,343,240	
	有病率	25.7%	28.4%	6	22.3%	7	21.9%	7
高血圧症	実人数(人)	991	59,461	3	305,818	2	3,085,109	2
	有病率	61.2%	57.5%	3	54.6%	2	50.5%	2
脂質異常症	実人数(人)	512	36,322	5	159,712	5	1,733,323	5
	有病率	30.6%	35.1%	5	28.3%	5	28.2%	5
心臓病	実人数(人)	1,134	68,664	1	349,121	1	3,511,354	1
	有病率	69.6%	66.7%	1	62.4%	1	57.5%	1
脳疾患	実人数(人)	453	28,842	7	154,757	6	1,530,506	6
	有病率	28.0%	28.2%	7	27.9%	6	25.3%	6
悪性新生物	実人数(人)	216	12,864	8	58,389	8	629,053	8
	有病率	12.9%	12.5%	8	10.3%	8	10.1%	8
筋・骨格	実人数(人)	970	61,838	2	303,080	3	3,051,816	3
	有病率	60.2%	60.3%	2	54.0%	3	49.9%	3
精神	実人数(人)	790	42,307	4	213,249	4	2,141,880	4
	有病率	48.4%	40.8%	4	37.8%	4	34.9%	4

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数3.4疾病は平成26年度3.5疾病より減少している。

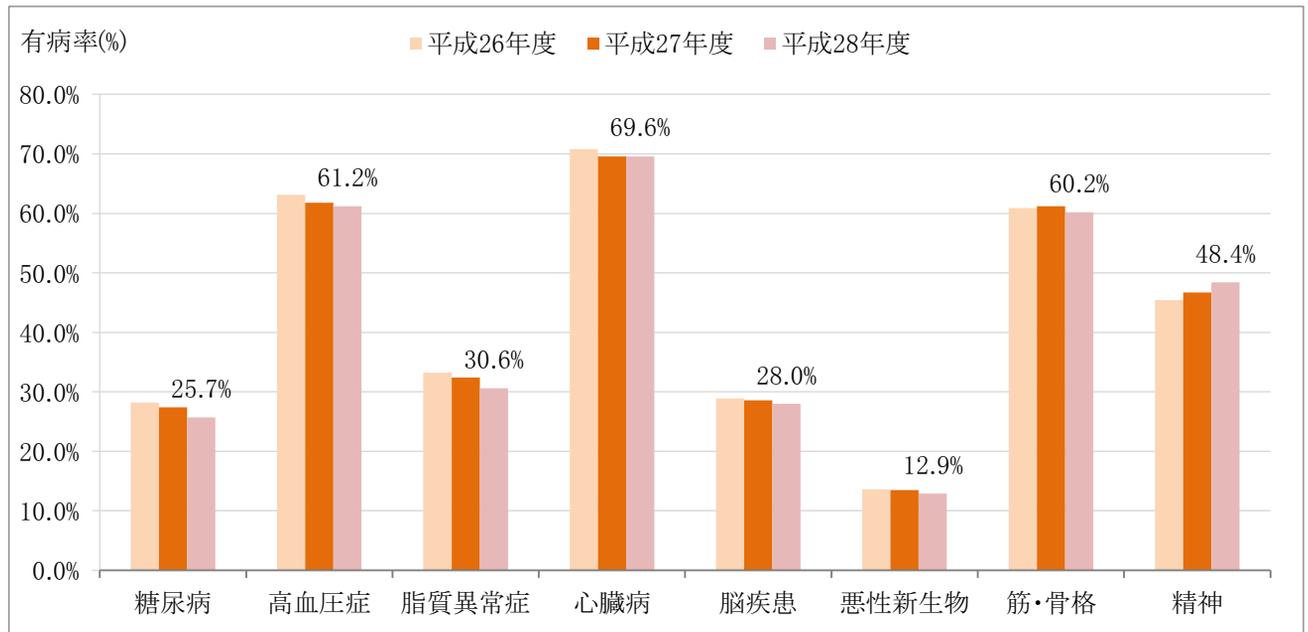
### 年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	大竹市						県			同規模			国			
	平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
認定者数(人)	1,549		1,599		1,606		100,625	101,689	102,376	523,363	529,235	550,688	5,324,880	5,751,982	6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	464	6	431	7	408	7	28,016	29,280	29,183	113,710	118,155	125,517	1,089,285	1,241,024	1,343,240
	有病率(%)	28.2%		27.4%		25.7%		27.2%	28.2%	28.4%	21.2%	21.8%	22.3%	20.3%	21.4%	21.9%
高血圧症	実人数(人)	991	2	992	2	991	2	58,089	59,250	59,461	282,596	289,746	305,818	2,551,660	2,865,466	3,085,109
	有病率(%)	63.1%		61.8%		61.2%		56.8%	57.6%	57.5%	53.0%	53.9%	54.6%	47.9%	49.7%	50.5%
脂質異常症	実人数(人)	530	5	517	5	512	5	34,720	35,908	36,322	142,881	149,286	159,712	1,386,541	1,586,963	1,733,323
	有病率(%)	33.2%		32.4%		30.6%		33.9%	34.7%	35.1%	26.5%	27.5%	28.3%	25.7%	27.3%	28.2%
心臓病	実人数(人)	1,107	1	1,131	1	1,134	1	67,316	68,507	68,664	323,192	330,980	349,121	2,914,608	3,261,576	3,511,354
	有病率(%)	70.8%		69.6%		69.6%		66.0%	66.7%	66.7%	60.7%	61.6%	62.4%	54.8%	56.7%	57.5%
脳疾患	実人数(人)	451	7	476	6	453	6	29,655	29,426	28,842	149,715	150,762	154,757	1,324,669	1,455,985	1,530,506
	有病率(%)	28.9%		28.6%		28.0%		29.1%	28.9%	28.2%	28.4%	28.2%	27.9%	25.2%	25.4%	25.3%
悪性新生物	実人数(人)	229	8	223	8	216	8	12,288	12,796	12,864	51,472	54,149	58,389	493,808	569,967	629,053
	有病率(%)	13.6%		13.5%		12.9%		11.9%	12.3%	12.5%	9.6%	9.9%	10.3%	9.2%	9.8%	10.1%
筋・骨格	実人数(人)	989	3	989	3	970	3	60,592	61,937	61,838	276,932	285,059	303,080	2,505,146	2,813,795	3,051,816
	有病率(%)	60.9%		61.2%		60.2%		59.4%	60.3%	60.3%	51.9%	53.0%	54.0%	47.1%	48.9%	49.9%
精神	実人数(人)	728	4	757	4	790	4	40,515	41,709	42,307	191,588	199,244	213,249	1,720,172	1,963,213	2,141,880
	有病率(%)	45.4%		46.7%		48.4%		39.5%	40.5%	40.8%	35.7%	36.8%	37.8%	32.2%	33.8%	34.9%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## (5) 主たる死因の状況

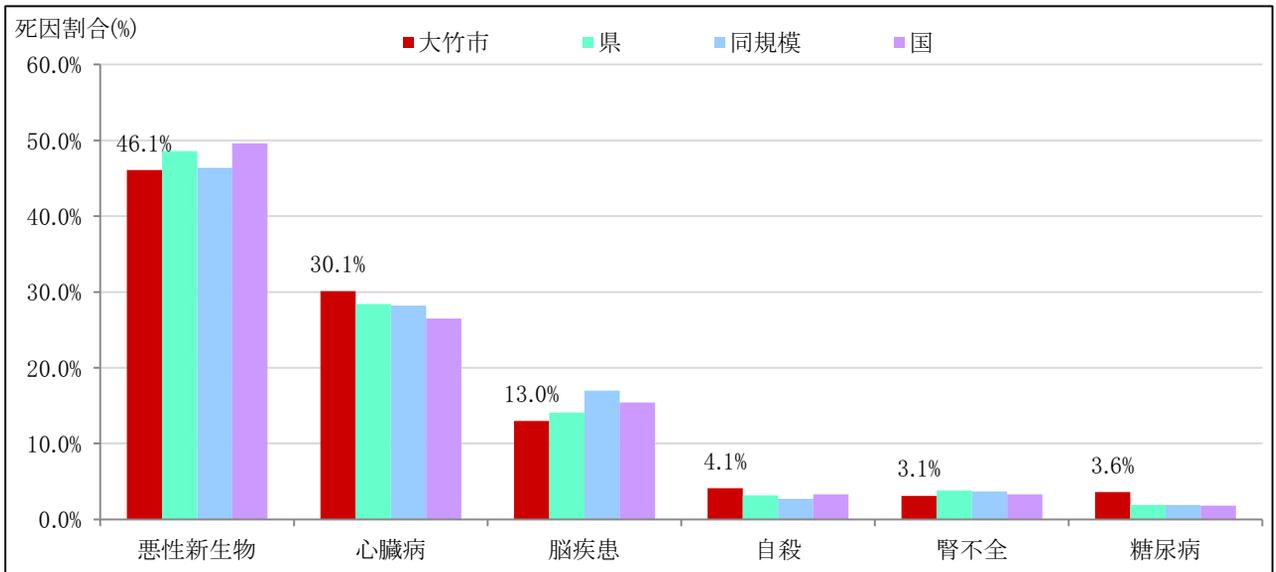
本市の平成28年度における、主たる死因の状況を以下に示す。第1位は「悪性新生物」、第2位は「心臓病」、第3位は「脳疾患」である。特に、「心臓病」による死亡割合は、県、同規模、国と比較して高い。

### 主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	大竹市		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	89	46.1%	48.6%	46.4%	49.6%
心臓病	58	30.1%	28.4%	28.2%	26.5%
脳疾患	25	13.0%	14.1%	17.0%	15.4%
自殺	8	4.1%	3.2%	2.7%	3.3%
腎不全	6	3.1%	3.8%	3.7%	3.3%
糖尿病	7	3.6%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	193				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

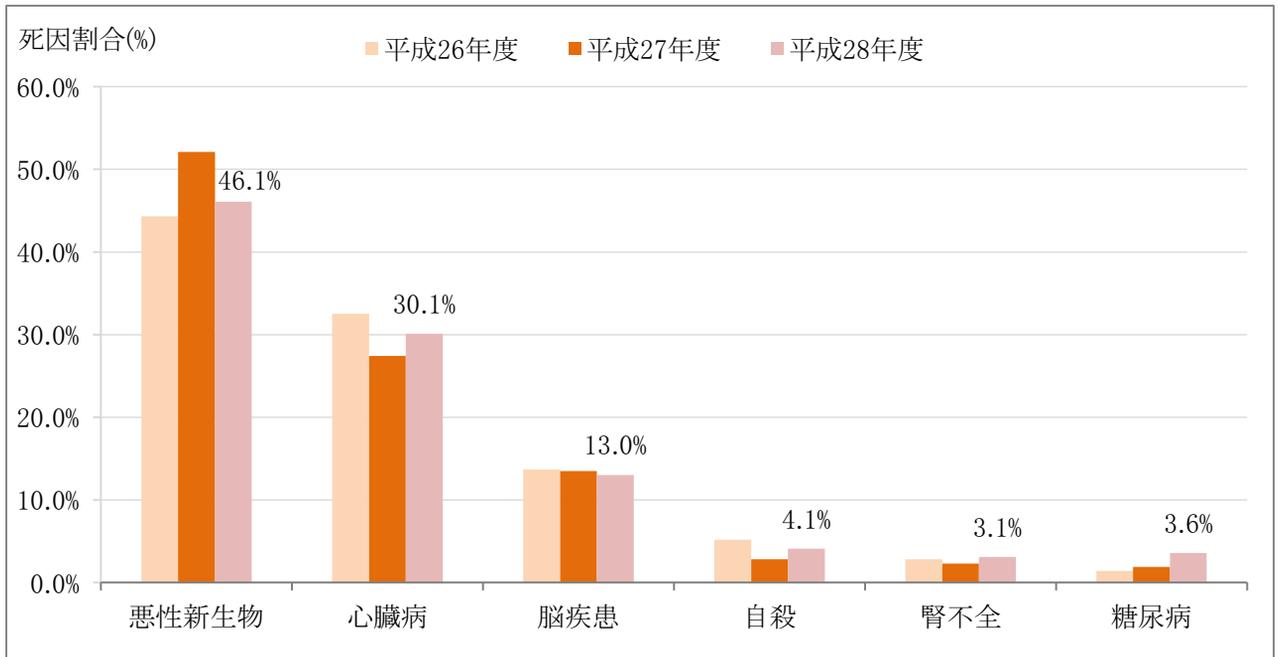
本市の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、「悪性新生物」を死因とする人数89人は平成26年度94人より5人減少しており、「心臓病」を死因とする人数58人は平成26年度69人より11人減少している。また、「脳疾患」を死因とする人数25人は平成26年度29人より4人減少している。

### 年度別 主たる死因の状況

疾病項目	大竹市						県			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度									
悪性新生物	94	112	89	44.3%	52.1%	46.1%	47.3%	47.8%	48.6%	45.0%	45.5%	46.4%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	69	59	58	32.5%	27.4%	30.1%	28.5%	28.4%	28.4%	28.2%	28.3%	28.2%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	29	29	25	13.7%	13.5%	13.0%	15.2%	15.2%	14.1%	18.3%	17.7%	17.0%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	11	6	8	5.2%	2.8%	4.1%	3.4%	3.2%	3.2%	3.1%	2.9%	2.7%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	6	5	6	2.8%	2.3%	3.1%	3.7%	3.7%	3.8%	3.7%	3.6%	3.7%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	3	4	7	1.4%	1.9%	3.6%	2.0%	1.7%	1.9%	1.8%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	212	215	193												

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 2. 過去の取り組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す

事業名	実施内容	目標値 (平成29年度末)
健康教育 (一次予防)	<p>H27 男塾、ノルディック H28 かんたん健康料理教室、男塾、ノルディック H29 かんたん健康料理教室、男塾、ノルディック</p> <p><b>【男塾】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲットは退職後のプラチナ世代、しかも男性のみ。群れることがあまり好きでない世代であるにも関わらず、同性の仲間がいることで継続できている。一度参加されると、経年的に参加されている。</li> <li>・継続することで、何らかの体の変化が個々に現れ、ウォーキング教室に参加されたり、トレッキングを始めたり、旅行など出かけることが増えたり、など、ライフスタイルにも好影響が出ている。</li> <li>・1名何も改善項目がなかったが、この方の場合、「人見知り職場の中でも楽しく過ごせたことはないが、この教室で同世代の仲間ができて、話し、楽しく笑えるようになった」と言われているのは、数値ではないが、自己肯定感や主観的健康観の向上と評価できる。</li> <li>・自分の体を見直すことにより、かなりの高血圧だった方にも関わらず、頑固に医療機関に行かなかったが、受診し服薬することで、より安全に運動や日常生活が過ごせるようになった。</li> </ul> <p>※一見、医療費増額に思えるが、血圧高値を放置することによる重篤な疾病(脳出血など)を防止するような生活習慣につながっていると考える。</p> <p><b>【ノルディックウォーキング教室】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1班：経験者の方・体力のある方、2班：初心者・体力の低い方、ウォーカーズ：ノルディックウォーキングBI(ベーシック・インストラクター)AL(アクティビティ・リーダー)等の3班に分けて運営している。ウォーカーズは教室運営の補助役として参加している。</li> <li>・後ろ突きのノルディックウォーキングのため、あまり知名度がなかったが、広報、特定保健指導後、各教室の参加者などから少しづつ参加者も増えてきた。</li> <li>・参加者の中から、資格を自費でとられたりする方もあり、H29から、ウォーカーズのメンバーと1班のメンバーからの希望者を募り、「ノルディックウォーキングリーダー」養成講座を実施。11月の宮島でのロングウォーキングの時には、3班に分かれ、「先頭のリード役」と「中間・後方のサブ役」に分かれ、参加者をサポートした。</li> </ul> <p><b>【かんたん健康料理教室】</b></p> <p>「講義」と「調理実習」そして「運動」も統一して受講できる、生活習慣病予防に特化した教室</p> <p>H28 ①「講義+運動」と調理実習の2回を1シリーズ②調理実習のみ参加を可能としていた。</p> <p>H29 ①は同じ</p> <p>改善→②調理実習のみはできないこととし、必ず講義を受講してもらいなぜこのメニューなのかを理解してもらう。</p> <p>改善→③講義の回の際に毎回血圧測定を実施。高値の方には声をかけたり、運動担当の健康運動指導士に注意を促したりしている。</p> <p>改善→④調理実習を多く受け入れられるように「調理実習を2回」にした。(参加者は調理実習2日間のうち1回受講できる)</p> <p>改善→⑤年2回「体組成測定」実施</p> <p>改善→⑥講義は食に関するもののみではなく、生活習慣病認定歯科衛生士による「オーラルフレイル予防」も組み込んだ。</p> <p>&lt;評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度から調理実習ができる教室として実施し、50代から70代の主婦層に反響を得ている。また、調理実習を2回に分けたことでより多くの方の受け入れが可能となった。</li> <li>・必ず講義を受けてから調理実習をすることで、生活習慣病予防を意識することができてきている。</li> <li>・個々には「体重低下」や「日々の料理に気を付けるようになった」などの声がたあった。</li> </ul>	<p><b>【男塾】</b></p> <p><b>【アウトプット評価】</b> (登録実人数・年間参加延人数・年間回数) H29 30名(延22*20=440名)</p> <p><b>アウトカム評価】</b> H28 3項目すべての改善率 20% 体重・脂肪量いずれかの数値の改善率80%</p> <p><b>【ノルディックウォーキング教室】</b></p> <p><b>【アウトプット評価】</b> (登録実人数・年間参加延人数・年間回数) H29 50名(24回/年*25=600) 年間参加延人数H29 95%出席率</p> <p><b>【アウトカム評価】</b> H29 除脂肪量、筋肉量が増加 50% 体重、脂肪量、BMI減少80% 内臓脂肪レベル減少 70%</p> <p><b>【かんたん健康料理教室】</b></p> <p><b>【アウトプット評価】</b> (登録実人数・年間参加延人数・年間回数) 登録実人数</p> <p>H29 50人 年間参加延人数 H29 500人</p>

達成状況	評価
<p><b>【男塾】</b>  <b>【アウトプット評価】</b>  (登録実人数・年間参加延人数・年間回数)  H27 8名(76名)(12回/年)  H28 26名(166名)(17回/年)  H29 28名(156名)(H29.10現在)  (H29.10現在・12回まで)(22回/年)</p> <p><b>【アウトカム評価】</b>  H28 26名測定 3項目すべての改善率10.7%  体重・脂肪量いずれかの数値の改善率64.3%  ※2回目の測定が実施できなかった方が6名</p> <p><b>【ノルディックウォーキング教室】</b>  <b>【アウトプット評価】</b>  (登録実人数・年間参加延人数・年間回数)  H28 1班17名2班11名  (12回×2グループ=24回/年)  H29 1班19名2班 6名ウォーカーズ10名  (12回×2グループ=24回/年)  年間参加延人数H28.29ともに毎回90%以上の出席率(受託先への聞き取り)</p> <p><b>【アウトカム評価】</b>  H28 年2～3回の体組成測定を実施。  1班除脂肪量、筋肉量が増加 6/17名(35.3%)  体重、脂肪量、BMI減少12/17名(70.6%)  内臓脂肪レベル減少 10/17名(58.8%)  2班除脂肪量、筋肉量が増加 6/11名(54.5%)  体重、脂肪量、BMI減少 6/11名(54.5%)  内臓脂肪レベル減少 7/11名(63.6%)</p> <p><b>【かんたん健康料理教室】</b>  <b>【アウトプット評価】</b>  (登録実人数・年間参加延人数・年間回数)  登録実人数  H28 30人(12回シリーズ・24回/年) 事業初年度  H29 45人  (H29.12現在・第7シリーズの21回まで)  (2回シリーズ・36回/年)  年間参加延人数  H28 405名(講義190人調理215人)  (12回/年)  H29 343人(講義197人調理146人)  (H29.12現在・第7シリーズの21回まで)</p>	<p><b>【男塾】</b>  <b>【アウトプット評価】</b>  ・参加者数は徐々に増加しているので、市民の健康意識を高めることができるよう事業を継続していく。</p> <p><b>【アウトカム評価】</b>  ・目標値には達していないが、改善している参加者が一定数いる。</p> <p><b>【ノルディックウォーキング教室】</b>  <b>【アウトプット評価】</b>  ・目標値にはまだ届いていないが、一定の参加者は存在する。出席率は良く、今後も率が継続するよう参加者を支援する。</p> <p><b>【アウトカム評価】</b>  ・改善率は目標値に達していない。目標値を目指す。</p> <p><b>【かんたん健康料理教室】</b>  <b>【アウトプット評価】</b>  ・実参加者数は目標値に近い人数である。参加者が固定しているようであれば、なるべく多くの方が参加できるような工夫が必要かもしれない。</p>

事業名	実施内容	目標値 (平成29年度末)
特定健康診査・特定保健指導	H27. 28. 29 基本健診+HbA1c及び血清クレアチニン・eGFR追加実施。	【アウトプット評価】 受診者数 2,250人 受診率 45%
生活習慣病予防教室	H27. 28. 29受診勧奨 【カラダ活性化サポート教室】  H28特保サポート教室(特定保健指導後フォロー教室) H29特定保健指導後フォローと糖尿病性腎症重症化予防事業指導終了後フォロー ・特定保健指導後の支援ができにくく、次年度に保健指導対象者として挙がってきていたが、フォロー教室として実施することで、たとえ対象として挙がってきてもフォローしやすくなり、改善がみられるようになった。 ・特定保健指導実施機関とこの事業の委託先を同じにすることで、受講者が顔なじみで受けやすく、参加が継続的になった。 ・糖尿病性腎症重症化予防事業保健指導終了者も受け入れつつという観点から、H29からは「血糖高値」の方を主にフォローしている。運動の仕方などが「脂質高値」の方とは違うため、分けると運動がしやすくなった。	【カラダ活性化サポート教室】 【アウトプット評価】 参加者数 (登録実人員・年間延べ人数) H29 30人  年間参加延人数 H29 300人  【アウトカム評価】 体組成結果の改善率 50%
健診後フォロー事業	【カラダ活性化サポート教室】 H28特保サポート教室(特定保健指導後フォロー教室) H29特定保健指導後フォローと糖尿病性腎症重症化予防事業指導終了後フォロー ・特定保健指導後の支援ができにくく、次年度に保健指導対象者として挙がってきていたが、フォロー教室として実施することで、たとえ対象として挙がってきてもフォローしやすくなり、改善がみられるようになった。 ・特定保健指導実施機関とこの事業の委託先を同じにすることで、受講者が顔なじみで受けやすく、参加が継続的になった。 ・糖尿病性腎症重症化予防事業保健指導終了者も受け入れつつという観点から、H29からは「血糖高値」の方を主にフォローしている。運動の仕方などが「脂質高値」の方とは違うため、分けると運動がしやすくなった。  H28特保サポート教室(特定保健指導後フォロー教室) H29カラダ活性化サポート教室として実施	【カラダ活性化サポート教室】 【アウトプット評価】 参加者数 (登録実人員・年間延べ人数) H29 30人  年間参加延人数 H29 300人  【アウトカム評価】 体組成結果の改善率 50%
受診行動適正化指導事業		【アウトプット評価】 指導対象者の指導実施率20%  指導実施完了者の受診行動適正化50% ※1  指導実施完了者の医療費を指導実施前より50%減少  【アウトカム評価】 重複・頻回受診者数、重複服薬者数20%減少

達成状況	評価
<p>【アウトプット評価】 受診者数 1,731人 受診率 33.1% (平成28年度法定報告値)</p>	<p>【アウトプット評価】 ・受診率は伸びているが、目標値には達していないため、受診率向上のための取り組みについて工夫が必要。 ・特定保健指導については、目標値にかなり近づいているので、利用勧奨の効果ができていると思われる。さらに目標値に近づくと、利用勧奨について工夫する。</p>
<p>【カラダ活性化サポート教室】 【アウトプット評価】 参加者数 (登録実人員・年間延べ人数) H28 17人(年間45回のうち1人につき好きな講座を10回チョイス)事業初年度 H29 1班8人(24回/年・H29.11現在14回まで) 2班17人(12回/年)・H29.11現在8回まで 合計25人(36回/年) (年間36回 1班新規の方、2班継続の方に分けて実施) 年間参加延人数 H28 263人、H29集計中</p> <p>【アウトカム評価】 集計中(体組成結果の改善)</p>	<p>【アウトプット評価】 ・平成29年度の参加者数は、目標値に近い人数となっている。さらに参加者が増えるような取り組みを工夫する。</p> <p>【アウトカム評価】 ・平成29年度結果については集計中のため、今後結果がまとまりしだい評価する。</p>
<p>【カラダ活性化サポート教室】 【アウトプット評価】 参加者数 (登録実人員・年間延べ人数) H28 17人(年間45回のうち1人につき好きな講座を10回チョイス)事業初年度 H29 1班8人(24回/年・H29.11現在14回まで) 2班17人(12回/年)・H29.11現在8回まで 合計25人(36回/年) (年間36回 1班新規の方、2班継続の方に分けて実施) 年間参加延人数 H28 263人、H29集計中</p> <p>【アウトカム評価】 集計中(体組成結果の改善)</p>	<p>【アウトプット評価】 ・平成29年度の参加者数は、目標値に近い人数となっている。さらに参加者が増えるような取り組みを工夫する。</p> <p>【アウトカム評価】 ・平成29年度結果については集計中のため、今後結果がまとまりしだい評価する。</p>
<p>【アウトプット評価】 指導対象者の指導実施率 41.5%(61/147名) 指導実施完了者の受診行動適正化50% ※1「訪問の翌月受診が12回/月未満」72.1%(44/61名) 指導実施完了者の医療費を指導実施前より50%減少56.0%減(733,530円/1,310,310円)</p> <p>【アウトカム評価】 重複・頻回受診者数、重複服薬者数20%減少41.3%増(H28/H27、147/104名)</p>	<p>【アウトプット評価】 ・目標値に達している。継続あるいは向上できるよう工夫する。</p> <p>【アウトカム評価】 ・逆に指標に比して増加しているため、増加要因等について検討する。</p>

### 3. 医療情報分析結果

平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成28年度を平成26年度と比較すると、一カ月平均の被保険者数7,854人は、平成26年度7,758人より96人増加しており、医療費27億5,578万円は平成26年度28億8,963万円より1億3,385万円減少している。また、一カ月平均の患者数4,071人は、平成26年度4,371人より300人減少している。

#### 年度別 基礎統計

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	7,758	7,900	7,854	
B	レセプト件数(件)	入院外	75,503	74,232	70,854
		入院	2,650	2,544	2,469
		調剤	55,538	53,939	51,034
		合計	133,691	130,715	124,357
C	医療費(円) ※	2,889,625,100	2,942,647,830	2,755,776,730	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	4,371	4,283	4,071	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	372,490	372,491	350,898	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	21,614	22,512	22,160	
D/A	有病率(%)	56.3%	54.2%	51.8%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

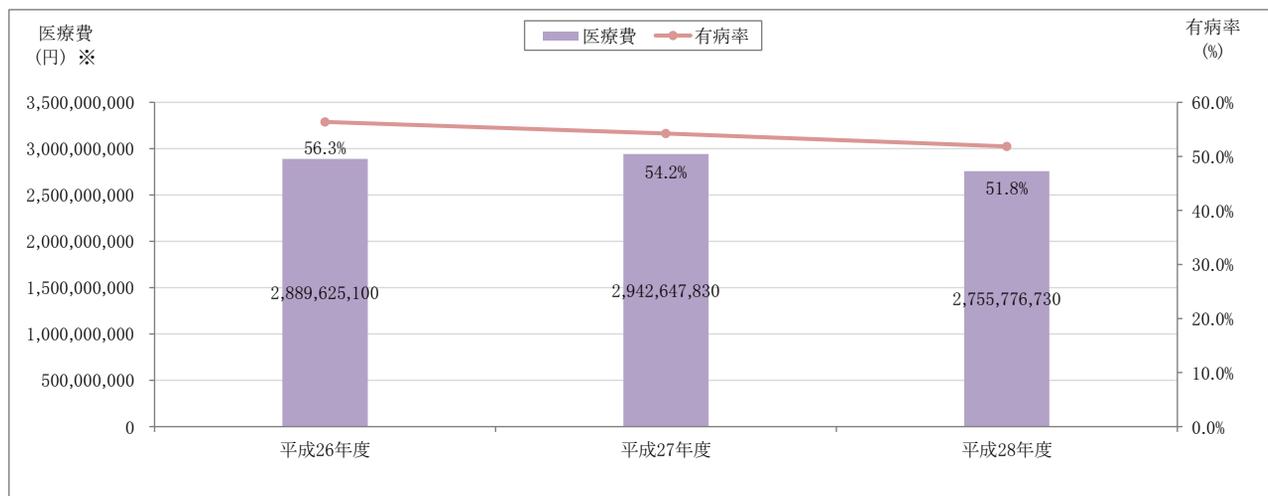
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

#### 年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腎癌, 転移性脳腫瘍	37	2,559,172
	2	1113 その他の消化器系の疾患	便秘症, 潰瘍性大腸炎, 単径ヘルニア	18	2,704,079
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 胸椎破裂骨折, 大腿骨骨幹部骨折	18	2,017,662
	4	0902 虚血性心疾患	労作性狭心症, 不安定狭心症, 狭心症	16	3,142,649
	5	0903 その他の心疾患	心不全, 発作性心房細動, 肺動脈性肺高血圧症	15	3,510,217
	5	0906 脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞・急性期, 脳梗塞, 多発性脳梗塞	15	2,576,732
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵尾部癌, 腎癌	36	2,984,341
	2	0902 虚血性心疾患	不安定狭心症, 狭心症, 労作性狭心症	17	2,574,675
	2	1113 その他の消化器系の疾患	イレウス, 腸重積症, 上行結腸憩室出血	17	1,920,246
	2	1302 関節症	変形性股関節症, 変形性膝関節症, 両側性形成不全性股関節症	17	2,600,924
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 骨折, 脛骨遠位端骨折	17	1,793,489
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膵頭部癌, 膵癌	41	3,844,881
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 大腿骨転子部骨折, 鎖骨遠位端骨折	18	1,824,983
	3	0902 虚血性心疾患	不安定狭心症, 急性前壁心筋梗塞, 狭心症	17	3,065,235
	4	0906 脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞, 心原性脳塞栓症, 脳梗塞	16	3,566,861
	5	0903 その他の心疾患	発作性心房細動, うっ血性心不全, 不整脈	15	2,617,275

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

## 4. 分析結果に基づく健康課題の把握

### (1) 分析結果

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)における分析結果を以下に示す。

#### 【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	新生物<腫瘍>	418,341,549円
2位	循環器系の疾患	396,275,488円
3位	精神及び行動の障害	314,685,834円
患者数が多い疾病		患者数
1位	消化器系の疾患	4,316人
2位	呼吸器系の疾患	3,833人
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患	3,798人
患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	精神及び行動の障害	308,213円
2位	新生物<腫瘍>	189,124円
3位	循環器系の疾患	112,770円

#### 【年齢階層別】

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳～4歳	X. 呼吸器系の疾患	XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	XVII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常
5歳～9歳	X. 呼吸器系の疾患	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
10歳～14歳	III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	X. 呼吸器系の疾患	XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	V. 精神及び行動の障害	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
15歳～19歳	X. 呼吸器系の疾患	XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	V. 精神及び行動の障害	VI. 神経系の疾患
20歳～24歳	XI. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	VI. 神経系の疾患
25歳～29歳	X. 呼吸器系の疾患	VI. 神経系の疾患	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	XI. 消化器系の疾患
30歳～34歳	V. 精神及び行動の障害	VI. 神経系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	IX. 循環器系の疾患
35歳～39歳	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	VI. 神経系の疾患	XI. 消化器系の疾患	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
40歳～44歳	V. 精神及び行動の障害	VI. 神経系の疾患	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	II. 新生物<腫瘍>
45歳～49歳	V. 精神及び行動の障害	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	VI. 神経系の疾患	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
50歳～54歳	V. 精神及び行動の障害	IX. 循環器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
55歳～59歳	V. 精神及び行動の障害	IX. 循環器系の疾患	VI. 神経系の疾患	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
60歳～64歳	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
65歳～69歳	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患
70歳～	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患

### 【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	194, 179, 279円
2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	164, 153, 354円
3位	高血圧性疾患	134, 393, 110円
患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	2, 607人
2位	脂質異常症	2, 604人
3位	糖尿病	2, 555人
患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	791, 297円
2位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	701, 008円
3位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	443, 822円

### 【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	953件	
高額レセプト件数割合	0. 8%	
高額レセプト医療費割合	33. 5%	
高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	骨の密度及び構造の障害	7, 973, 615円
2位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7, 757, 178円
3位	皮膚炎及び湿疹	7, 493, 830円

### 【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	165人
----------	------

### 【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	66人
------------	-----

**【人工透析患者の状況】**

人工透析患者	13人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	10人

**【医療機関受診状況】**

重複受診者	86人
頻回受診者	130人
重複服薬者	212人

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)期間中の実人数

**【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】**

ジェネリック医薬品普及率	65.6%
--------------	-------

## (2) 分析結果に基づく課題とその対策

分析結果より導いた課題とその対策を以下に示す。

### ①正しい生活習慣の普及啓発及び特定健康診査の受診率向上

<課題1>40歳代～50歳代男性の受診率が低い。

<対策1>特定健康診査の受診勧奨

<課題2>受診者のうち、40歳代男性の食生活の乱れがあり、既往歴に貧血が多い。また、50代で1年間で体重増減3kg以上増加している人の割合が多い。50歳代女性の朝食を抜く割合が高い。受診人数は少ないので参考値にはなるが、全年代で一日飲酒量が多い。

<対策2>摂取カロリー過多、あるいは低栄養の可能性がある。正しい生活習慣の普及が必要であるため、一次予防(健康増進)を実施する。具体的には、運動・栄養・休養等正しい生活習慣の普及のための健康教室等を開催する。

### ②特定健診・特定保健指導も活用した生活習慣病予防

<課題1>40歳代～50歳代男性の血糖値及びHbA1cは、年齢とともに有所見者が増えている。60歳を超えると、約6割が有所見者である。

<対策1>糖尿病予防が必要。

<課題2>疾病大分類や疾病中分類において医療費が高額な疾病、あるいは患者数が多い疾病や一人当たりの医療費が高額な疾病として、高血圧性疾患や悪性新生物、糖尿病などの生活習慣病が挙げられている。生活習慣病は、正しい生活習慣により予防することが可能である。また、たとえ発症しても軽度のうちに治療を行い、生活習慣を改善すれば進行をくいとめることができるにもかかわらず、医療費を分析してみると、患者数も多く、費用が多額である。また、特定健康診査受診者全体の血圧は、50歳代を超えると、半数近くが上がっている、腹囲リスクの有無に関わらず、受診勧奨値の者が保健指導値の者の倍以上いるなど、検査異常値を示す結果が出ている受診者が多数である。50歳代男性受診者に、特定保健指導対象者にならない非メタボの割合が高い。

<対策2>二次予防(早期発見・早期治療)として、特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率の向上、健診を受診しているが異常値を放置している患者への受診勧奨通知や保健指導等を実施する。

### ③生活習慣病の重篤化リスクのある患者への重症化予防

<課題1>主たる死因のうち、心臓病による死亡割合が県他と比較して高い。また、高額レセプトの要因となっている疾病の中に、生活習慣病が重篤化した疾病がある。

さらに、循環器系疾患が入院医療費割合の高い疾病の第3位に入っている。これらの現状より、疾病が重症化している可能性があることから、患者本人が定期的に通院し、服薬管理や食事管理等をすることで重症化することを防ぎ、病気をコントロールすることが肝要である。

<対策1>生活習慣病の重症化予防が必要な病期にあたる患者や、生活習慣病の治療を中断している患者を特定し、患者個人に保健指導を行い、定期的な受診を促す。

<課題2>40歳代女性や50歳代男性では生活習慣病の既往があり、服薬中の人が多い。壮年期から治療が必要な状態になっている。

<対策2>治療中断しないように、定期的な受診の必要性を普及する。

### ④受診行動適正化

<課題>重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在する。

<対策>対象者集団を特定し、適正な受診行動を促す指導を保健師等より実施する。

### ⑤ジェネリック医薬品普及率の向上

<課題>厚生労働省が目標とするジェネリック医薬品普及率は平成29年度末の数量ベース(新基準)で60%以上であるが、現在、「大竹市国民健康保険」における同普及率は「54.2%」である。

<対策>ジェネリック医薬品に切り替え可能な先発医薬品を服薬している患者を特定し、患者個人に切り替えを促す通知を行う。



# 第3章 保健事業実施計画

## 1. 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業名		事業目的	事業概要
①	健康教育 (一次予防)	被保険者の生活習慣病 予防	運動・栄養等正しい生活習慣を普及する健康教室等を開催する。 スケジュールは1年毎にPDCAサイクルに沿って行う。
②	特定健康診査事業及び 特定保健指導事業	被保険者の生活習慣病 予防及び早期支援	特定健康診査受診率を向上し、受診者の特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。 方法は厚生労働省による「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿うこととする。保険者が特定健康診査受診後、順次、特定保健指導対象者を特定し実施する。 スケジュールは1年毎にPDCAサイクルに沿って行う。
③	生活習慣病 予防教室事業	被保険者の生活習慣病 予防及び早期支援	特定健康診査受診者のうち、肥満でない者や腹囲が基準値未満の者で検査値に異常がある者に対して、運動指導や栄養指導を実施する。 スケジュールは1年毎にPDCAサイクルに沿って行う。
④	健診後フォロー事業 (糖尿病予防対策事業)	被保険者の生活習慣病 重症化予防及び早期支援	特定健康診査受診者のうち、糖尿病に関する検査値異常があった者のうち医療機関未受診者に対して受診勧奨及び保健指導を実施する。
⑤	健診異常値放置者 受診勧奨事業	健診異常値を放置して いる対象者の医療機関 受診	特定健診の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。 スケジュールは1年毎にPDCAサイクルに沿って行う。
⑥	生活習慣病治療中断者 受診勧奨事業	生活習慣病治療中断者 の減少	レセプトから、かつて生活習慣病の治療を受けていたにもかかわらず、一定期間、医療機関受診が確認できず、治療を中断している可能性のある対象者を特定する。対象者に通知書を送付することで、受診勧奨を行う。 スケジュールは1年毎にPDCAサイクルに沿って行う。
⑦	受診行動適正化 指導事業 (重複受診、頻回受診、 重複服薬)	重複・頻回受診者数、 重複服薬者数の減少	レセプトから、医療機関への過度な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、指導する。指導は専門職によるもので、適正な医療機関へのかかり方について、面談指導または電話指導を行う。 スケジュールは1年毎にPDCAサイクルに沿って行う。
⑧	ジェネリック医薬品 差額通知事業	ジェネリック医薬品の 普及率向上	レセプトから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。対象者に通知書を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。通知書の内容は、先発医薬品からジェネリック医薬品へ切り替えることで、どのくらい薬剤費が軽減できるか、ジェネリック医薬品とは何か等の情報を記載する。 スケジュールは1年毎にPDCAサイクルに沿って行う。
⑨	糖尿病性腎症重症化 予防事業	被保険者の糖尿病重症 化予防	特定健康診査の検査値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、専門職より対象者個人に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続できるように日常に根付いたものとする。 スケジュールは1年毎にPDCAサイクルに沿って行う。

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
平成30年度～平成35年度		
年度毎に実施内容・評価指標を検討する。	最終年度に定めた評価指標をもって評価する。	
健康診査データ及びレセプトデータから対象者を特定し、訴求力の高い通知書の作成及び送付を行う。その後、医療機関受診状況を確認する。	通知率100% 医療機関受診率20%	異常値放置者数20%減少
レセプトデータから対象者を特定し、訴求力の高い通知書の作成及び送付を行う。その後、医療機関受診状況を確認する。	通知率100% 医療機関受診率20%	治療中断者数20%減少
レセプトデータから対象者を特定し、案内文書の送付、電話による詳細説明を行う。同意が得られた対象者に指導を行い、その後、受診行動の改善状況を確認する。	指導率50% 完了者の受診行動適正化80% 医療費指導実施前より50%減少	対象者数20%減少
レセプトデータから対象者を特定し、訴求力の高い通知書の作成及び送付を行う。その後、対象者のジェネリック医薬品普及率の確認する。	通知率100%	金額ベース40% 数量ベース68%
健康診査データ及びレセプトデータから対象者を特定し、予防プログラム参加案内文書の郵送、同意勧奨を行う。同意が得られた対象者に指導を行い、その後、生活習慣、検査値の改善状況を確認する。	指導率20% 生活習慣改善率70% 検査値改善率70%	人口透析移行率0%

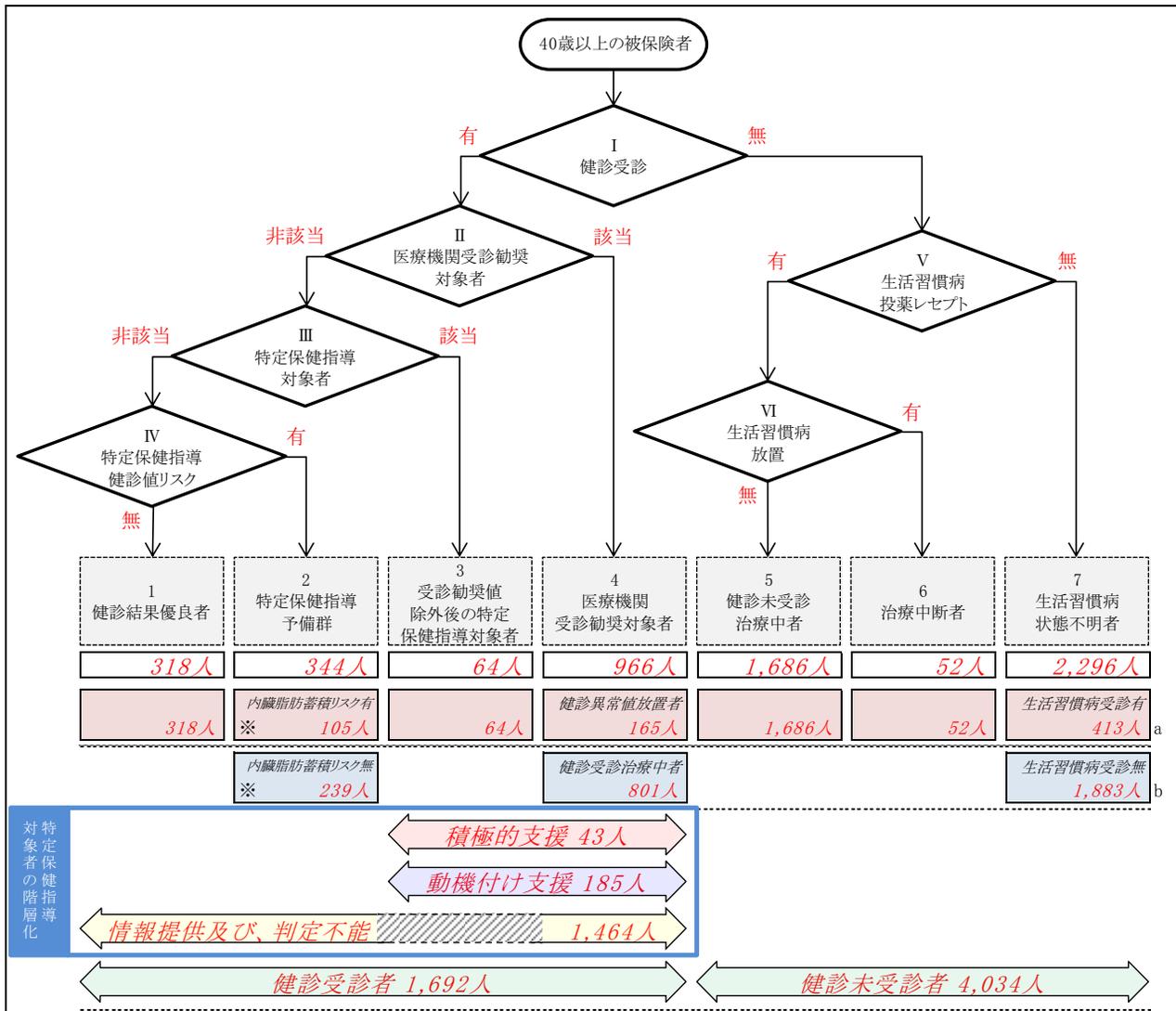
## 2. 保健事業実施に係る分析結果

### (1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

#### 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

## (2) 特定健康診査に係る分析

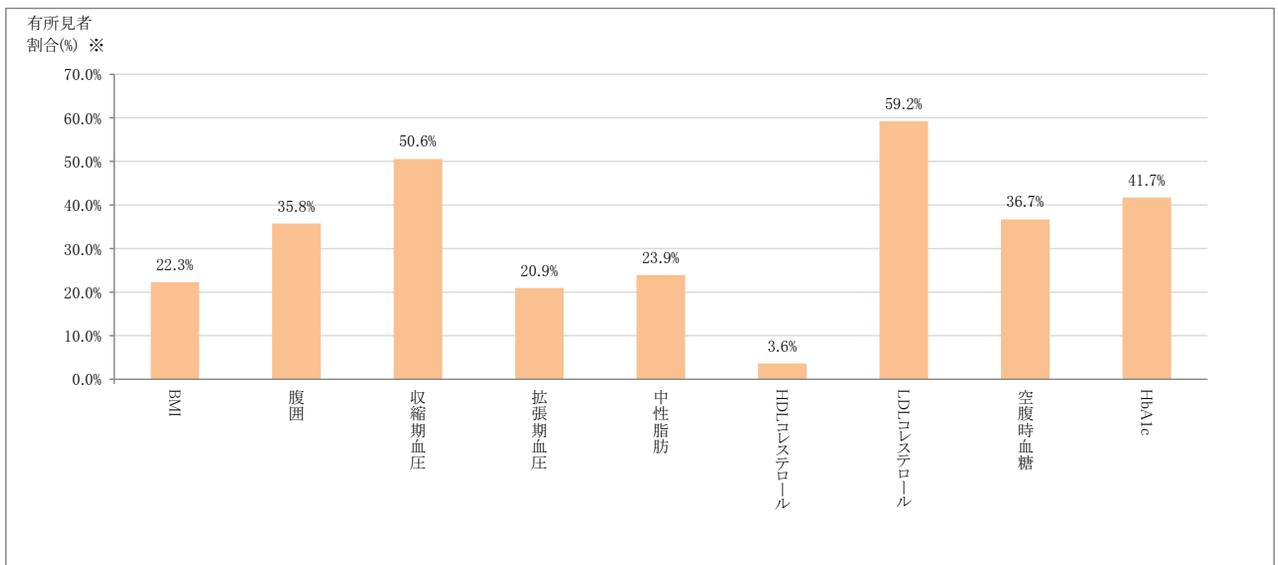
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

### 有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	1,709	1,709	1,709	1,709
有所見者数(人) ※	381	611	864	358
有所見者割合(%) ※	22.3%	35.8%	50.6%	20.9%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	1,709	1,709	1,709	1,594	1,709
有所見者数(人) ※	409	62	1,012	585	713
有所見者割合(%) ※	23.9%	3.6%	59.2%	36.7%	41.7%

### 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、

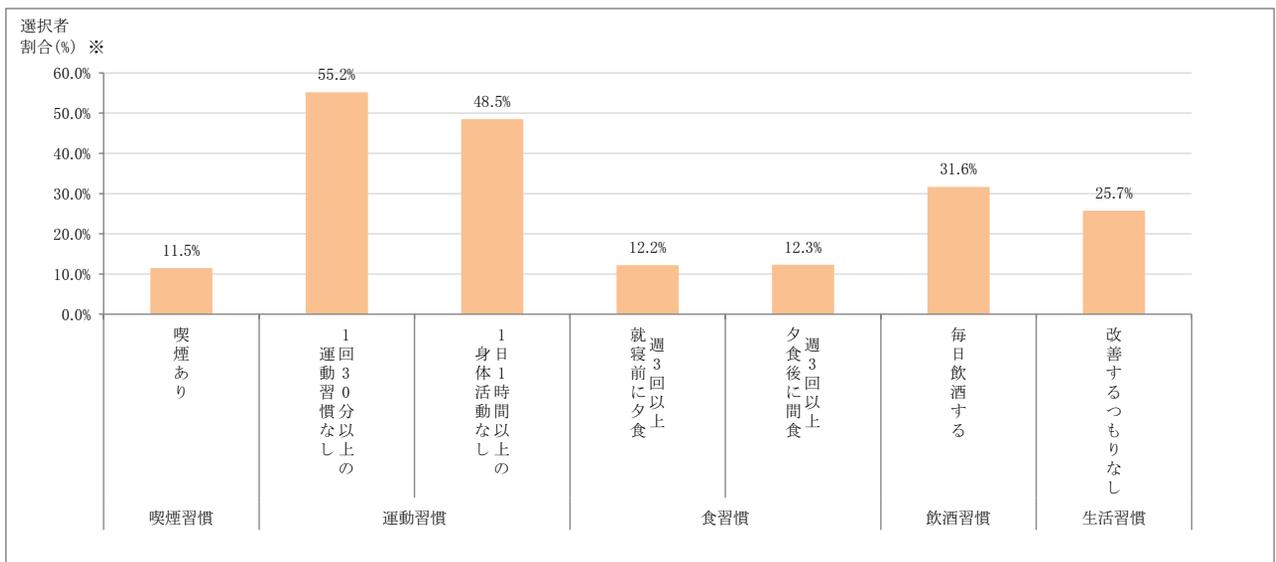
空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

## 質問別回答状況

質問の選択肢	喫煙習慣	運動習慣	
	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	1,709	770	771
選択者数(人) ※	196	425	374
選択者割合(%) ※	11.5%	55.2%	48.5%

質問の選択肢	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	770	771	771	769
選択者数(人) ※	94	95	244	198
選択者割合(%) ※	12.2%	12.3%	31.6%	25.7%

## 質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

### 質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

### (3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は232人である。このうち、積極的支援の対象者は44人、動機付け支援の対象者は188人である。

#### 特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			232人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	2人	44人 19%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	10人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	2人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	4人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	3人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	3人	
	●		●			血糖+脂質	2人	
	●	●	●			血圧+脂質	12人	
	●			●		血糖+喫煙	0人	
		●		●		血圧+喫煙	5人	
	●		●	●	因子数1	脂質+喫煙	1人	
			●			血糖	0人	
				●		血圧	0人	
				因子数0	脂質	0人		
				因子数0	喫煙	0人		
				因子数0	なし	0人		
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	3人	188人 81%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	19人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	4人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	0人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	6人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	27人	
	●		●			血糖+脂質	8人	
	●	●	●			血圧+脂質	15人	
	●			●		血糖+喫煙	2人	
		●		●		血圧+喫煙	4人	
	●		●	●	因子数1	脂質+喫煙	4人	
			●			血糖	20人	
				●		血圧	58人	
				因子数0	脂質	18人		
				因子数0	喫煙	0人		
				因子数0	なし	0人		

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

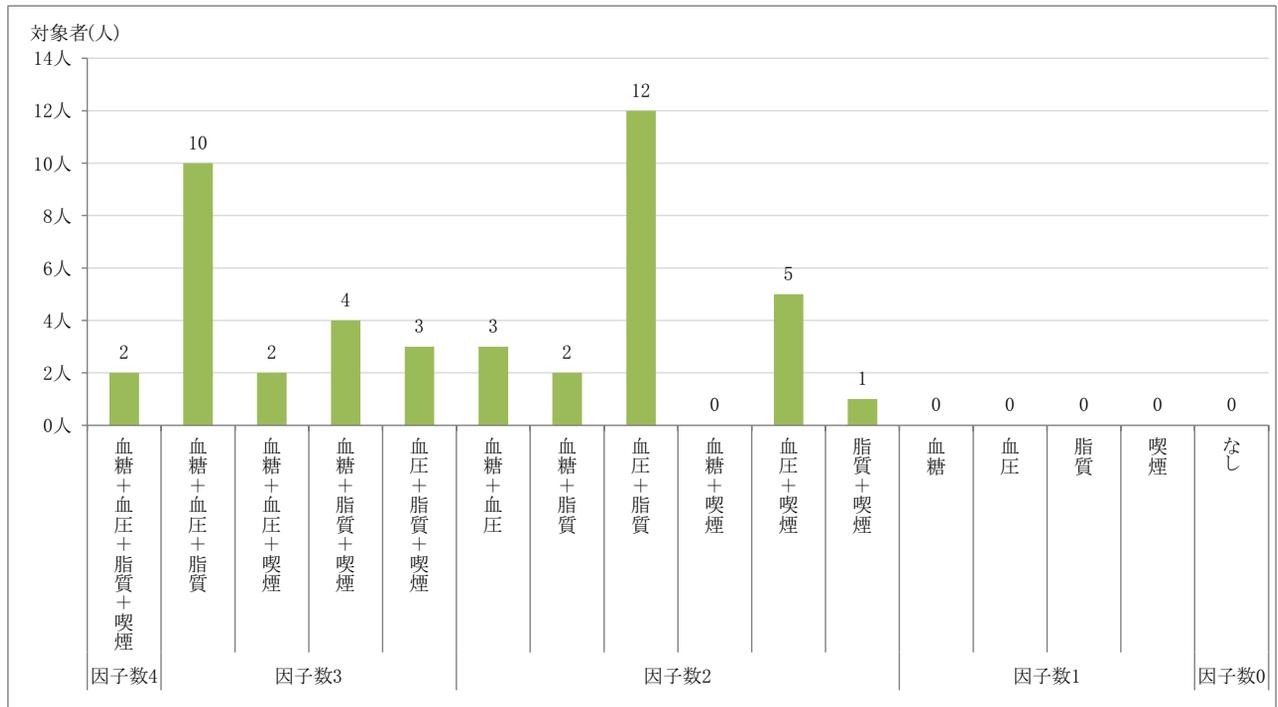
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

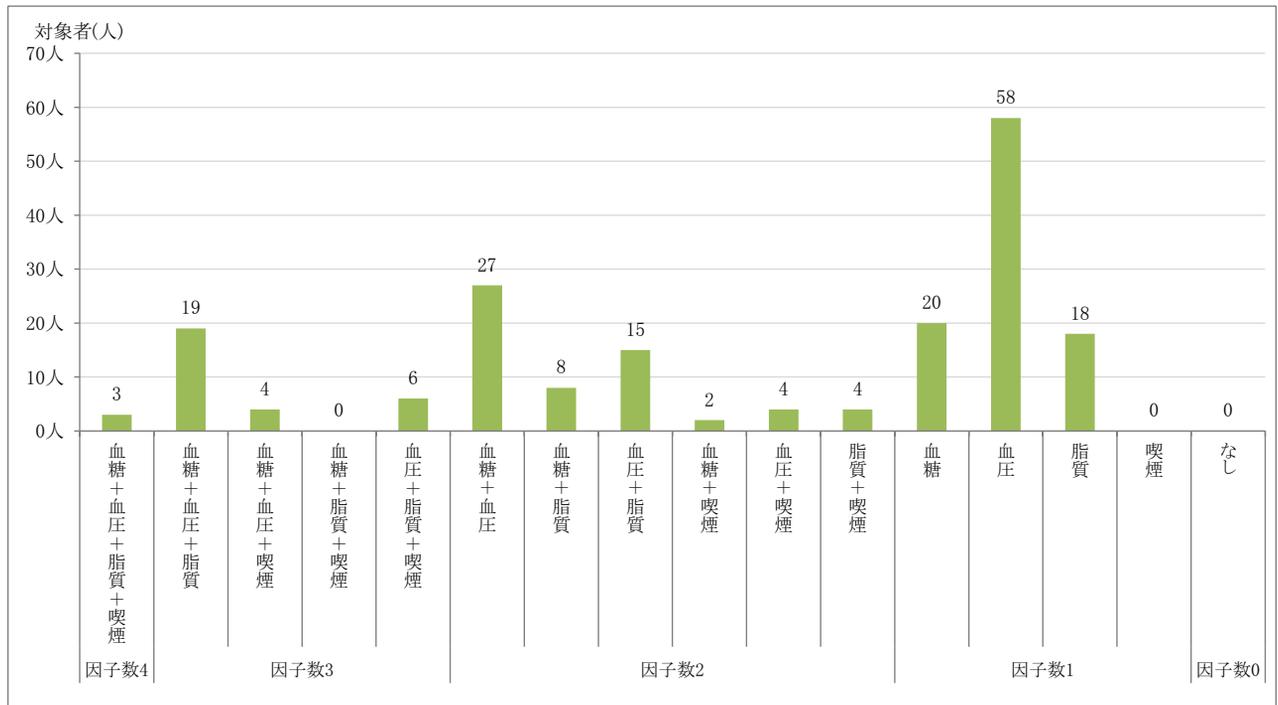
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

## 積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

## 動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

#### (4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する165人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

#### 条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 … 健診受診後、4か月以上医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	165 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

#### 除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定		
除外	がん、難病等	除外理由別人数
		51 人
除外患者を除いた候補者数		114 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者114人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

### 優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ. 優先順位			
↑高 効果 ↓低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A  1人	候補者C  0人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B  2人	候補者D  2人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E  12人	候補者F  76人
		喫煙	非喫煙
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			114人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

## (5) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者66人が対象となる。

### 条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	52 人
	上記以外のグループ	14 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		66 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

### 除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、難病等	1 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		65 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者65人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

### 優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ. 優先順位				
↑ 高 効果 ↓ 低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1  1人	候補者A2  1人	候補者A3  1人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1  7人	候補者B2  5人	候補者B3  1人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1  19人	候補者C2  21人	候補者C3  9人
		毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				65人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

## (6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、76.9%が生活習慣を起因とするものであり、その76.9%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

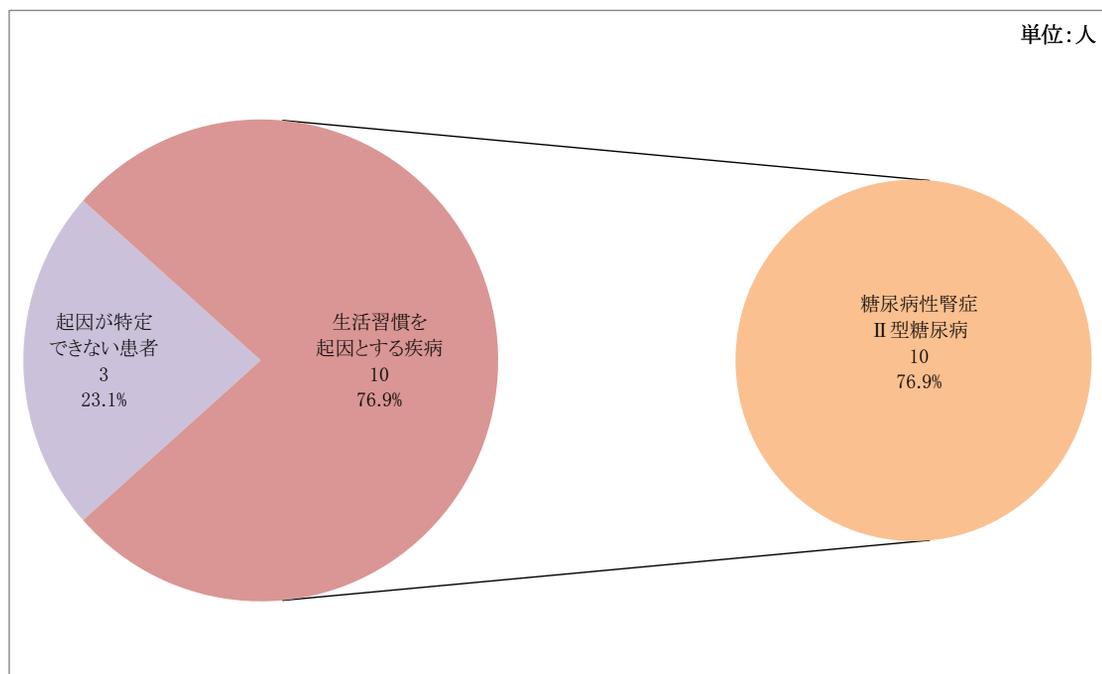
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	11
腹膜透析のみ	2
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	13

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

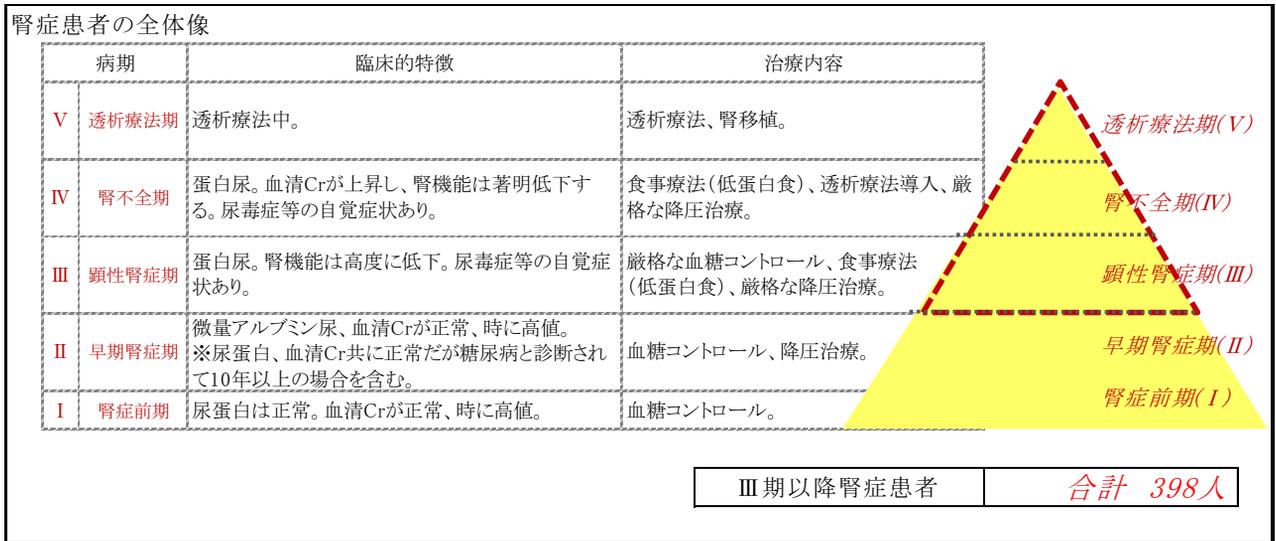
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者398人中97人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

### 腎症患者の全体像



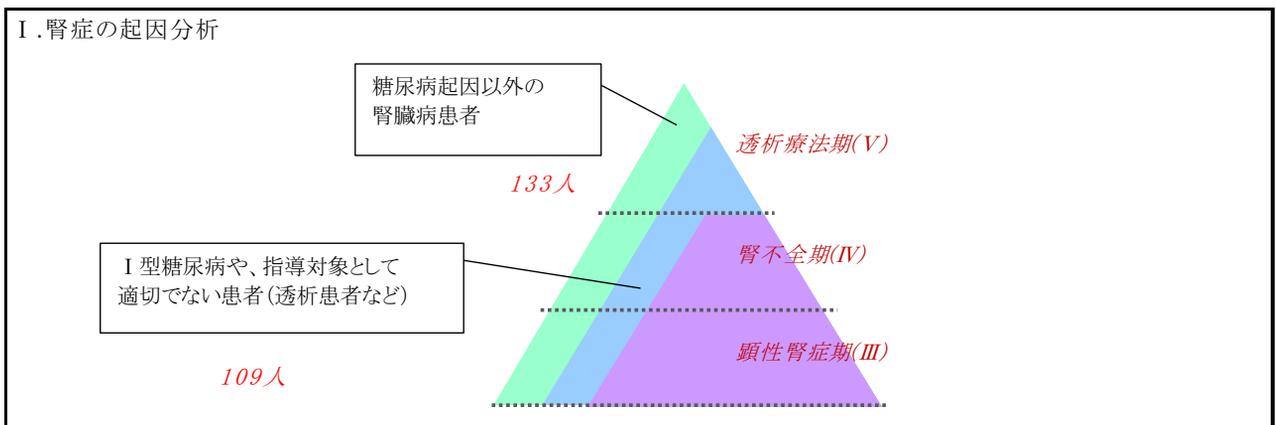
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、133人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、109人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

### 腎症の起因分析



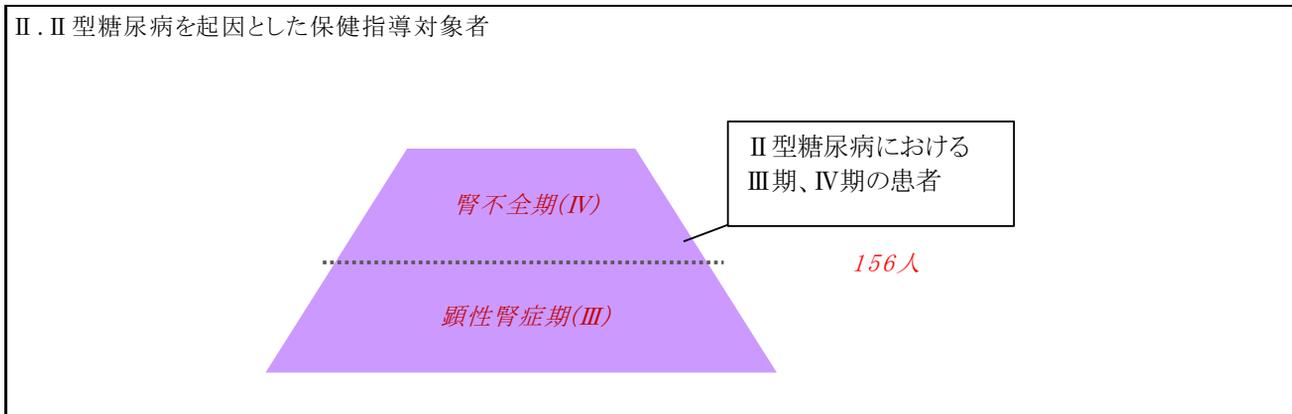
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて156人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

## Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

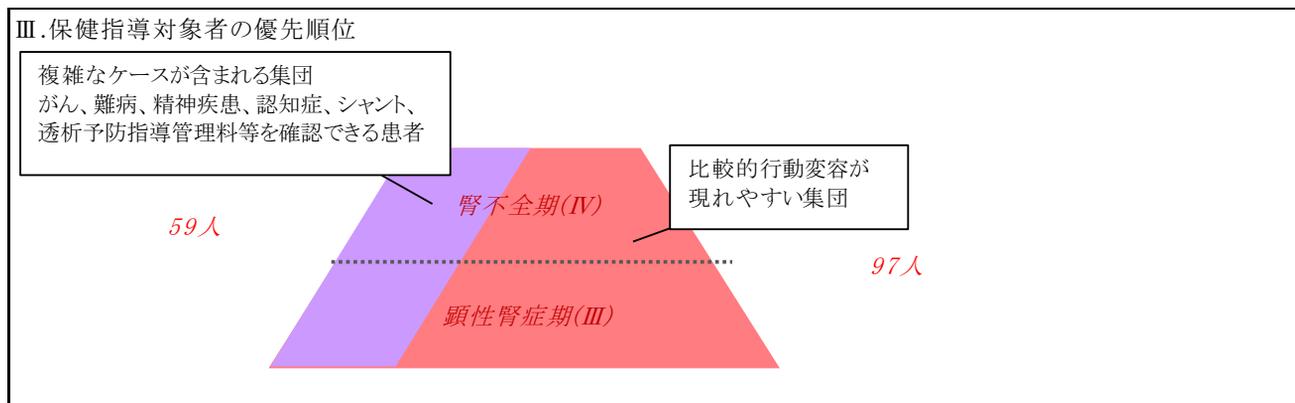
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。156人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、59人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、97人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

## 保健指導対象者の優先順位



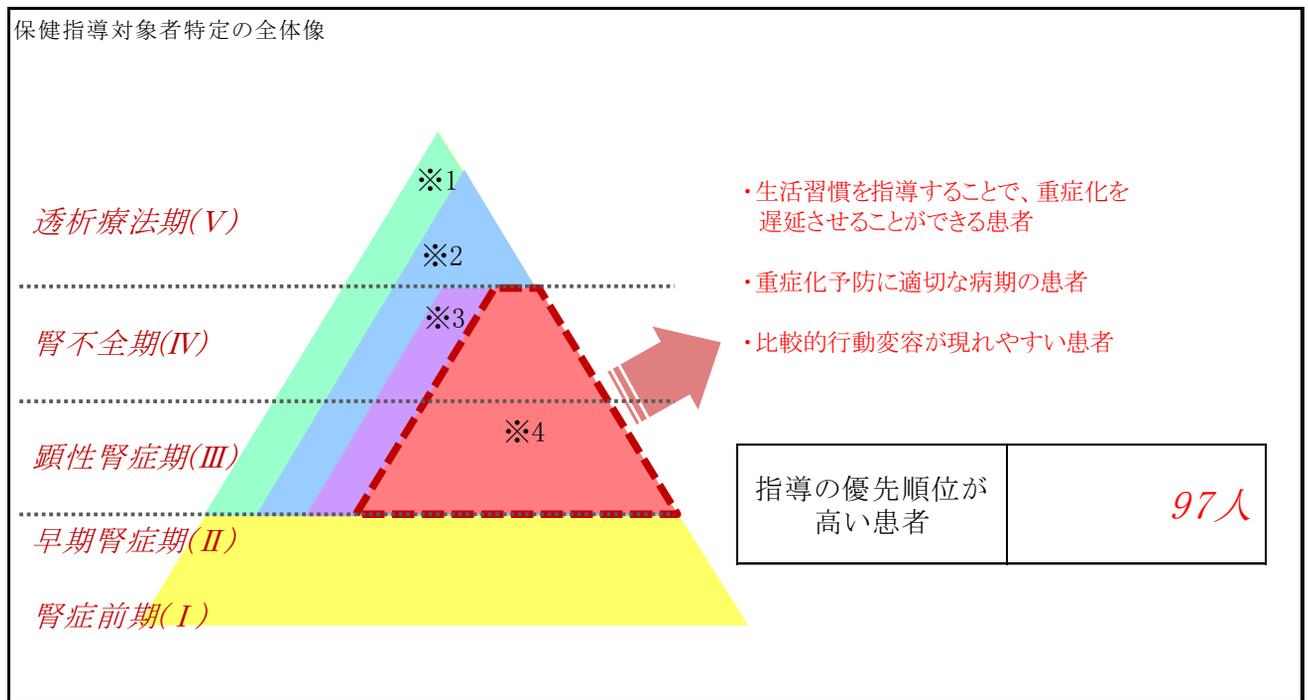
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、97人となった。この分析の全体像を以下に示す。

### 保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

## (7) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

### 重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) *	12	13	6	7	8	12	16	14	13	14	8	9
12カ月間の延べ人数											132	
12カ月間の実人数											86	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライゾン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

### 頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) *	35	34	32	28	37	33	30	41	32	25	35	50
12カ月間の延べ人数											412	
12カ月間の実人数											130	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

### 重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) *	22	36	26	18	20	37	30	29	54	38	26	29
12カ月間の延べ人数											365	
12カ月間の実人数											212	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12カ月間で重複受診者は86人、頻回受診者は130人、重複服薬者は212人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

### 条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者</li> <li>・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者</li> <li>・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者</li> </ul>	
条件設定により候補者となった患者数	<b>393 人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

### 除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	<b>0 人</b>	<b>293 人</b>
除外②	がん、難病等 ※	<b>293 人</b>	
除外患者を除き、候補者となった患者数		<b>100 人</b>	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成29年3月31日時点。  
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者100人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは6人となった。

### 優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A  5人	候補者C  0人	候補者 としない  94人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B  1人	候補者D  0人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E  0人	候補者F  0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
		←良 効率 悪→		
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数				6人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

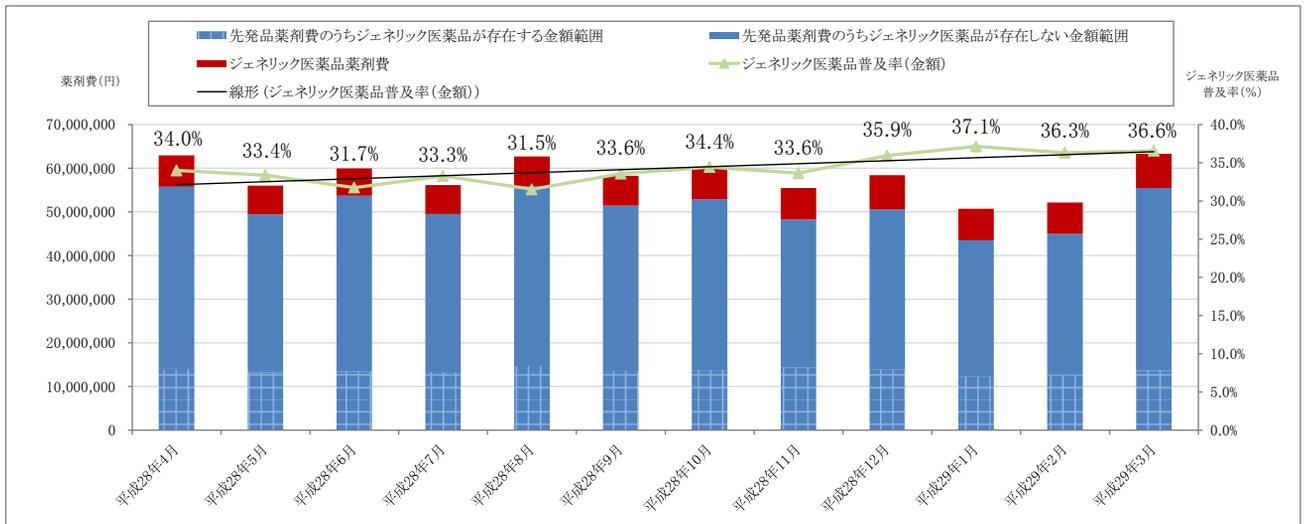
資格確認日…平成29年3月31日時点。

## (8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は34.3%(金額ベース)、65.6%(数量ベース)である。

### ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

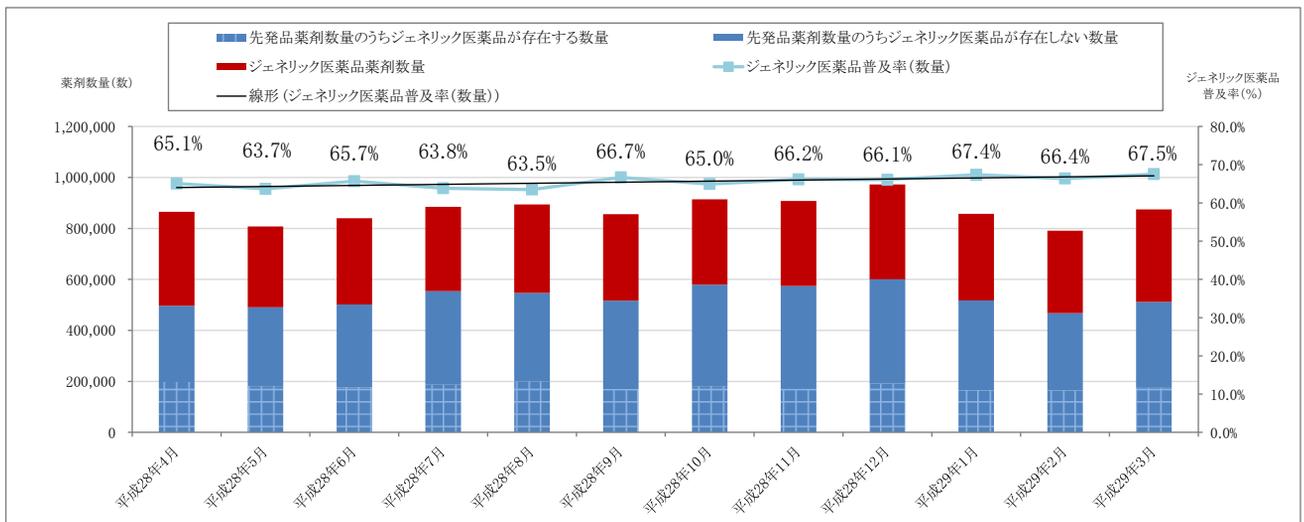


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

### ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

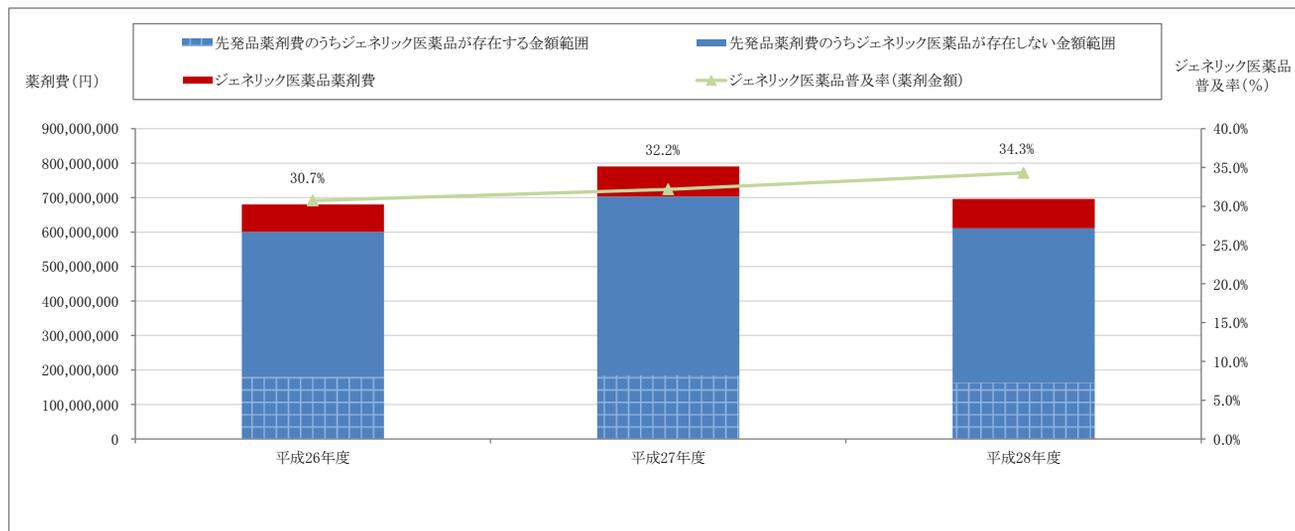
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成26年度から平成28年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)34.3%は、平成26年度30.7%より3.6ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)65.6%は、平成26年度59.5%より6.1ポイント上昇している。

## 年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

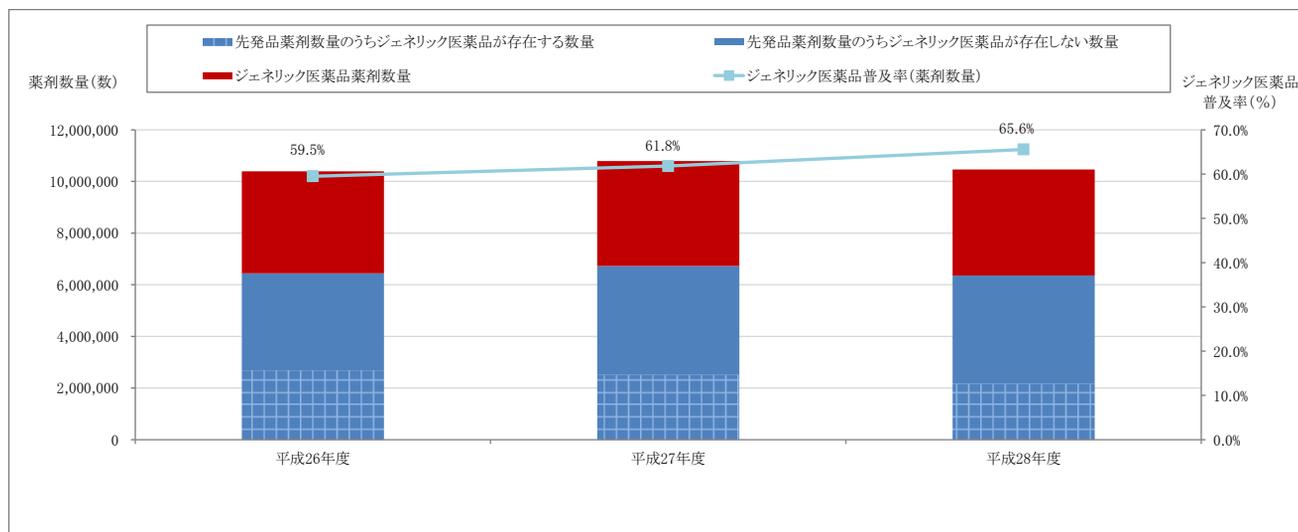


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

## 年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

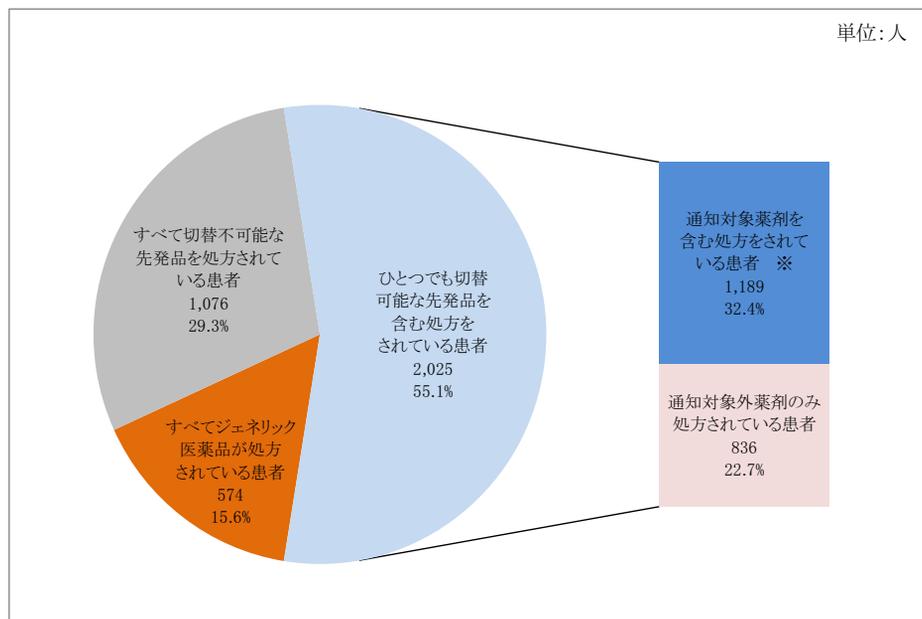
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は3,675人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は2,025人で患者数全体の55.1%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、1,189人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の32.4%となる。

## 薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

### 3. 各事業の実施内容と評価方法

---

#### (1) 事業内容の掲載

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

ただし、「1. 各事業の目的と概要一覧」の①健康教育(一次予防)、②特定健康診査事業及び特定保健指導事業、③生活習慣病予防教室事業、④健診後フォロー事業(糖尿病予防対策事業)については、年度ごとに実施内容を検討するため、この計画書には掲載しない。

## (2) 健診異常値放置者受診勧奨事業

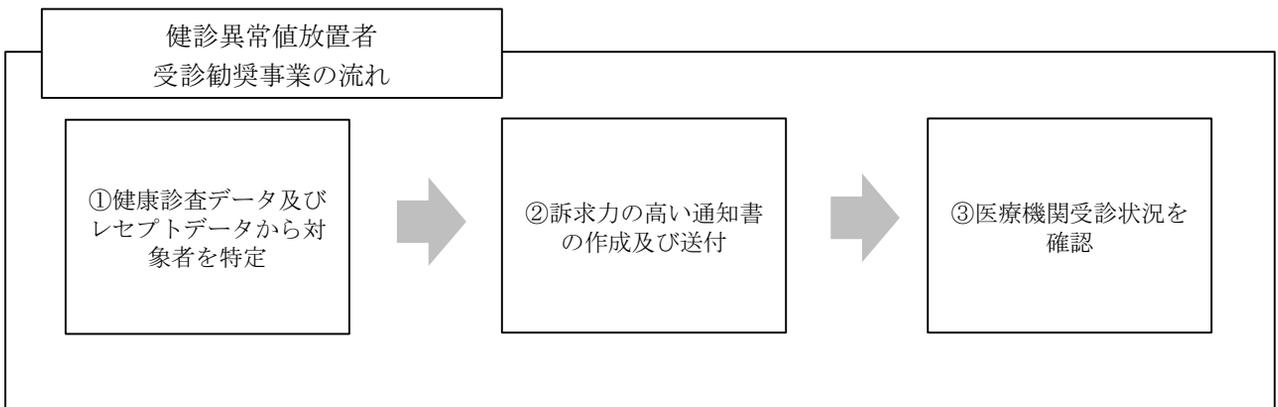
### 【事業目的】

健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

### 【実施概要】

特定健診の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。スケジュールは1年毎にPDCAサイクルに沿って行う。

### 【実施内容】



### 【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

目標値	
アウトプット	アウトカム
通知率100% 医療機関受診率20%	異常値放置者数20%減少

### 【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に以下のようなスケジュールで実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度 ～ 平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													←→

### (3) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

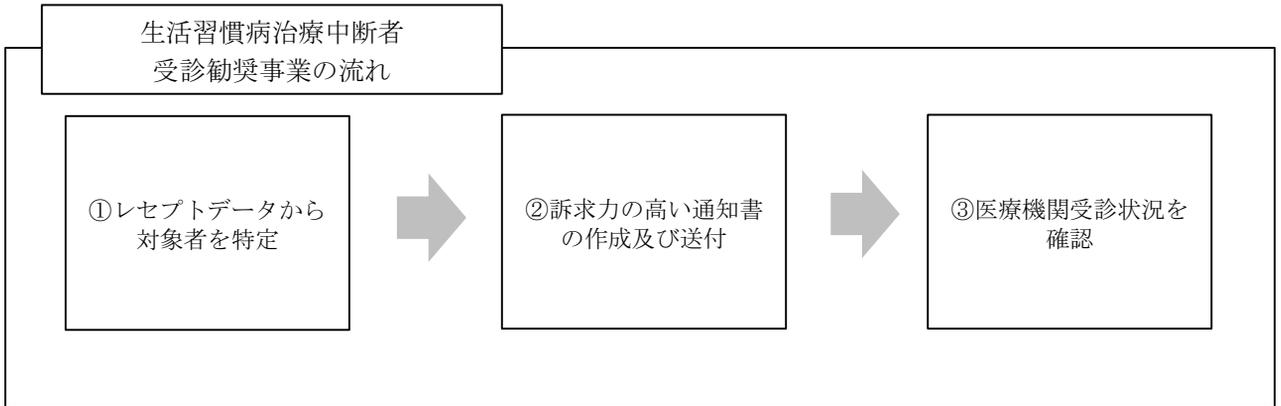
#### 【事業目的】

生活習慣病治療中断者の減少

#### 【実施概要】

レセプトから、かつて生活習慣病の治療を受けていたにもかかわらず、一定期間、医療機関受診が確認できず、治療を中断している可能性のある対象者を特定する。対象者に通知書を送付することで、受診勧奨を行う。スケジュールは1年毎にPDCAサイクルに沿って行う。

#### 【実施内容】



#### 通知書デザイン

**あなたの健康に関する  
大切なお知らせです。**

郵便はがき

●●局

料金別納  
郵便

123-4567

〇〇県△△市□□1-2-3

**Q** 特に今は悪いところがないので、通院していないのですが…

**A** 生活習慣病は自覚症状が気づいたときにはかなり遅くありません。生活習慣病は早めの予防医療機関での受診を中断するより早くお願いします。

**Q** 特定健康診査について

**A** 特定健診とは糖尿病や高血圧などを見つかるための健診です。生活習慣病は早期の予防医療機関での受診を中断するより早くお願いします。1年に1回の特定健診を受診してください。特定健診についての詳細は記載の電話番号までお問い合わせください。

**あなたの健康に関する大切なお知らせです。**

**～生活習慣病の治療を中断されていないでしょうか～**

**あなたは医療機関での生活習慣病の治療を中断されていないでしょうか？**

この通知は診療報酬明細書(レセプト)を元に、生活習慣病の受診を中断されていると思われる方に送付しています。

生活習慣病は継続して治療を受けることが大切です。もし、中断されているのであれば、なるべく早く治療を再開されることをお勧めします。

なお、医師の指示に基づき定期的に治療を受けている方や、既に病気が完治し、医師より「受診の必要なし」とのご判断をいただいた方にこの「お知らせ」が届いた場合はご容赦ください。

**【生活習慣病の治療を思ったとき、以下のようなことも考えられます】**

**予防せず  
放っておくと**

高血圧の場合

「半身の麻痺」や「認知症」「失明」「脳梗死」など将来、介護が必要になる危険性が高くなり、深刻な事態を招きます。

生活習慣病は、早めの予防、早めの治療が最も大切です。特定健康診査を受けておられない方は、ぜひ受診しましょう！

**特定健診をご活用されていますか？**

特定健康診査をご活用されていますでしょうか。特定健康診査は、あなたご自身のおからだの状態を知ることができます。特定健康診査を受診し、ご自身の健康管理に努めましょう。

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

目標値	
アウトプット	アウトカム
通知率100% 医療機関受診率20%	治療中断者数20%減少

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に以下のようなスケジュールで実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度 ～ 平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		⇔										
		指導実施				⇔								
	C(効果測定)	効果測定					⇔							
		効果確認											⇔	
	A(改善)	改善計画												⇔
	P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)												⇔

#### (4) 受診行動適正化指導事業(重複受診、頻回受診、重複服薬)

##### 【事業目的】

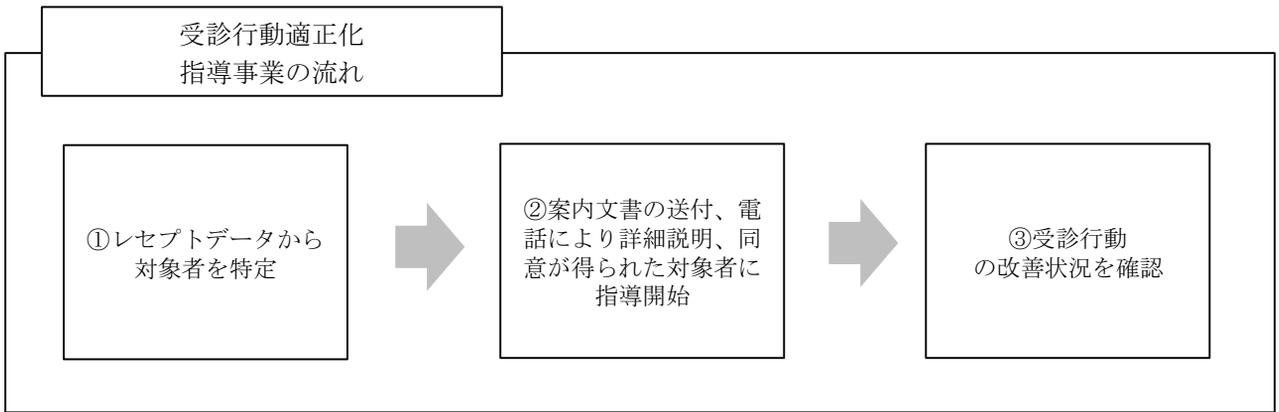
重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

##### 【実施概要】

レセプトから、医療機関への過度な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、指導する。指導は専門職によるもので、適正な医療機関へのかかり方について、面談指導または電話指導を行う。

スケジュールは1年毎にPDCAサイクルに沿って行う。

##### 【実施内容】



##### 【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

目標値	
アウトプット	アウトカム
指導率50% 完了者の受診行動適正化80% 医療費指導実施前より50%減少	対象者数20%減少

##### 【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に以下のようなスケジュールで実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度 ～ 平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													←→



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

目標値	
アウトプット	アウトカム
通知率100%	金額ベース40% 数量ベース68%

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備	←														
		指導実施			←												
	C(効果測定)	効果測定				←											
		効果確認				←											
	A(改善)	改善計画													←		
	P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													←		

## (6) 糖尿病性腎症重症化予防事業

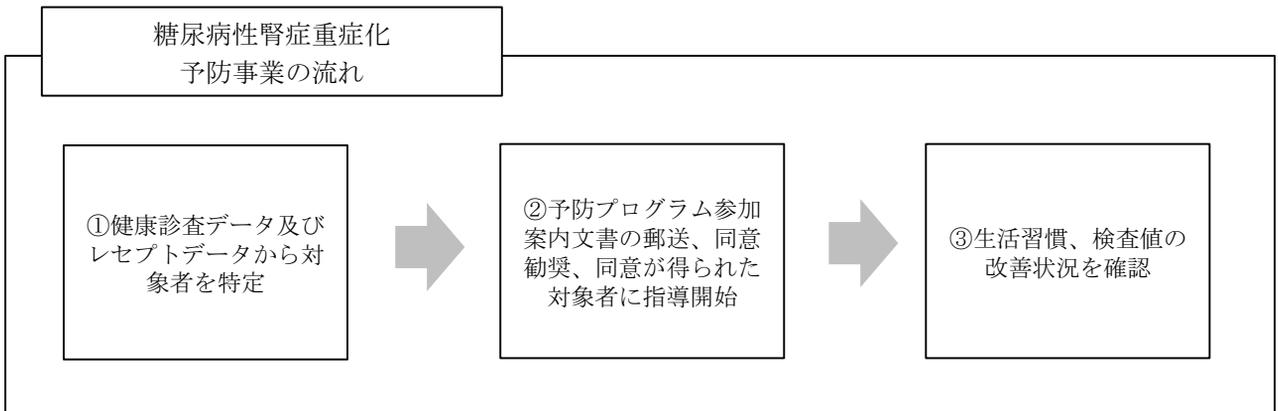
### 【事業目的】

被保険者の糖尿病重症化予防

### 【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、専門職より対象者個人に6カ月間の面談指導と電話指導を行う。指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続できるように日常に根付いたものとする。スケジュールは1年毎にPDCAサイクルに沿って行う。

### 【実施内容】



### 【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

目標値	
アウトプット	アウトカム
指導率20% 生活習慣改善率70% 検査値改善率70%	人口透析移行率0%

### 【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

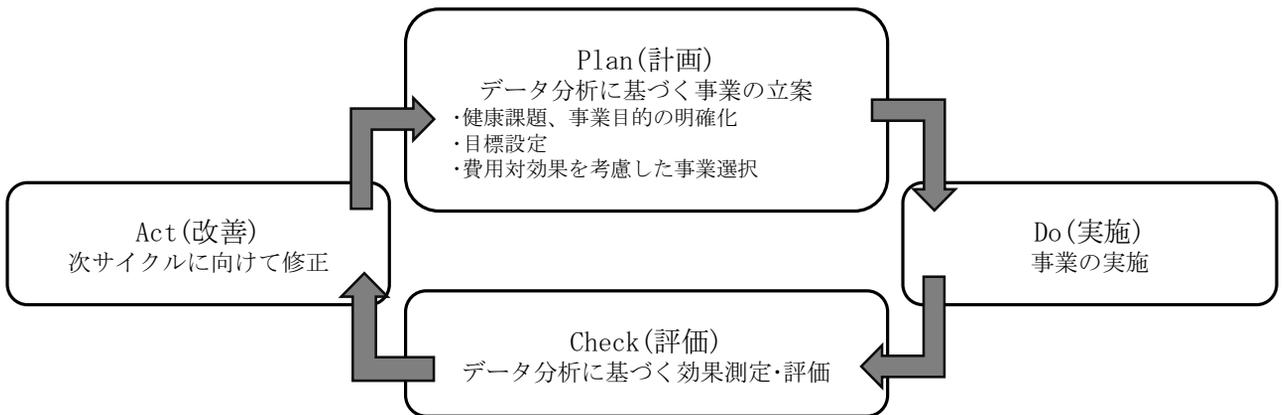
実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													←→

## 1. データヘルス計画の見直し

### (1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととする。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行う。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととする。

評価・見直しに当たっては、他保険者と連携して行い、国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会に指導・助言を受けるものとする。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

### (2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

## 2. 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

## 3. 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

## 4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

# 詳細分析

## 1. 大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の15.4%、「循環器系の疾患」は医療費合計の14.6%と高い割合を占めている。

### 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	92,392,049	3.4%	10	10,336	12	2,232	7	41,394	11
II. 新生物<腫瘍>	418,341,549	15.4%	1	11,605	8	2,212	8	189,124	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	26,702,940	1.0%	15	3,327	16	848	15	31,489	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	252,213,442	9.3%	5	49,844	2	3,798	3	66,407	7
V. 精神及び行動の障害	314,685,834	11.6%	3	11,165	11	1,021	14	308,213	1
VI. 神経系の疾患	157,550,842	5.8%	7	19,330	6	1,681	12	93,724	4
VII. 眼及び付属器の疾患	90,695,809	3.3%	11	11,542	9	2,281	6	39,761	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	11,937,909	0.4%	17	3,343	15	804	16	14,848	20
IX. 循環器系の疾患	396,275,488	14.6%	2	51,405	1	3,514	4	112,770	3
X. 呼吸器系の疾患	151,827,455	5.6%	8	27,121	5	3,833	2	39,611	13
X I. 消化器系の疾患 ※	281,682,074	10.3%	4	49,706	3	4,316	1	65,265	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	65,584,431	2.4%	12	12,547	7	2,170	10	30,223	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	202,343,104	7.4%	6	30,004	4	3,023	5	66,935	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	106,494,275	3.9%	9	10,104	13	2,012	11	52,930	9
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	1,260,320	0.0%	20	97	20	50	20	25,206	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,170,220	0.0%	21	24	21	16	21	73,139	5
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	4,539,797	0.2%	18	401	19	121	19	37,519	14
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	62,528,244	2.3%	14	11,215	10	2,204	9	28,370	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	63,811,026	2.3%	13	5,056	14	1,249	13	51,090	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	15,974,550	0.6%	16	3,138	17	505	18	31,633	15
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	4,500,471	0.2%	19	2,595	18	510	17	8,824	21
合計	2,722,511,830			123,839		6,599		412,564	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

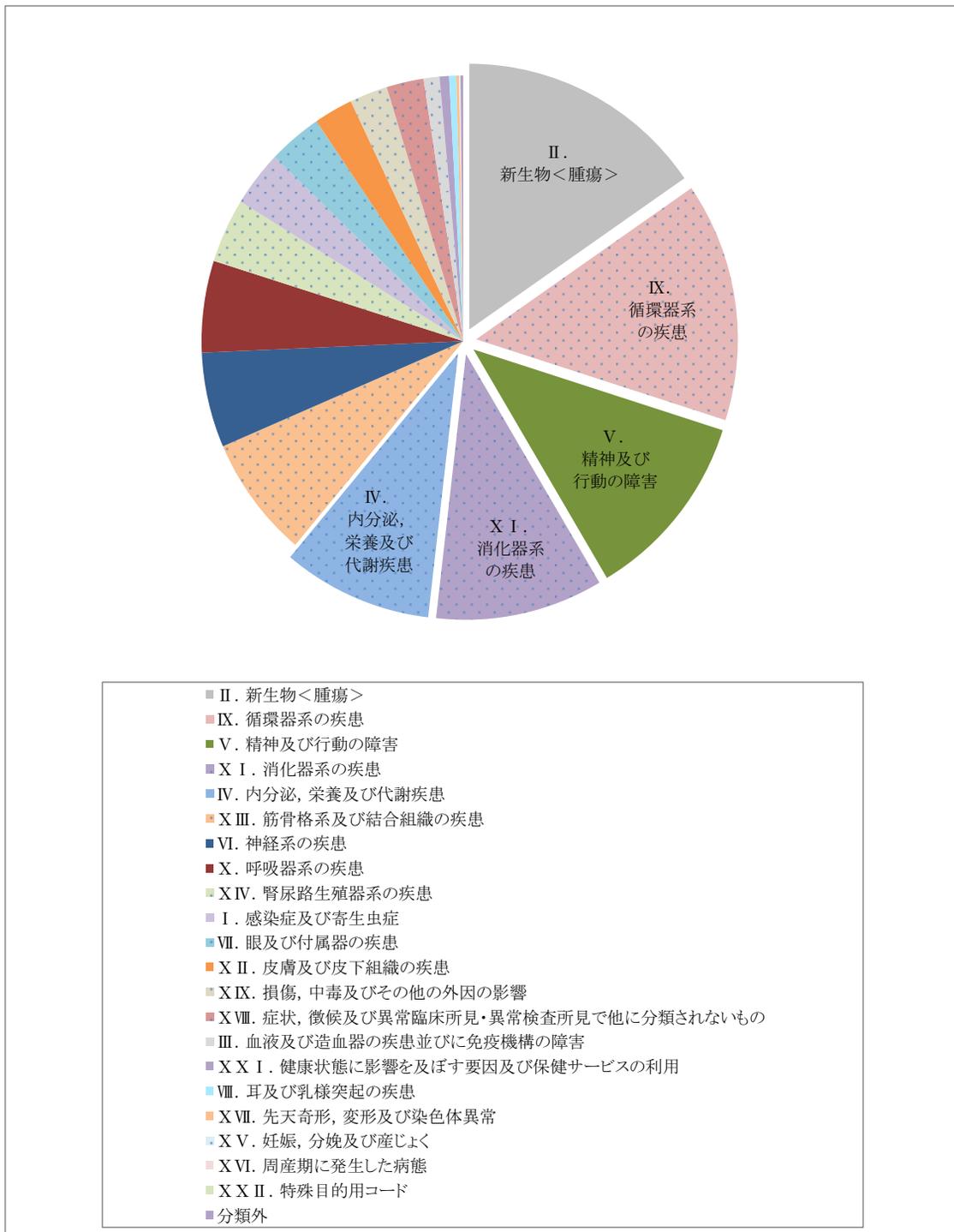
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、「男性」においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物<腫瘍>」「循環器系の疾患」「精神及び行動の障害」「消化器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」の医療費で高い割合を占める。

## 疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	108,956,059	3.8%	10	162,418,811	5.6%	9	92,392,049	3.4%	10
II. 新生物<腫瘍>	364,008,145	12.7%	2	390,432,637	13.4%	2	418,341,549	15.4%	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	40,667,560	1.4%	15	30,845,460	1.1%	15	26,702,940	1.0%	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	266,267,500	9.3%	5	269,650,760	9.2%	5	252,213,442	9.3%	5
V. 精神及び行動の障害	349,696,806	12.2%	3	324,723,923	11.1%	3	314,685,834	11.6%	3
VI. 神経系の疾患	155,537,171	5.4%	8	174,042,913	6.0%	7	157,550,842	5.8%	7
VII. 眼及び付属器の疾患	91,274,620	3.2%	11	88,655,874	3.0%	11	90,695,809	3.3%	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	18,146,304	0.6%	16	11,426,100	0.4%	17	11,937,909	0.4%	17
IX. 循環器系の疾患	405,377,801	14.2%	1	451,293,907	15.5%	1	396,275,488	14.6%	2
X. 呼吸器系の疾患	155,961,595	5.4%	7	166,342,073	5.7%	8	151,827,455	5.6%	8
X I. 消化器系の疾患 ※	294,904,682	10.3%	4	288,206,730	9.9%	4	281,682,074	10.3%	4
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	78,285,293	2.7%	12	70,760,994	2.4%	12	65,584,431	2.4%	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	242,734,388	8.5%	6	219,463,656	7.5%	6	202,343,104	7.4%	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	123,542,119	4.3%	9	103,592,490	3.6%	10	106,494,275	3.9%	9
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	2,998,476	0.1%	20	7,573,569	0.3%	19	1,260,320	0.0%	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,771,149	0.1%	21	4,893,701	0.2%	20	1,170,220	0.0%	21
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	5,216,672	0.2%	18	7,781,969	0.3%	18	4,539,797	0.2%	18
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	69,813,735	2.4%	14	64,996,219	2.2%	13	62,528,244	2.3%	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	72,542,372	2.5%	13	63,571,668	2.2%	14	63,811,026	2.3%	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	11,760,721	0.4%	17	11,580,364	0.4%	16	15,974,550	0.6%	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	3,229,171	0.1%	19	3,247,591	0.1%	21	4,500,471	0.2%	19
合計	2,863,692,340			2,915,501,410			2,722,511,830		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

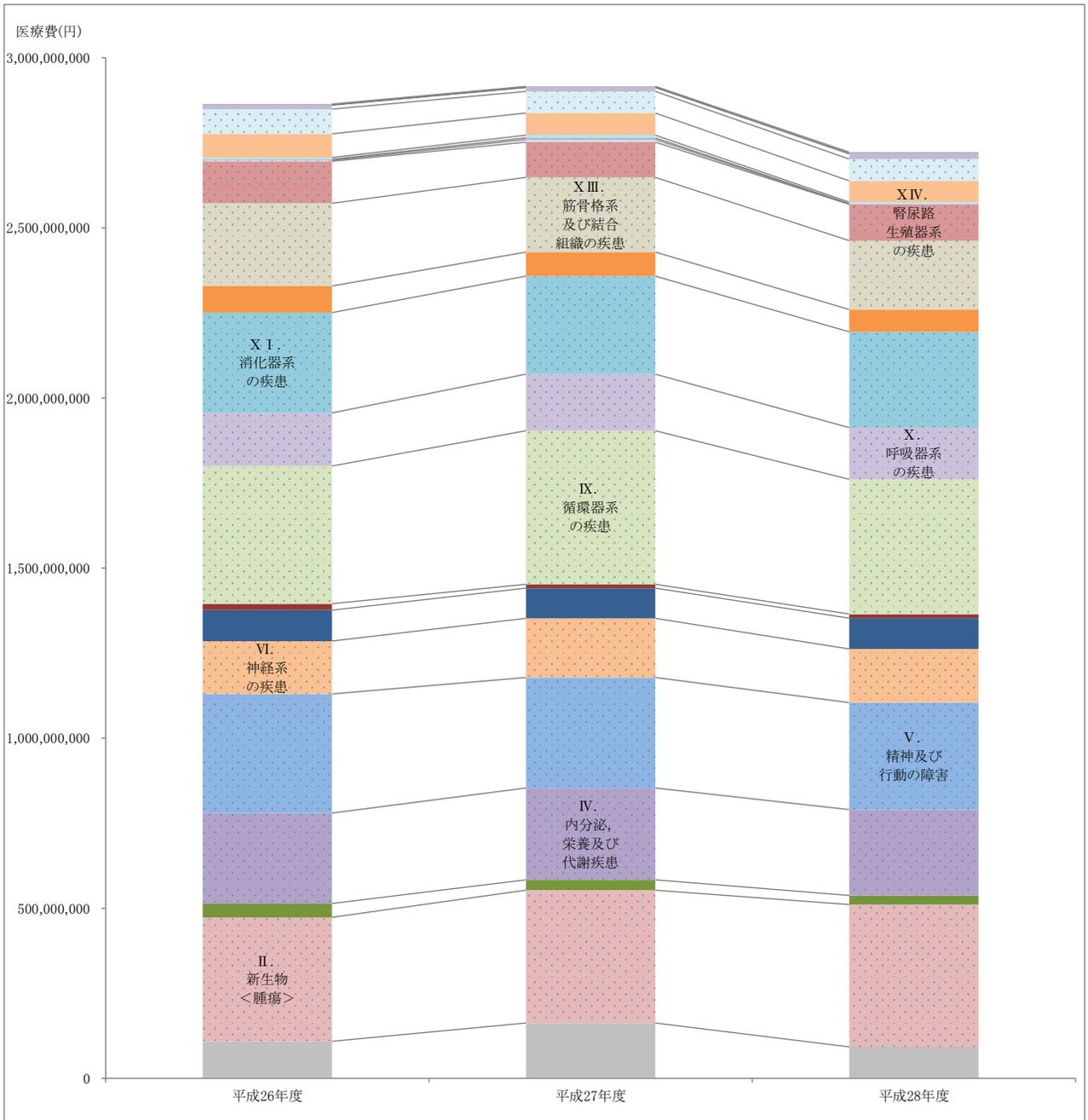
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

# 年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

## 2. 中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

### 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	194,179,279	7.1%	277
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	164,153,354	6.0%	930
3	0901 高血圧性疾患	134,393,110	4.9%	2,607
4	1113 その他の消化器系の疾患	126,015,663	4.6%	2,199
5	0402 糖尿病	104,892,508	3.9%	2,555
6	0403 脂質異常症	90,365,477	3.3%	2,604
7	0606 その他の神経系の疾患	74,030,883	2.7%	1,479
8	0903 その他の心疾患	69,007,999	2.5%	1,374
9	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	66,200,618	2.4%	205
10	0902 虚血性心疾患	63,460,493	2.3%	949

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	134,393,110	2,607	39.5%
2	0403 脂質異常症	90,365,477	2,604	39.5%
3	0402 糖尿病	104,892,508	2,555	38.7%
4	1105 胃炎及び十二指腸炎	53,148,971	2,415	36.6%
5	1110 その他の肝疾患	28,813,422	2,240	33.9%
6	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	62,528,244	2,204	33.4%
7	1113 その他の消化器系の疾患	126,015,663	2,199	33.3%
8	1003 その他の急性上気道感染症	18,751,278	1,972	29.9%
9	0703 屈折及び調節の障害	9,759,975	1,756	26.6%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	33,014,994	1,606	24.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

## 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0209 白血病	15,825,935	20	791,297
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	194,179,279	277	701,008
3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	25,297,831	57	443,822
4	1503 単胎自然分娩	423,670	1	423,670
5	0506 知的障害<精神遅滞>	5,037,061	13	387,466
6	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	14,532,389	41	354,449
7	0905 脳内出血	30,739,345	87	353,326
8	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	66,200,618	205	322,930
9	0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	12,125,287	38	319,087
10	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	9,789,946	31	315,805

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

### 年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	217,712,973	7.6%	293
	2	0901 高血圧性疾患	156,518,262	5.5%	2,750
	3	1113 その他の消化器系の疾患	129,275,824	4.5%	2,254
	4	0402 糖尿病	110,459,282	3.9%	2,566
	5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	109,184,959	3.8%	945
	6	0403 脂質異常症	98,953,195	3.5%	2,640
	7	0606 その他の神経系の疾患	74,878,259	2.6%	1,591
	8	0903 その他の心疾患	71,868,776	2.5%	1,321
	9	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	69,813,735	2.4%	2,272
	10	1402 腎不全	68,211,733	2.4%	394
平成27年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	209,357,070	7.2%	281
	2	0901 高血圧性疾患	148,703,890	5.1%	2,694
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	127,684,568	4.4%	1,038
	4	1113 その他の消化器系の疾患	118,627,197	4.1%	2,280
	5	0402 糖尿病	108,455,809	3.7%	2,608
	6	0105 ウイルス性肝炎	101,258,768	3.5%	529
	7	0403 脂質異常症	96,686,446	3.3%	2,645
	8	0606 その他の神経系の疾患	80,755,843	2.8%	1,545
	9	0903 その他の心疾患	78,068,205	2.7%	1,427
	10	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	64,996,219	2.2%	2,355
平成28年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	194,179,279	7.1%	277
	2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	164,153,354	6.0%	930
	3	0901 高血圧性疾患	134,393,110	4.9%	2,607
	4	1113 その他の消化器系の疾患	126,015,663	4.6%	2,199
	5	0402 糖尿病	104,892,508	3.9%	2,555
	6	0403 脂質異常症	90,365,477	3.3%	2,604
	7	0606 その他の神経系の疾患	74,030,883	2.7%	1,479
	8	0903 その他の心疾患	69,007,999	2.5%	1,374
	9	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	66,200,618	2.4%	205
	10	0902 虚血性心疾患	63,460,493	2.3%	949

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

### 年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	156,518,262	2,750	38.8%
	2	0403 脂質異常症	98,953,195	2,640	37.2%
	3	1105 胃炎及び十二指腸炎	56,513,113	2,568	36.2%
	4	0402 糖尿病	110,459,282	2,566	36.2%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	69,813,735	2,272	32.0%
	6	1113 その他の消化器系の疾患	129,275,824	2,254	31.8%
	7	1003 その他の急性上気道感染症	20,314,790	2,103	29.7%
	8	1110 その他の肝疾患	32,709,523	2,091	29.5%
	9	0703 屈折及び調節の障害	11,712,561	1,903	26.8%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	41,278,526	1,790	25.2%
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	148,703,890	2,694	38.7%
	2	0403 脂質異常症	96,686,446	2,645	38.0%
	3	0402 糖尿病	108,455,809	2,608	37.5%
	4	1105 胃炎及び十二指腸炎	56,579,221	2,542	36.5%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	64,996,219	2,355	33.8%
	6	1113 その他の消化器系の疾患	118,627,197	2,280	32.7%
	7	1003 その他の急性上気道感染症	21,092,299	2,185	31.4%
	8	1110 その他の肝疾患	32,260,845	2,081	29.9%
	9	0703 屈折及び調節の障害	10,977,561	1,894	27.2%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	38,311,755	1,736	24.9%
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	134,393,110	2,607	39.5%
	2	0403 脂質異常症	90,365,477	2,604	39.5%
	3	0402 糖尿病	104,892,508	2,555	38.7%
	4	1105 胃炎及び十二指腸炎	53,148,971	2,415	36.6%
	5	1110 その他の肝疾患	28,813,422	2,240	33.9%
	6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	62,528,244	2,204	33.4%
	7	1113 その他の消化器系の疾患	126,015,663	2,199	33.3%
	8	1003 その他の急性上気道感染症	18,751,278	1,972	29.9%
	9	0703 屈折及び調節の障害	9,759,975	1,756	26.6%
	10	1202 皮膚炎及び湿疹	33,014,994	1,606	24.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成26年度	1	0209 白血病	15,998,974	21	761,856
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	217,712,973	293	743,048
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	38,458,185	54	712,189
	4	0501 血管性及び詳細不明の認知症	12,033,550	23	523,198
	5	0506 知的障害<精神遅滞>	3,993,572	11	363,052
	6	2105 特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	725,742	2	362,871
	7	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	15,427,150	44	350,617
	8	0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	12,055,576	36	334,877
	9	0602 アルツハイマー病	20,094,813	71	283,026
	10	0507 その他の精神及び行動の障害	33,775,056	129	261,822
平成27年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	209,357,070	281	745,043
	2	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	41,369,513	58	713,267
	3	0209 白血病	20,030,333	29	690,701
	4	0208 悪性リンパ腫	33,002,693	73	452,092
	5	0506 知的障害<精神遅滞>	5,530,233	14	395,017
	6	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	14,812,677	46	322,015
	7	1502 妊娠高血圧症候群	1,221,049	4	305,262
	8	0501 血管性及び詳細不明の認知症	8,682,794	29	299,407
	9	0602 アルツハイマー病	21,952,636	77	285,099
	10	0507 その他の精神及び行動の障害	28,606,649	115	248,753
平成28年度	1	0209 白血病	15,825,935	20	791,297
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	194,179,279	277	701,008
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	25,297,831	57	443,822
	4	1503 単胎自然分娩	423,670	1	423,670
	5	0506 知的障害<精神遅滞>	5,037,061	13	387,466
	6	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	14,532,389	41	354,449
	7	0905 脳内出血	30,739,345	87	353,326
	8	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	66,200,618	205	322,930
	9	0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	12,125,287	38	319,087
	10	1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	9,789,946	31	315,805

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,722,511,830	123,839	6,599

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
<b>I. 感染症及び寄生虫症</b>	92,392,049	3.4%		10,336	8.3%		2,232	33.8%		41,394	
0101 腸管感染症	6,121,749	0.2%	80	1,966	1.6%	59	656	9.9%	39	9,332	105
0102 結核	1,272,028	0.0%	105	185	0.1%	104	72	1.1%	99	17,667	82
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	3,803,747	0.1%	90	284	0.2%	97	178	2.7%	80	21,369	73
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	7,630,254	0.3%	74	1,337	1.1%	67	393	6.0%	56	19,415	77
0105 ウイルス性肝炎	46,411,967	1.7%	17	2,842	2.3%	45	516	7.8%	44	89,946	24
0106 その他のウイルス性疾患	1,657,172	0.1%	102	322	0.3%	95	133	2.0%	86	12,460	99
0107 真菌症	15,281,143	0.6%	54	3,034	2.4%	41	662	10.0%	38	23,083	68
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	451,397	0.0%	112	44	0.0%	113	9	0.1%	115	50,155	37
0109 その他の感染症及び寄生虫症	9,762,593	0.4%	67	1,759	1.4%	61	515	7.8%	45	18,956	78
<b>II. 新生物&lt;腫瘍&gt;</b>	418,341,549	15.4%		11,605	9.4%		2,212	33.5%		189,124	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	23,493,631	0.9%	39	1,463	1.2%	66	324	4.9%	66	72,511	27
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	35,849,282	1.3%	22	2,236	1.8%	54	708	10.7%	35	50,635	35
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	25,297,831	0.9%	36	469	0.4%	90	57	0.9%	100	443,822	3
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	11,444,976	0.4%	62	745	0.6%	82	153	2.3%	82	74,804	26
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	66,200,618	2.4%	9	741	0.6%	83	205	3.1%	73	322,930	8
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	26,056,833	1.0%	33	834	0.7%	78	184	2.8%	79	141,613	17
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	2,145,858	0.1%	98	297	0.2%	96	122	1.8%	87	17,589	83
0208 悪性リンパ腫	8,180,499	0.3%	73	464	0.4%	91	85	1.3%	97	96,241	22
0209 白血病	15,825,935	0.6%	52	222	0.2%	100	20	0.3%	109	791,297	1
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	164,153,354	6.0%	2	4,406	3.6%	31	930	14.1%	27	176,509	15
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	39,692,733	1.5%	20	3,069	2.5%	40	905	13.7%	30	43,859	42
<b>III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害</b>	26,702,940	1.0%		3,327	2.7%		848	12.9%		31,489	
0301 貧血	8,424,205	0.3%	71	2,063	1.7%	56	539	8.2%	43	15,629	91
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	18,278,735	0.7%	46	1,495	1.2%	64	449	6.8%	53	40,710	46
<b>IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患</b>	252,213,442	9.3%		49,844	40.2%		3,798	57.6%		66,407	
0401 甲状腺障害	15,488,139	0.6%	53	5,542	4.5%	28	959	14.5%	25	16,150	89
0402 糖尿病	104,892,508	3.9%	5	23,968	19.4%	4	2,555	38.7%	3	41,054	45
0403 脂質異常症	90,365,477	3.3%	6	35,695	28.8%	2	2,604	39.5%	2	34,703	50
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	41,467,319	1.5%	19	8,698	7.0%	14	1,290	19.5%	17	32,145	54
<b>V. 精神及び行動の障害</b>	314,685,834	11.6%		11,165	9.0%		1,021	15.5%		308,213	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	6,129,217	0.2%	79	119	0.1%	107	30	0.5%	107	204,307	14
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	12,125,287	0.4%	61	231	0.2%	99	38	0.6%	105	319,087	9
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	194,179,279	7.1%	1	3,575	2.9%	36	277	4.2%	72	701,008	2

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,722,511,830	123,839	6,599

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当りの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	54,731,080	2.0%	12	6,131	5.0%	26	510	7.7%	46	107,316	20
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	15,868,834	0.6%	51	5,589	4.5%	27	549	8.3%	42	28,905	61
0506	知的障害<精神遅滞>	5,037,061	0.2%	85	57	0.0%	111	13	0.2%	113	387,466	5
0507	その他の精神及び行動の障害	26,615,076	1.0%	30	870	0.7%	77	113	1.7%	88	235,532	11
VI. 神経系の疾患		157,550,842	5.8%		19,330	15.6%		1,681	25.5%		93,724	
0601	パーキンソン病	21,365,696	0.8%	40	1,273	1.0%	70	99	1.5%	93	215,815	12
0602	アルツハイマー病	16,262,513	0.6%	49	724	0.6%	86	78	1.2%	98	208,494	13
0603	てんかん	26,195,632	1.0%	32	2,267	1.8%	52	201	3.0%	74	130,327	18
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	14,532,389	0.5%	55	373	0.3%	93	41	0.6%	102	354,449	6
0605	自律神経系の障害	5,163,728	0.2%	83	1,106	0.9%	72	104	1.6%	91	49,651	39
0606	その他の神経系の疾患	74,030,883	2.7%	7	16,328	13.2%	6	1,479	22.4%	13	50,055	38
VII. 眼及び付属器の疾患		90,695,809	3.3%		11,542	9.3%		2,281	34.6%		39,761	
0701	結膜炎	8,595,548	0.3%	70	6,589	5.3%	24	1,370	20.8%	15	6,274	116
0702	白内障	20,905,779	0.8%	41	4,013	3.2%	34	718	10.9%	34	29,117	59
0703	屈折及び調節の障害	9,759,975	0.4%	68	7,727	6.2%	19	1,756	26.6%	9	5,558	118
0704	その他の眼及び付属器の疾患	51,434,506	1.9%	15	8,627	7.0%	15	1,519	23.0%	12	33,861	51
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		11,937,909	0.4%		3,343	2.7%		804	12.2%		14,848	
0801	外耳炎	2,313,805	0.1%	96	1,165	0.9%	71	334	5.1%	64	6,928	115
0802	その他の外耳疾患	545,514	0.0%	111	214	0.2%	102	104	1.6%	91	5,245	119
0803	中耳炎	2,090,823	0.1%	99	755	0.6%	81	190	2.9%	77	11,004	100
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	1,782,420	0.1%	101	277	0.2%	98	105	1.6%	90	16,975	87
0805	メニエール病	1,313,094	0.0%	104	722	0.6%	87	157	2.4%	81	8,364	111
0806	その他の内耳疾患	1,483,532	0.1%	103	652	0.5%	88	145	2.2%	83	10,231	101
0807	その他の耳疾患	2,408,721	0.1%	95	776	0.6%	80	284	4.3%	71	8,481	110
IX. 循環器系の疾患		396,275,488	14.6%		51,405	41.5%		3,514	53.3%		112,770	
0901	高血圧性疾患	134,393,110	4.9%	3	43,810	35.4%	1	2,607	39.5%	1	51,551	34
0902	虚血性心疾患	63,460,493	2.3%	10	8,861	7.2%	12	949	14.4%	26	66,871	28
0903	その他の心疾患	69,007,999	2.5%	8	10,125	8.2%	9	1,374	20.8%	14	50,224	36
0904	くも膜下出血	3,034,849	0.1%	91	136	0.1%	106	20	0.3%	109	151,742	16
0905	脳内出血	30,739,345	1.1%	24	392	0.3%	92	87	1.3%	96	353,326	7
0906	脳梗塞	47,368,705	1.7%	16	4,996	4.0%	30	485	7.3%	51	97,667	21
0907	脳動脈硬化(症)	8,264	0.0%	121	5	0.0%	120	1	0.0%	121	8,264	112
0908	その他の脳血管疾患	12,973,984	0.5%	60	2,919	2.4%	43	424	6.4%	55	30,599	57
0909	動脈硬化(症)	14,076,598	0.5%	56	2,645	2.1%	48	812	12.3%	31	17,336	85
0911	低血圧(症)	646,276	0.0%	110	210	0.2%	103	24	0.4%	108	26,928	63
0912	その他の循環器系の疾患	20,565,866	0.8%	42	1,975	1.6%	58	352	5.3%	60	58,426	29
X. 呼吸器系の疾患		151,827,455	5.6%		27,121	21.9%		3,833	58.1%		39,611	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	1,824,511	0.1%	100	1,305	1.1%	69	425	6.4%	54	4,293	120
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	5,249,910	0.2%	82	2,826	2.3%	46	916	13.9%	29	5,731	117
1003	その他の急性上気道感染症	18,751,278	0.7%	45	7,944	6.4%	18	1,972	29.9%	8	9,509	104

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,722,511,830	123,839	6,599

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	11,266,662	0.4%	63	1,488	1.2%	65	510	7.7%	46	22,091	69
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	8,182,983	0.3%	72	3,308	2.7%	38	994	15.1%	22	8,232	113
1006	アレルギー性鼻炎	19,865,981	0.7%	43	8,716	7.0%	13	1,553	23.5%	11	12,792	97
1007	慢性副鼻腔炎	5,637,440	0.2%	81	2,682	2.2%	47	585	8.9%	40	9,637	102
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	4,163,808	0.2%	87	1,661	1.3%	63	564	8.5%	41	7,383	114
1009	慢性閉塞性肺疾患	13,385,569	0.5%	59	2,894	2.3%	44	322	4.9%	67	41,570	44
1010	喘息	24,070,946	0.9%	37	8,547	6.9%	16	1,021	15.5%	21	23,576	67
1011	その他の呼吸器系の疾患	39,428,369	1.4%	21	3,962	3.2%	35	1,181	17.9%	19	33,386	53
X I . 消化器系の疾患		281,682,074	10.3%		49,706	40.1%		4,316	65.4%		65,265	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	147,606	0.0%	117	20	0.0%	114	9	0.1%	115	16,401	88
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	20,776	0.0%	120	17	0.0%	116	8	0.1%	117	2,597	122
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	26,859,962	1.0%	29	8,421	6.8%	17	929	14.1%	28	28,913	60
1105	胃炎及び十二指腸炎	53,148,971	2.0%	13	25,167	20.3%	3	2,415	36.6%	4	22,008	71
1106	痔核	2,890,244	0.1%	92	820	0.7%	79	192	2.9%	76	15,053	94
1107	アルコール性肝疾患	2,733,458	0.1%	93	931	0.8%	76	93	1.4%	94	29,392	58
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	10,464,345	0.4%	64	6,772	5.5%	22	695	10.5%	36	15,057	93
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	7,460,298	0.3%	75	1,080	0.9%	74	141	2.1%	85	52,910	32
1110	その他の肝疾患	28,813,422	1.1%	26	14,699	11.9%	7	2,240	33.9%	5	12,863	96
1111	胆石症及び胆のう炎	16,324,788	0.6%	48	2,195	1.8%	55	362	5.5%	59	45,096	41
1112	膵疾患	6,802,540	0.2%	77	1,321	1.1%	68	314	4.8%	68	21,664	72
1113	その他の消化器系の疾患	126,015,663	4.6%	4	19,968	16.1%	5	2,199	33.3%	7	57,306	30
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		65,584,431	2.4%		12,547	10.1%		2,170	32.9%		30,223	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	5,044,140	0.2%	84	1,003	0.8%	75	332	5.0%	65	15,193	92
1202	皮膚炎及び湿疹	33,014,994	1.2%	23	9,092	7.3%	11	1,606	24.3%	10	20,557	76
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	27,525,298	1.0%	28	6,614	5.3%	23	1,317	20.0%	16	20,900	75
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		202,343,104	7.4%		30,004	24.2%		3,023	45.8%		66,935	
1301	炎症性多発性関節障害	26,348,911	1.0%	31	4,380	3.5%	32	504	7.6%	49	52,280	33
1302	関節症	43,496,650	1.6%	18	7,105	5.7%	21	799	12.1%	32	54,439	31
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	28,575,333	1.0%	27	5,455	4.4%	29	674	10.2%	37	42,397	43
1304	椎間板障害	10,392,009	0.4%	65	2,241	1.8%	53	338	5.1%	63	30,746	56
1305	頸腕症候群	2,418,543	0.1%	94	1,831	1.5%	60	194	2.9%	75	12,467	98
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	19,437,962	0.7%	44	9,104	7.4%	10	1,131	17.1%	20	17,187	86
1307	その他の脊柱障害	13,585,629	0.5%	57	2,362	1.9%	51	347	5.3%	62	39,152	47
1308	肩の傷害<損傷>	6,913,142	0.3%	76	3,020	2.4%	42	387	5.9%	57	17,863	81
1309	骨の密度及び構造の障害	25,565,880	0.9%	35	6,484	5.2%	25	760	11.5%	33	33,639	52
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	25,609,045	0.9%	34	7,489	6.0%	20	1,204	18.2%	18	21,270	74

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,722,511,830	123,839	6,599

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	106,494,275	3.9%		10,104	8.2%		2,012	30.5%		52,930	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	6,299,921	0.2%	78	1,106	0.9%	72	351	5.3%	61	17,948	80
1402 腎不全	51,935,918	1.9%	14	2,062	1.7%	57	458	6.9%	52	113,397	19
1403 尿路結石症	4,150,614	0.2%	89	613	0.5%	89	188	2.8%	78	22,078	70
1404 その他の腎尿路系の疾患	18,254,412	0.7%	47	4,098	3.3%	33	987	15.0%	23	18,495	79
1405 前立腺肥大(症)	13,574,256	0.5%	58	2,380	1.9%	50	297	4.5%	70	45,705	40
1406 その他の男性生殖器系の疾患	682,699	0.0%	109	175	0.1%	105	49	0.7%	101	13,933	95
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	2,256,551	0.1%	97	733	0.6%	85	143	2.2%	84	15,780	90
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	9,339,904	0.3%	69	734	0.6%	84	370	5.6%	58	25,243	65
XV. 妊娠, 分娩及び産じょく	1,260,320	0.0%		97	0.1%		50	0.8%		25,206	
1501 流産	127,729	0.0%	118	18	0.0%	115	15	0.2%	111	8,515	109
1502 妊娠高血圧症候群	7,650	0.0%	122	2	0.0%	121	2	0.0%	120	3,825	121
1503 単胎自然分娩	423,670	0.0%	113	2	0.0%	121	1	0.0%	121	423,670	4
1504 その他の妊娠, 分娩及び産じょく	701,271	0.0%	108	77	0.1%	110	40	0.6%	103	17,532	84
XVI. 周産期に発生した病態	1,170,220	0.0%		24	0.0%		16	0.2%		73,139	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	220,615	0.0%	116	7	0.0%	118	6	0.1%	118	36,769	49
1602 その他の周産期に発生した病態	949,605	0.0%	106	17	0.0%	116	12	0.2%	114	79,134	25
XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,539,797	0.2%		401	0.3%		121	1.8%		37,519	
1701 心臓の先天奇形	382,325	0.0%	114	54	0.0%	112	15	0.2%	111	25,488	64
1702 その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	4,157,472	0.2%	88	351	0.3%	94	109	1.7%	89	38,142	48
XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	62,528,244	2.3%		11,215	9.1%		2,204	33.4%		28,370	
1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	62,528,244	2.3%	11	11,215	9.1%	8	2,204	33.4%	6	28,370	62
XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	63,811,026	2.3%		5,056	4.1%		1,249	18.9%		51,090	
1901 骨折	29,190,472	1.1%	25	1,701	1.4%	62	314	4.8%	68	92,963	23
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	9,789,946	0.4%	66	83	0.1%	109	31	0.5%	106	315,805	10
1903 熱傷及び腐食	375,571	0.0%	115	119	0.1%	107	39	0.6%	104	9,630	103
1904 中毒	801,916	0.0%	107	219	0.2%	101	92	1.4%	95	8,716	108
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	23,653,121	0.9%	38	3,431	2.8%	37	976	14.8%	24	24,235	66
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	15,974,550	0.6%		3,138	2.5%		505	7.7%		31,633	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	36,225	0.0%	119	6	0.0%	119	4	0.1%	119	9,056	106
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	1,510	0.0%	123	1	0.0%	123	1	0.0%	121	1,510	123
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	2,722,511,830	123,839	6,599

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	15,936,815	0.6%	50	3,131	2.5%	39	501	7.6%	50	31,810	55
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		4,500,471	0.2%		2,595	2.1%		510	7.7%		8,824	
9999	分類外	4,500,471	0.2%	86	2,595	2.1%	49	510	7.7%	46	8,824	107

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

# 地区分析

## 1. 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

大竹	栄	小方	玖波	栗谷	その他
----	---	----	----	----	-----

### 【大竹】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	28,531,981	3.1%	10	3,396	12	761	6	37,493	15
II. 新生物<腫瘍>	145,169,166	16.0%	1	3,885	8	717	9	202,467	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	13,102,384	1.4%	15	1,130	16	276	16	47,472	12
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	86,272,172	9.5%	5	17,554	2	1,313	2	65,706	6
V. 精神及び行動の障害	89,392,633	9.9%	3	3,884	9	369	14	242,256	1
VI. 神経系の疾患	59,532,599	6.6%	7	6,670	6	570	12	104,443	4
VII. 眼及び付属器の疾患	27,332,412	3.0%	11	3,593	10	732	7	37,339	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	5,495,103	0.6%	17	1,347	15	289	15	19,014	20
IX. 循環器系の疾患	142,516,778	15.7%	2	17,764	1	1,196	4	119,161	3
X. 呼吸器系の疾患	51,983,884	5.7%	8	8,867	5	1,310	3	39,682	14
X I. 消化器系の疾患 ※	87,438,064	9.7%	4	16,736	3	1,460	1	59,889	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	18,376,737	2.0%	14	4,018	7	697	10	26,365	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	67,343,821	7.4%	6	10,488	4	1,023	5	65,830	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	28,844,111	3.2%	9	3,159	13	643	11	44,859	13
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	729,770	0.1%	20	25	20	13	20	56,136	11
X VI. 周産期に発生した病態 ※	313,315	0.0%	21	8	21	5	21	62,663	7
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	2,445,935	0.3%	18	144	19	43	19	56,882	10
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	19,957,791	2.2%	13	3,578	11	731	8	27,302	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	23,041,731	2.5%	12	1,608	14	403	13	57,176	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	6,137,856	0.7%	16	1,105	17	176	18	34,874	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	1,932,549	0.2%	19	938	18	193	17	10,013	21
合計	905,890,790			42,339		2,200		411,769	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

大竹	栄	小方	玖波	栗谷	その他
----	---	----	----	----	-----

## 【栄】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	16,567,332	4.5%	8	1,635	13	327	10	50,665	8
II. 新生物<腫瘍>	58,982,680	15.9%	1	2,028	9	351	7	168,042	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,951,875	0.8%	16	595	15	141	15	20,935	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	36,830,997	9.9%	5	7,899	3	607	2	60,677	6
V. 精神及び行動の障害	45,214,909	12.2%	3	1,860	10	170	13	265,970	1
VI. 神経系の疾患	11,679,790	3.1%	11	3,070	6	264	12	44,242	11
VII. 眼及び付属器の疾患	14,108,509	3.8%	9	2,123	8	382	6	36,933	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,323,305	0.4%	17	447	17	117	16	11,310	20
IX. 循環器系の疾患	49,228,521	13.3%	2	8,513	1	573	4	85,914	4
X. 呼吸器系の疾患	21,969,484	5.9%	7	4,663	5	604	3	36,373	15
X I. 消化器系の疾患 ※	37,988,640	10.2%	4	8,004	2	673	1	56,447	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	9,616,526	2.6%	12	2,216	7	338	8	28,451	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	31,002,547	8.3%	6	5,227	4	487	5	63,660	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	12,526,933	3.4%	10	1,689	12	298	11	42,037	12
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	112,439	0.0%	21	16	20	10	20	11,244	21
X VI. 周産期に発生した病態 ※	532,540	0.1%	20	7	21	4	21	133,135	3
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	818,445	0.2%	19	72	19	21	19	38,974	13
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,301,195	2.0%	14	1,815	11	332	9	21,992	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	7,745,545	2.1%	13	725	14	166	14	46,660	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,669,745	1.0%	15	578	16	79	17	46,452	10
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	1,138,282	0.3%	18	315	18	58	18	19,626	19
合計	371,310,240			20,073		1,045		355,321	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

大竹	栄	小方	玖波	栗谷	その他
----	---	----	----	----	-----

### 【小方】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	19,472,650	3.1%	11	3,010	11	669	6	29,107	13
II. 新生物<腫瘍>	94,197,999	15.2%	2	3,257	9	665	8	141,651	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,353,500	0.5%	15	876	15	245	14	13,688	18
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	65,068,222	10.5%	4	13,862	3	1,073	3	60,641	5
V. 精神及び行動の障害	44,816,812	7.2%	6	2,818	13	244	15	183,675	1
VI. 神経系の疾患	23,948,520	3.9%	10	5,130	6	439	12	54,552	7
VII. 眼及び付属器の疾患	29,897,475	4.8%	8	3,436	8	666	7	44,891	8
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,883,064	0.5%	16	810	16	219	16	13,165	19
IX. 循環器系の疾患	96,172,235	15.5%	1	14,499	1	1,006	4	95,599	3
X. 呼吸器系の疾患	39,044,967	6.3%	7	7,696	5	1,104	2	35,367	12
X I. 消化器系の疾患 ※	77,453,031	12.5%	3	14,323	2	1,251	1	61,913	4
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	12,762,082	2.1%	14	3,593	7	646	9	19,756	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	51,831,483	8.4%	5	8,095	4	874	5	59,304	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	27,018,536	4.4%	9	3,082	10	646	9	41,824	10
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	245,030	0.0%	21	33	20	13	20	18,848	16
X VI. 周産期に発生した病態 ※	249,315	0.0%	20	8	21	6	21	41,553	11
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	459,181	0.1%	19	92	19	32	19	14,349	17
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13,284,585	2.1%	13	2,942	12	608	11	21,850	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	16,350,172	2.6%	12	1,546	14	381	13	42,914	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,141,389	0.2%	17	810	16	127	18	8,987	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	802,165	0.1%	18	753	18	147	17	5,457	21
合計	620,452,410			35,386		1,901		326,382	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

大竹	栄	小方	玖波	栗谷	その他
----	---	----	----	----	-----

## 【玖波】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	22,098,244	3.9%	10	1,774	12	363	10	60,877	10
II. 新生物<腫瘍>	79,105,854	13.8%	3	1,957	10	378	8	209,275	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,321,292	0.8%	15	542	17	131	16	32,987	17
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	47,542,517	8.3%	5	8,680	2	636	2	74,752	7
V. 精神及び行動の障害	92,960,152	16.3%	1	1,834	11	170	14	546,824	1
VI. 神経系の疾患	34,177,995	6.0%	7	3,331	6	296	12	115,466	4
VII. 眼及び付属器の疾患	14,805,525	2.6%	12	1,964	9	392	7	37,769	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,682,018	0.3%	17	612	15	143	15	11,762	19
IX. 循環器系の疾患	80,986,708	14.2%	2	8,853	1	597	4	135,656	3
X. 呼吸器系の疾患	30,331,673	5.3%	8	4,836	5	627	3	48,376	13
X I. 消化器系の疾患 ※	54,793,726	9.6%	4	8,597	3	743	1	73,747	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	18,708,871	3.3%	11	2,093	8	369	9	50,702	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	36,387,071	6.4%	6	4,966	4	496	5	73,361	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	24,692,732	4.3%	9	1,635	13	319	11	77,407	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	78,161	0.0%	20	13	20	8	20	9,770	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	75,050	0.0%	21	1	21	1	21	75,050	6
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	778,994	0.1%	18	77	19	18	19	43,277	14
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	12,045,604	2.1%	14	2,185	7	412	6	29,237	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	12,227,108	2.1%	13	957	14	235	13	52,030	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,284,616	0.6%	16	545	16	98	17	33,516	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	550,330	0.1%	19	510	18	93	18	5,918	21
合計	571,634,240			21,152		1,116		512,217	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

大竹	栄	小方	玖波	栗谷	その他
----	---	----	----	----	-----

## 【栗谷】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,666,077	1.7%	10	248	13	52	11	32,040	11
II. 新生物<腫瘍>	34,467,439	36.1%	1	307	8	58	8	594,266	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	848,240	0.9%	14	76	16	25	15	33,930	10
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	7,541,314	7.9%	5	1,280	2	99	2	76,175	7
V. 精神及び行動の障害	6,167,561	6.5%	7	288	12	26	14	237,214	2
VI. 神経系の疾患	7,830,977	8.2%	4	560	6	57	10	137,386	3
VII. 眼及び付属器の疾患	3,666,921	3.8%	8	290	10	58	8	63,223	8
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	183,931	0.2%	17	72	17	13	18	14,149	17
IX. 循環器系の疾患	9,595,665	10.0%	2	1,262	3	91	4	105,447	4
X. 呼吸器系の疾患	2,204,709	2.3%	9	578	5	92	3	23,964	13
X I. 消化器系の疾患 ※	8,677,331	9.1%	3	1,338	1	107	1	81,097	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	777,122	0.8%	15	301	9	51	12	15,238	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	7,125,205	7.5%	6	840	4	82	5	86,893	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	1,630,784	1.7%	11	289	11	60	7	27,180	12
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	6,620	0.0%	19	1	19	1	19	6,620	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,413,998	1.5%	12	384	7	66	6	21,424	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	520,275	0.5%	16	97	14	28	13	18,581	15
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,109,664	1.2%	13	78	15	20	16	55,483	9
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	55,456	0.1%	18	65	18	14	17	3,961	19
合計	95,489,290			2,785		146		654,036	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

大竹	栄	小方	玖波	栗谷	その他
----	---	----	----	----	-----

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	4,055,765	2.6%	12	273	10	60	6	67,596	14
II. 新生物<腫瘍>	6,418,412	4.1%	9	171	12	43	12	149,265	7
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,125,649	1.3%	14	108	15	30	15	70,855	13
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	8,958,220	5.7%	6	569	2	70	3	127,975	9
V. 精神及び行動の障害	36,133,768	22.9%	1	481	5	42	13	860,328	1
VI. 神経系の疾患	20,380,962	12.9%	2	569	2	55	7	370,563	2
VII. 眼及び付属器の疾患	884,967	0.6%	15	136	13	51	9	17,352	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	370,488	0.2%	17	55	16	23	16	16,108	17
IX. 循環器系の疾患	17,775,582	11.3%	3	514	4	51	9	348,541	3
X. 呼吸器系の疾患	6,292,738	4.0%	10	481	5	96	1	65,549	15
X I. 消化器系の疾患 ※	15,331,281	9.7%	4	708	1	82	2	186,967	5
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,343,094	3.4%	11	326	8	69	4	77,436	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	8,652,977	5.5%	7	388	7	61	5	141,852	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	11,781,179	7.5%	5	250	11	46	11	256,113	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	94,920	0.1%	18	10	20	6	17	15,820	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	30,622	0.0%	19	15	18	6	17	5,104	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,525,070	5.4%	8	311	9	55	7	155,001	6
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	3,926,195	2.5%	13	123	14	36	14	109,061	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	631,280	0.4%	16	22	17	5	19	126,256	10
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	21,690	0.0%	20	14	19	5	19	4,338	20
合計	157,734,860			2,104		191		825,837	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

## 2. 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

大竹	栄	小方	玖波	栗谷	その他
----	---	----	----	----	-----

### 【大竹】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	74,384,182	8.2%	291
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	48,883,155	5.4%	92
3	0901 高血圧性疾患	48,028,464	5.3%	889
4	1113 その他の消化器系の疾患	37,052,466	4.1%	714
5	0402 糖尿病	36,539,115	4.0%	912
6	0403 脂質異常症	34,044,874	3.8%	895
7	0903 その他の心疾患	21,678,130	2.4%	539
8	0606 その他の神経系の疾患	21,334,887	2.4%	507
9	0906 脳梗塞	20,862,017	2.3%	182
10	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	19,957,791	2.2%	731

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【栄】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	34,768,105	9.4%	46
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	22,929,706	6.2%	165
3	0901 高血圧性疾患	21,339,095	5.7%	430
4	1113 その他の消化器系の疾患	16,407,264	4.4%	362
5	0402 糖尿病	15,395,275	4.1%	404
6	0403 脂質異常症	14,399,052	3.9%	428
7	0105 ウイルス性肝炎	10,712,601	2.9%	63
8	0903 その他の心疾患	10,307,846	2.8%	219
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	8,603,064	2.3%	259
10	0902 虚血性心疾患	8,380,614	2.3%	175

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

大竹	栄	小方	玖波	栗谷	その他
----	---	----	----	----	-----

### 【小方】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901 高血圧性疾患	36,684,275	5.9%	742
2	1113 その他の消化器系の疾患	34,690,055	5.6%	622
3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	30,483,781	4.9%	273
4	0402 糖尿病	29,252,033	4.7%	722
5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	26,691,117	4.3%	61
6	0403 脂質異常症	23,091,332	3.7%	740
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	19,340,778	3.1%	451
8	0902 虚血性心疾患	15,196,396	2.4%	273
9	0906 脳梗塞	15,089,244	2.4%	127
10	1105 胃炎及び十二指腸炎	14,163,657	2.3%	733

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【玖波】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	62,354,055	10.9%	45
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	31,478,309	5.5%	158
3	1113 その他の消化器系の疾患	25,141,533	4.4%	386
4	0901 高血圧性疾患	23,078,076	4.0%	438
5	0903 その他の心疾患	19,177,304	3.4%	204
6	0402 糖尿病	18,978,786	3.3%	414
7	0902 虚血性心疾患	17,989,993	3.1%	155
8	0606 その他の神経系の疾患	17,865,743	3.1%	259
9	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	15,837,550	2.8%	80
10	0403 脂質異常症	15,220,421	2.7%	439

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

大竹	栄	小方	玖波	栗谷	その他
----	---	----	----	----	-----

### 【栗谷】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	27,754,278	29.1%	7
2	0606 その他の神経系の疾患	6,359,856	6.7%	52
3	0208 悪性リンパ腫	4,055,126	4.2%	3
4	0901 高血圧性疾患	3,028,731	3.2%	74
5	0402 糖尿病	3,002,885	3.1%	74
6	1113 その他の消化器系の疾患	2,848,586	3.0%	64
7	0902 虚血性心疾患	2,782,010	2.9%	35
8	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	2,718,268	2.8%	9
9	1307 その他の脊柱障害	2,581,980	2.7%	6
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	2,230,875	2.3%	40

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	18,764,579	11.9%	24
2	1113 その他の消化器系の疾患	9,875,759	6.3%	51
3	1402 腎不全	9,538,377	6.0%	9
4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,525,070	5.4%	55
5	0606 その他の神経系の疾患	7,736,726	4.9%	40
6	0902 虚血性心疾患	5,201,128	3.3%	15
7	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	5,092,080	3.2%	45
8	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	4,919,166	3.1%	16
9	0501 血管性及び詳細不明の認知症	4,749,523	3.0%	2
10	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	4,609,555	2.9%	8

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

大竹	栄	小方	玖波	栗谷	その他
----	---	----	----	----	-----

### 【大竹】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	36,539,115	912	41.5%
2	0403 脂質異常症	34,044,874	895	40.7%
3	0901 高血圧性疾患	48,028,464	889	40.4%
4	1105 胃炎及び十二指腸炎	17,721,797	839	38.1%
5	1110 その他の肝疾患	9,573,705	770	35.0%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	19,957,791	731	33.2%
7	1113 その他の消化器系の疾患	37,052,466	714	32.5%
8	1003 その他の急性上気道感染症	7,703,279	660	30.0%
9	1006 アレルギー性鼻炎	7,658,644	571	26.0%
10	0703 屈折及び調節の障害	3,232,326	555	25.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【栄】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	21,339,095	430	41.1%
2	0403 脂質異常症	14,399,052	428	41.0%
3	0402 糖尿病	15,395,275	404	38.7%
4	1110 その他の肝疾患	4,911,169	380	36.4%
5	1105 胃炎及び十二指腸炎	7,766,419	371	35.5%
6	1113 その他の消化器系の疾患	16,407,264	362	34.6%
7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,301,195	332	31.8%
8	0703 屈折及び調節の障害	1,327,909	294	28.1%
9	1003 その他の急性上気道感染症	2,452,664	277	26.5%
10	0701 結膜炎	1,599,976	260	24.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大竹	栄	小方	玖波	栗谷	その他
----	---	----	----	----	-----

### 【小方】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	36,684,275	742	39.0%
2	0403 脂質異常症	23,091,332	740	38.9%
3	1105 胃炎及び十二指腸炎	14,163,657	733	38.6%
4	0402 糖尿病	29,252,033	722	38.0%
5	1113 その他の消化器系の疾患	34,690,055	622	32.7%
6	1003 その他の急性上気道感染症	4,865,117	616	32.4%
7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13,284,585	608	32.0%
8	1110 その他の肝疾患	7,133,981	600	31.6%
9	0703 屈折及び調節の障害	2,844,502	518	27.2%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	5,890,530	459	24.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【玖波】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0403 脂質異常症	15,220,421	439	39.3%
2	0901 高血圧性疾患	23,078,076	438	39.2%
3	0402 糖尿病	18,978,786	414	37.1%
4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	12,045,604	412	36.9%
5	1110 その他の肝疾患	6,204,913	407	36.5%
6	1113 その他の消化器系の疾患	25,141,533	386	34.6%
7	1105 胃炎及び十二指腸炎	9,392,696	378	33.9%
8	1003 その他の急性上気道感染症	2,874,738	334	29.9%
9	0703 屈折及び調節の障害	1,826,803	300	26.9%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	11,792,458	293	26.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大竹	栄	小方	玖波	栗谷	その他
----	---	----	----	----	-----

### 【栗谷】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	3,028,731	74	50.7%
1	0402 糖尿病	3,002,885	74	50.7%
3	0403 脂質異常症	2,099,294	73	50.0%
4	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,413,998	66	45.2%
5	1113 その他の消化器系の疾患	2,848,586	64	43.8%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,510,844	61	41.8%
7	1110 その他の肝疾患	535,506	54	37.0%
8	0606 その他の神経系の疾患	6,359,856	52	35.6%
9	0703 屈折及び調節の障害	342,363	49	33.6%
10	0903 その他の心疾患	1,535,657	43	29.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,525,070	55	28.8%
2	1113 その他の消化器系の疾患	9,875,759	51	26.7%
2	1202 皮膚炎及び湿疹	1,968,881	51	26.7%
4	1003 その他の急性上気道感染症	530,830	48	25.1%
5	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	2,633,173	47	24.6%
6	0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	5,092,080	45	23.6%
7	0606 その他の神経系の疾患	7,736,726	40	20.9%
7	0703 屈折及び調節の障害	186,072	40	20.9%
9	1006 アレルギー性鼻炎	508,377	37	19.4%
10	0901 高血圧性疾患	2,234,468	34	17.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像(手書きも含む)及び電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

# 年度別 特定健康診査結果分析

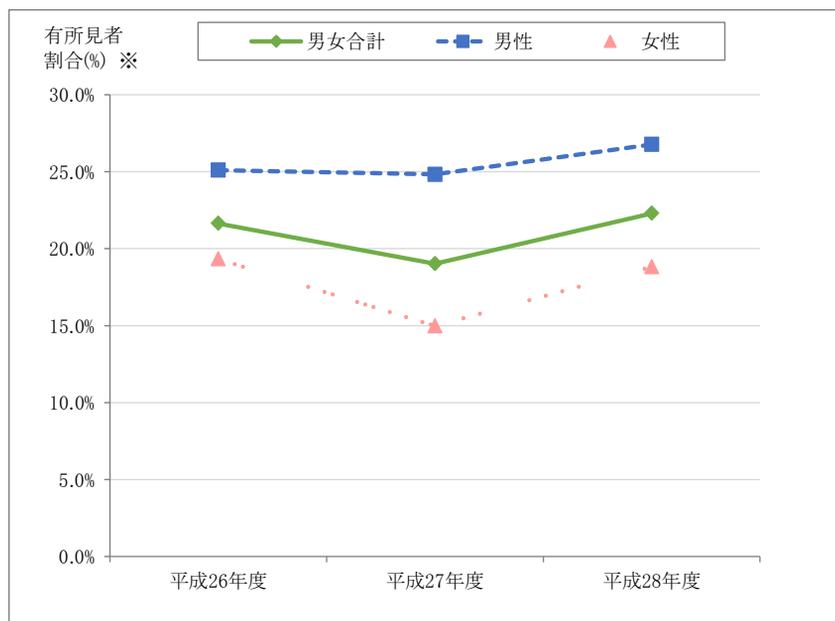
## 1. 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,285	1,404	1,709
	有所見者数(人) ※	278	267	381
	有所見者割合(%) ※	21.6%	19.0%	22.3%
男性	対象者数(人) ※	514	576	747
	有所見者数(人) ※	129	143	200
	有所見者割合(%) ※	25.1%	24.8%	26.8%
女性	対象者数(人) ※	771	828	962
	有所見者数(人) ※	149	124	181
	有所見者割合(%) ※	19.3%	15.0%	18.8%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

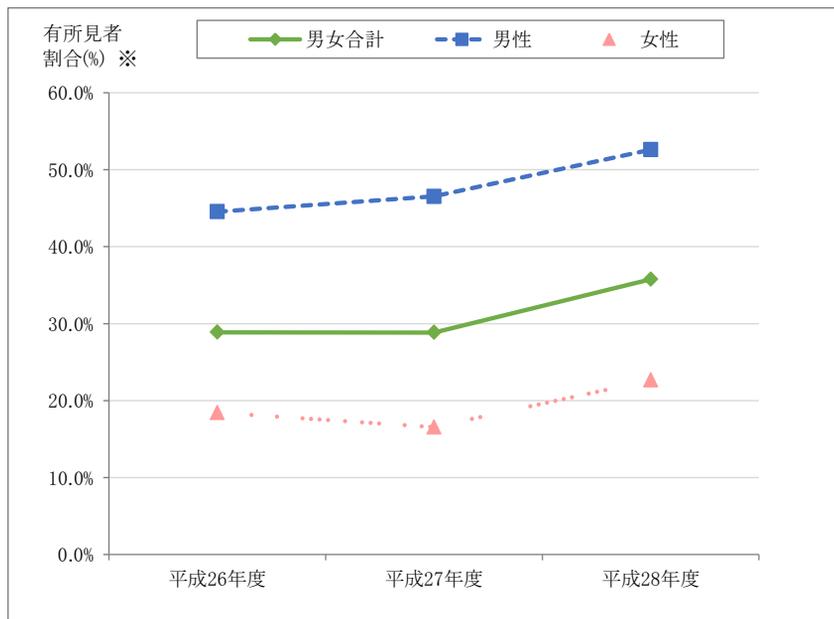
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

## 年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,285	1,404	1,709
	有所見者数(人) ※	371	405	611
	有所見者割合(%) ※	28.9%	28.8%	35.8%
男性	対象者数(人) ※	514	576	747
	有所見者数(人) ※	229	268	393
	有所見者割合(%) ※	44.6%	46.5%	52.6%
女性	対象者数(人) ※	771	828	962
	有所見者数(人) ※	142	137	218
	有所見者割合(%) ※	18.4%	16.5%	22.7%

## 年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

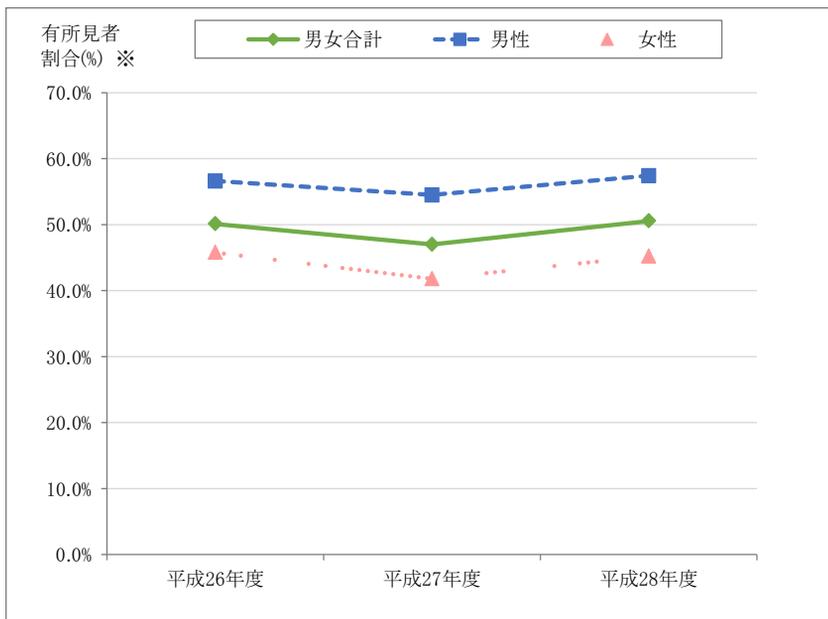
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲: 男性85cm以上、女性90cm以上

## 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,285	1,404	1,709
	有所見者数(人) ※	644	660	864
	有所見者割合(%) ※	50.1%	47.0%	50.6%
男性	対象者数(人) ※	514	576	747
	有所見者数(人) ※	291	314	429
	有所見者割合(%) ※	56.6%	54.5%	57.4%
女性	対象者数(人) ※	771	828	962
	有所見者数(人) ※	353	346	435
	有所見者割合(%) ※	45.8%	41.8%	45.2%

## 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

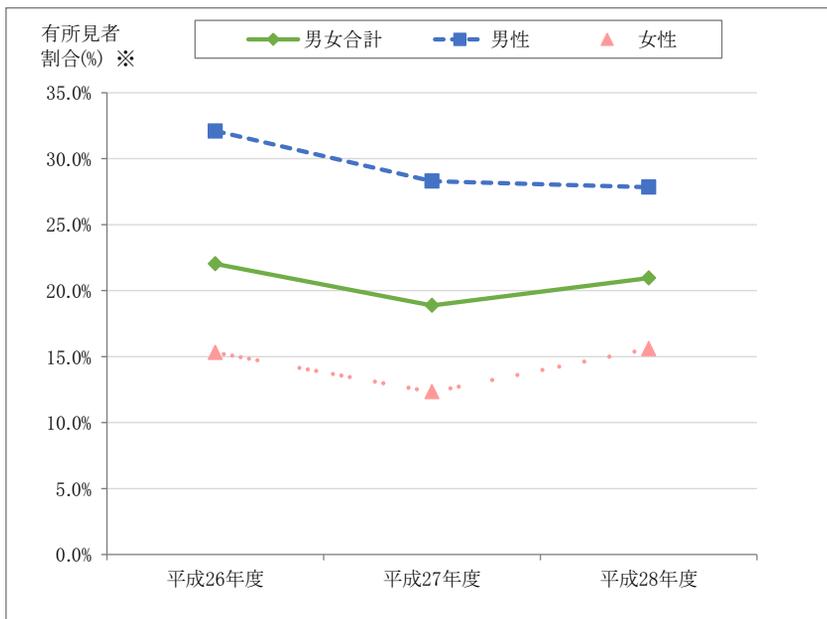
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

## 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,285	1,404	1,709
	有所見者数(人) ※	283	265	358
	有所見者割合(%) ※	22.0%	18.9%	20.9%
男性	対象者数(人) ※	514	576	747
	有所見者数(人) ※	165	163	208
	有所見者割合(%) ※	32.1%	28.3%	27.8%
女性	対象者数(人) ※	771	828	962
	有所見者数(人) ※	118	102	150
	有所見者割合(%) ※	15.3%	12.3%	15.6%

## 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。  
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

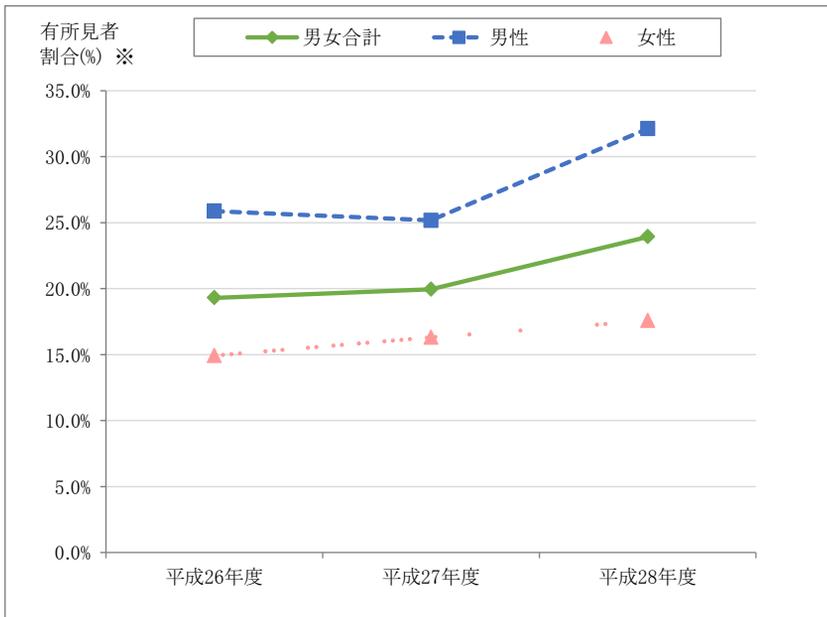
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

## 年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,285	1,404	1,709
	有所見者数(人) ※	248	280	409
	有所見者割合(%) ※	19.3%	19.9%	23.9%
男性	対象者数(人) ※	514	576	747
	有所見者数(人) ※	133	145	240
	有所見者割合(%) ※	25.9%	25.2%	32.1%
女性	対象者数(人) ※	771	828	962
	有所見者数(人) ※	115	135	169
	有所見者割合(%) ※	14.9%	16.3%	17.6%

## 年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。  
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

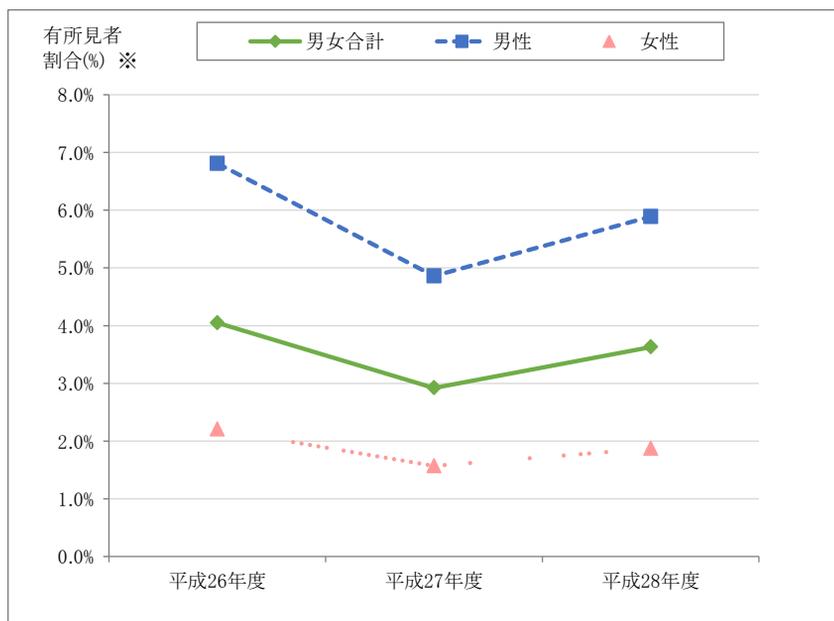
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,285	1,404	1,709
	有所見者数(人) ※	52	41	62
	有所見者割合(%) ※	4.0%	2.9%	3.6%
男性	対象者数(人) ※	514	576	747
	有所見者数(人) ※	35	28	44
	有所見者割合(%) ※	6.8%	4.9%	5.9%
女性	対象者数(人) ※	771	828	962
	有所見者数(人) ※	17	13	18
	有所見者割合(%) ※	2.2%	1.6%	1.9%

## 年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。  
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

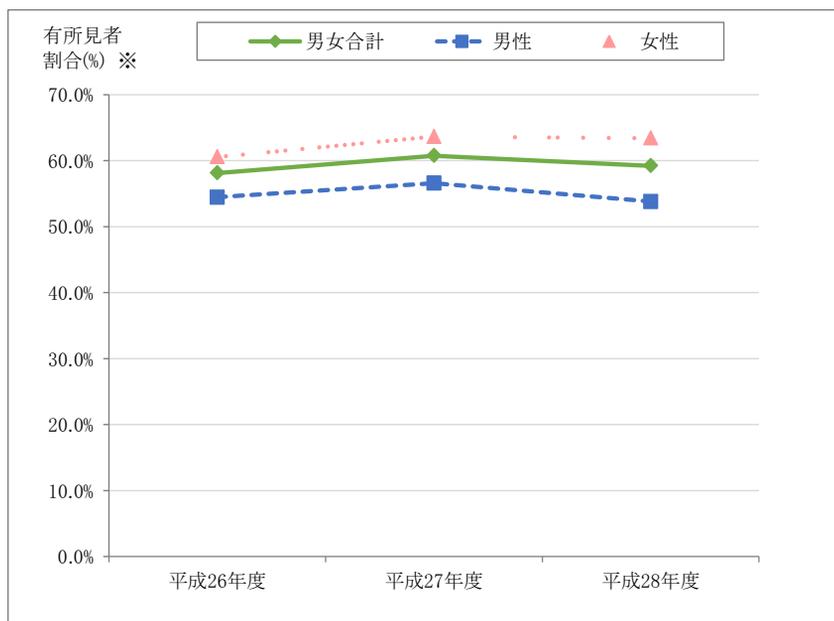
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

## 年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,285	1,404	1,709
	有所見者数(人) ※	747	853	1,012
	有所見者割合(%) ※	58.1%	60.8%	59.2%
男性	対象者数(人) ※	514	576	747
	有所見者数(人) ※	280	326	402
	有所見者割合(%) ※	54.5%	56.6%	53.8%
女性	対象者数(人) ※	771	828	962
	有所見者数(人) ※	467	527	610
	有所見者割合(%) ※	60.6%	63.6%	63.4%

## 年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。  
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

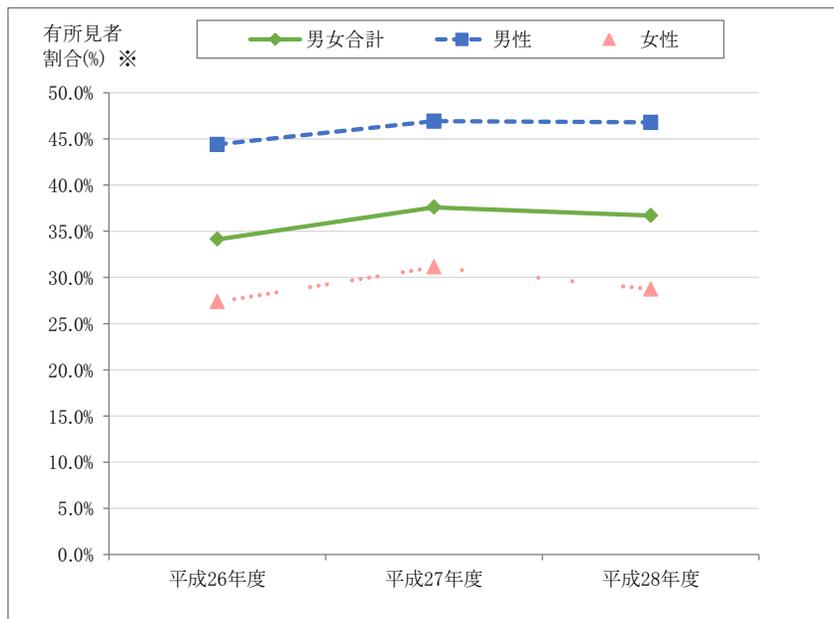
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,213	1,269	1,594
	有所見者数(人) ※	414	477	585
	有所見者割合(%) ※	34.1%	37.6%	36.7%
男性	対象者数(人) ※	482	520	703
	有所見者数(人) ※	214	244	329
	有所見者割合(%) ※	44.4%	46.9%	46.8%
女性	対象者数(人) ※	731	749	891
	有所見者数(人) ※	200	233	256
	有所見者割合(%) ※	27.4%	31.1%	28.7%

## 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。  
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

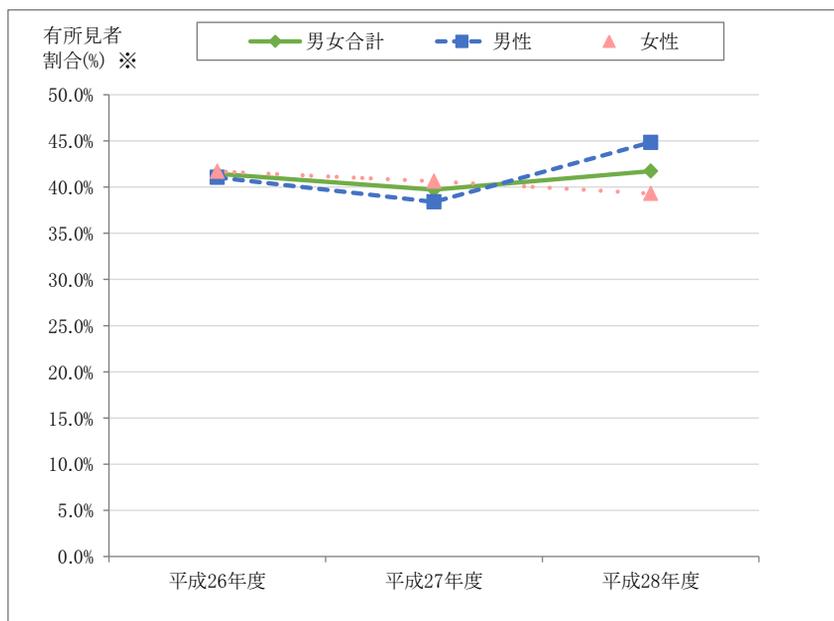
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

## 年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,284	1,400	1,709
	有所見者数(人) ※	532	556	713
	有所見者割合(%) ※	41.4%	39.7%	41.7%
男性	対象者数(人) ※	514	573	747
	有所見者数(人) ※	211	220	335
	有所見者割合(%) ※	41.1%	38.4%	44.8%
女性	対象者数(人) ※	770	827	962
	有所見者数(人) ※	321	336	378
	有所見者割合(%) ※	41.7%	40.6%	39.3%

## 年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。  
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。  
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

## 2. 質問別回答状況

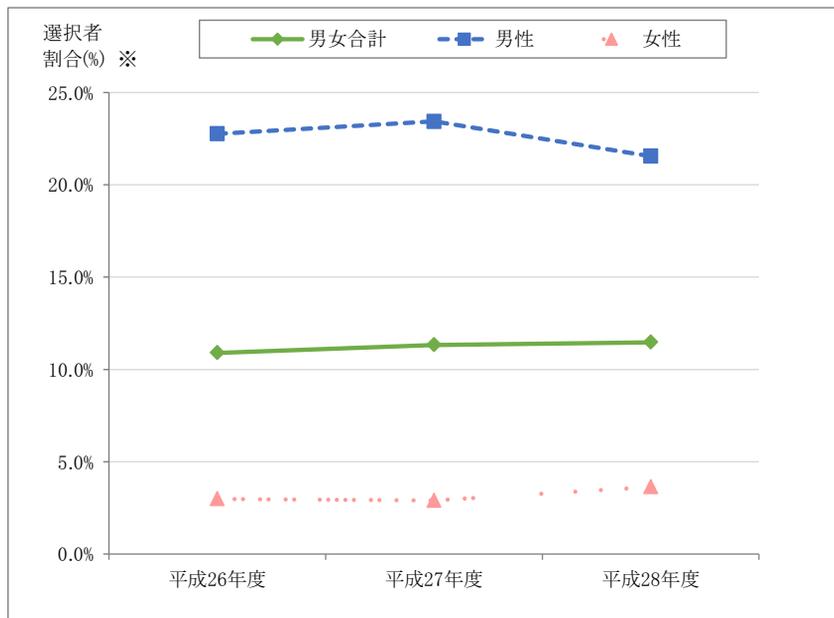
平成26年度から平成28年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

### ①喫煙習慣

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,285	1,404	1,709
	選択者数(人) ※	140	159	196
	選択者割合(%) ※	10.9%	11.3%	11.5%
男性	質問回答者数(人) ※	514	576	747
	選択者数(人) ※	117	135	161
	選択者割合(%) ※	22.8%	23.4%	21.6%
女性	質問回答者数(人) ※	771	828	962
	選択者数(人) ※	23	24	35
	選択者割合(%) ※	3.0%	2.9%	3.6%

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

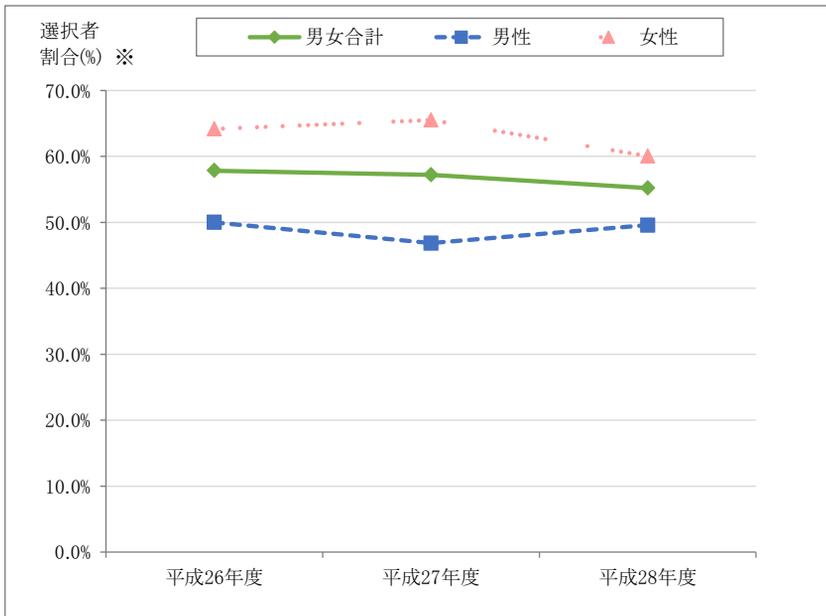
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

## ②運動習慣

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	600	785	770
	選択者数(人) ※	347	449	425
	選択者割合(%) ※	57.8%	57.2%	55.2%
男性	質問回答者数(人) ※	268	350	357
	選択者数(人) ※	134	164	177
	選択者割合(%) ※	50.0%	46.9%	49.6%
女性	質問回答者数(人) ※	332	435	413
	選択者数(人) ※	213	285	248
	選択者割合(%) ※	64.2%	65.5%	60.0%

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

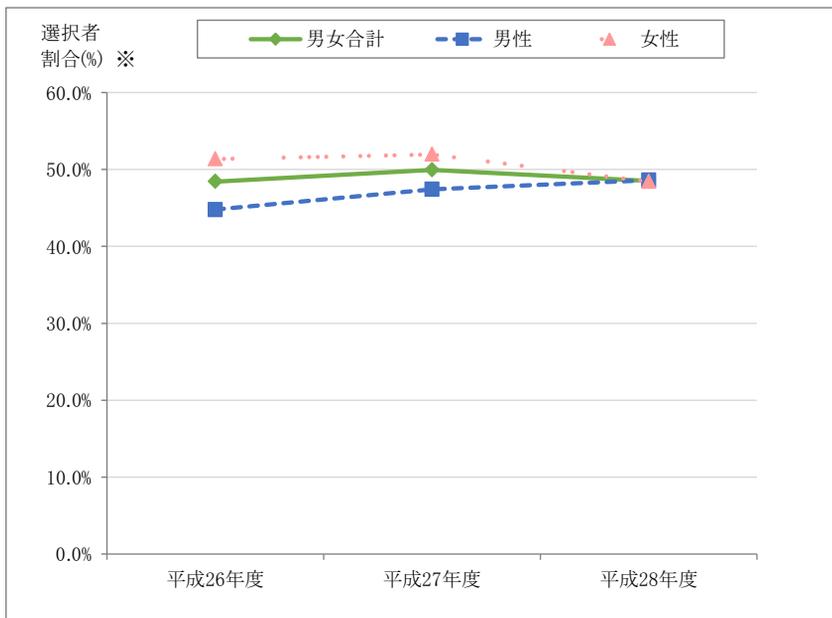
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

## 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	599	785	771
	選択者数(人) ※	290	392	374
	選択者割合(%) ※	48.4%	49.9%	48.5%
男性	質問回答者数(人) ※	268	350	358
	選択者数(人) ※	120	166	174
	選択者割合(%) ※	44.8%	47.4%	48.6%
女性	質問回答者数(人) ※	331	435	413
	選択者数(人) ※	170	226	200
	選択者割合(%) ※	51.4%	52.0%	48.4%

## 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

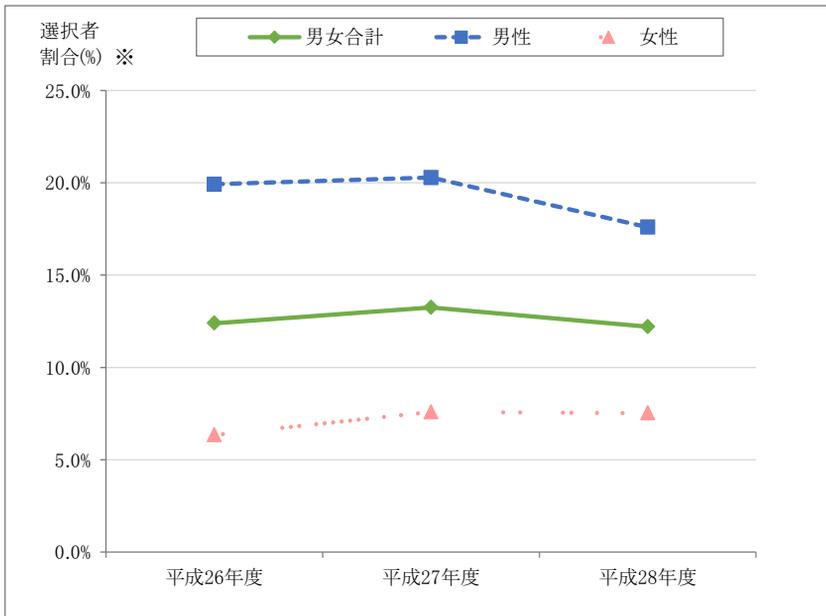
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

### ③食習慣

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	597	785	770
	選択者数(人) ※	74	104	94
	選択者割合(%) ※	12.4%	13.2%	12.2%
男性	質問回答者数(人) ※	266	350	358
	選択者数(人) ※	53	71	63
	選択者割合(%) ※	19.9%	20.3%	17.6%
女性	質問回答者数(人) ※	331	435	412
	選択者数(人) ※	21	33	31
	選択者割合(%) ※	6.3%	7.6%	7.5%

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

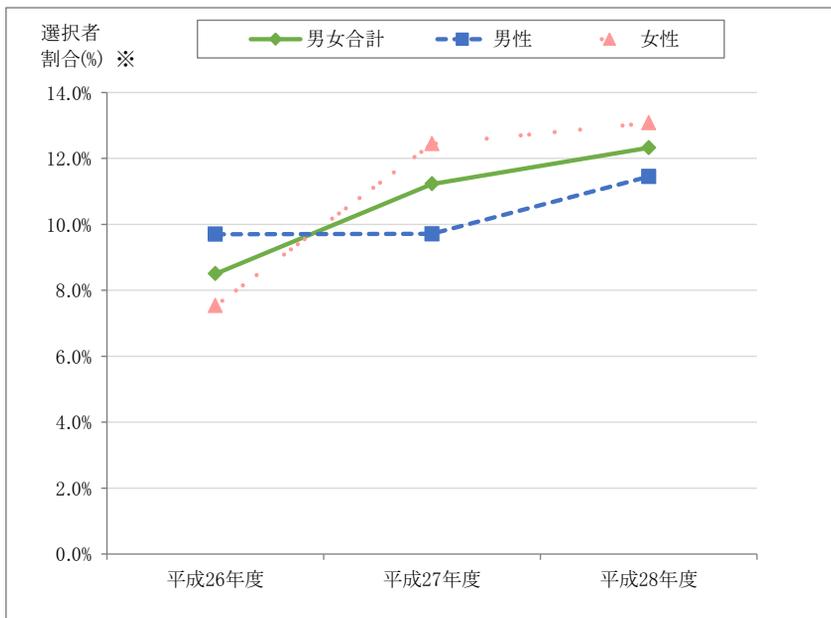
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

## 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	600	784	771
	選択者数(人) ※	51	88	95
	選択者割合(%) ※	8.5%	11.2%	12.3%
男性	質問回答者数(人) ※	268	350	358
	選択者数(人) ※	26	34	41
	選択者割合(%) ※	9.7%	9.7%	11.5%
女性	質問回答者数(人) ※	332	434	413
	選択者数(人) ※	25	54	54
	選択者割合(%) ※	7.5%	12.4%	13.1%

## 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

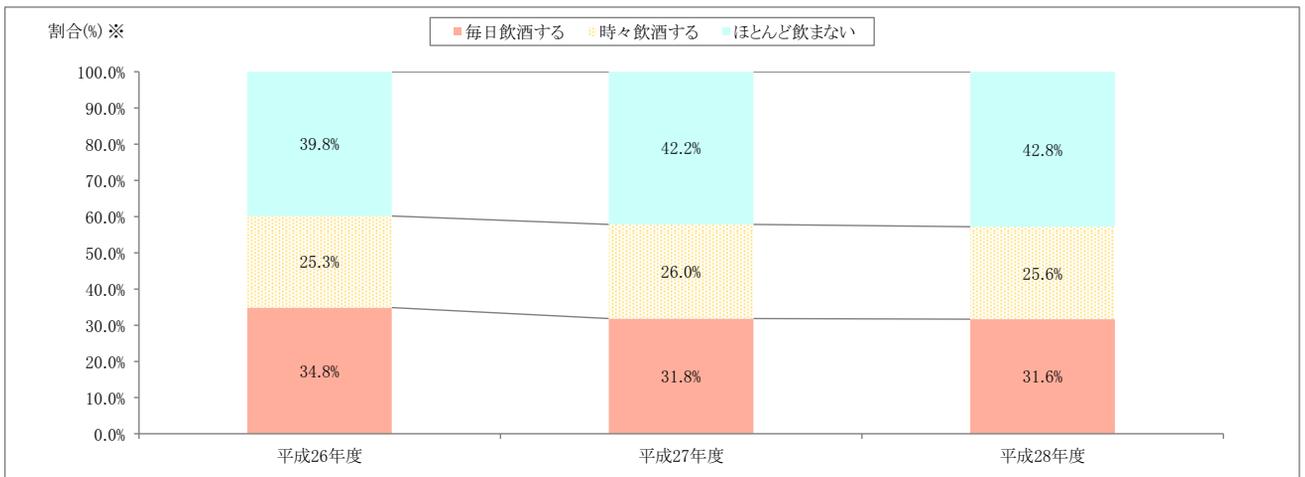
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

#### ④ 飲酒習慣

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	600	209	34.8%	152	25.3%	239	39.8%
平成27年度	785	250	31.8%	204	26.0%	331	42.2%
平成28年度	771	244	31.6%	197	25.6%	330	42.8%

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

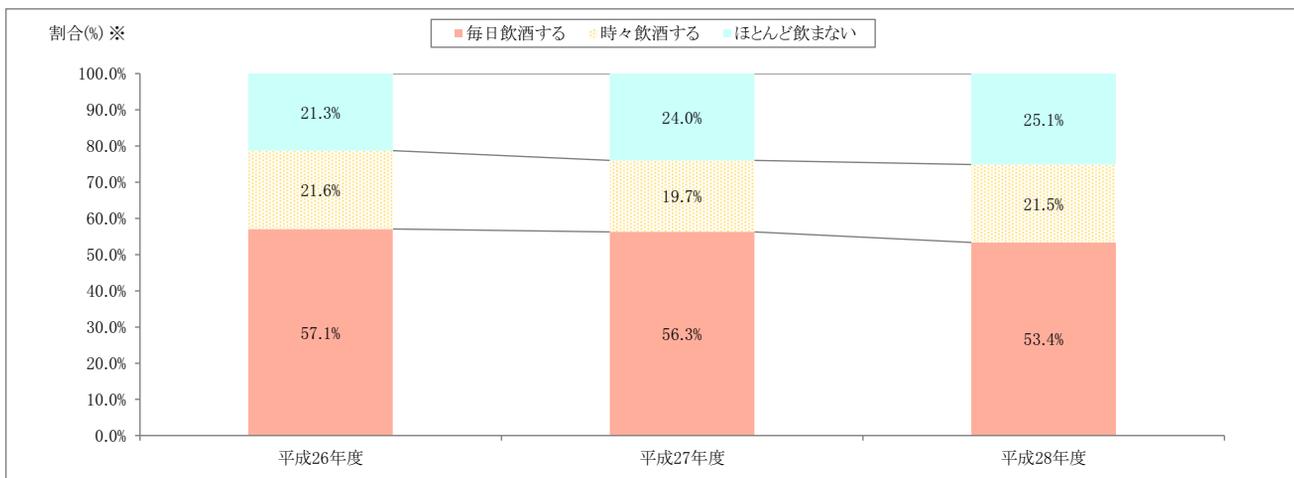
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	268	153	57.1%	58	21.6%	57	21.3%
平成27年度	350	197	56.3%	69	19.7%	84	24.0%
平成28年度	358	191	53.4%	77	21.5%	90	25.1%

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

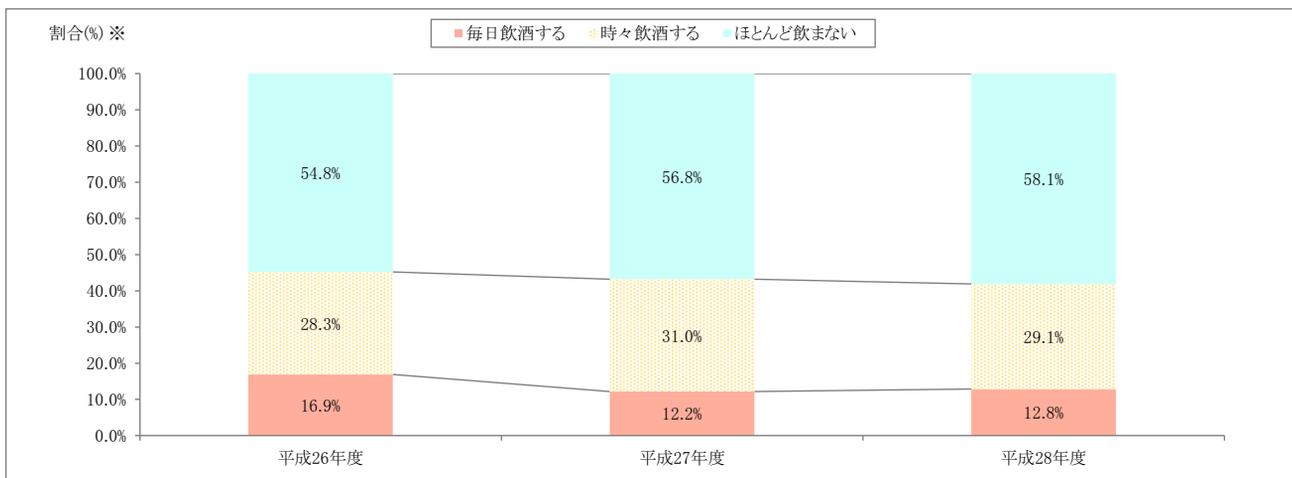
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	332	56	16.9%	94	28.3%	182	54.8%
平成27年度	435	53	12.2%	135	31.0%	247	56.8%
平成28年度	413	53	12.8%	120	29.1%	240	58.1%

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

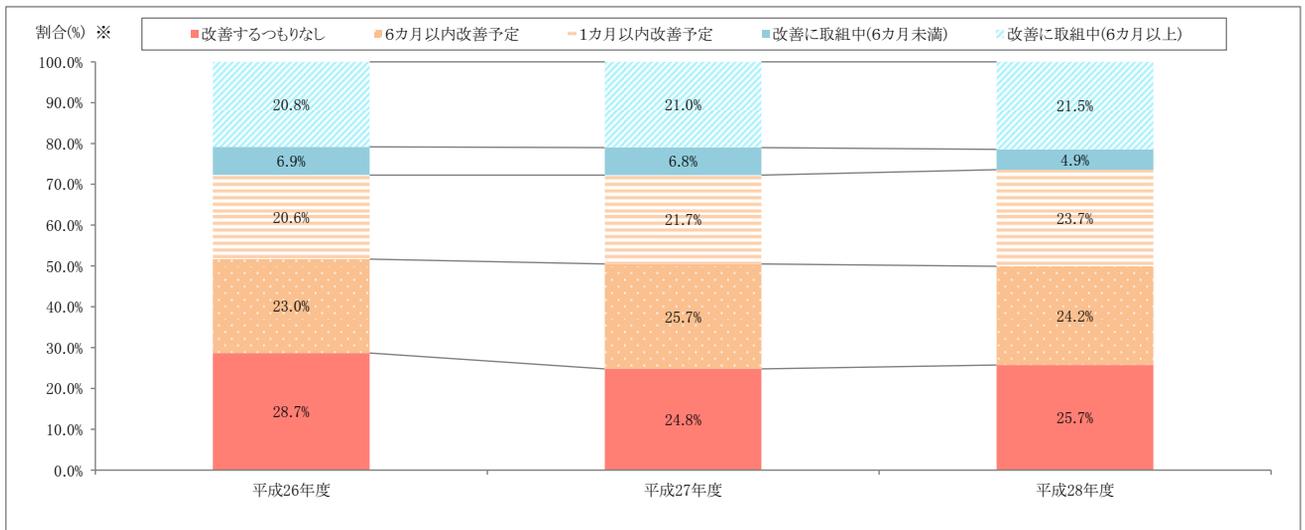
## ⑤生活習慣

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	596	171	28.7%	137	23.0%	123	20.6%
平成27年度	782	194	24.8%	201	25.7%	170	21.7%
平成28年度	769	198	25.7%	186	24.2%	182	23.7%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	596	41	6.9%	124	20.8%
平成27年度	782	53	6.8%	164	21.0%
平成28年度	769	38	4.9%	165	21.5%

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

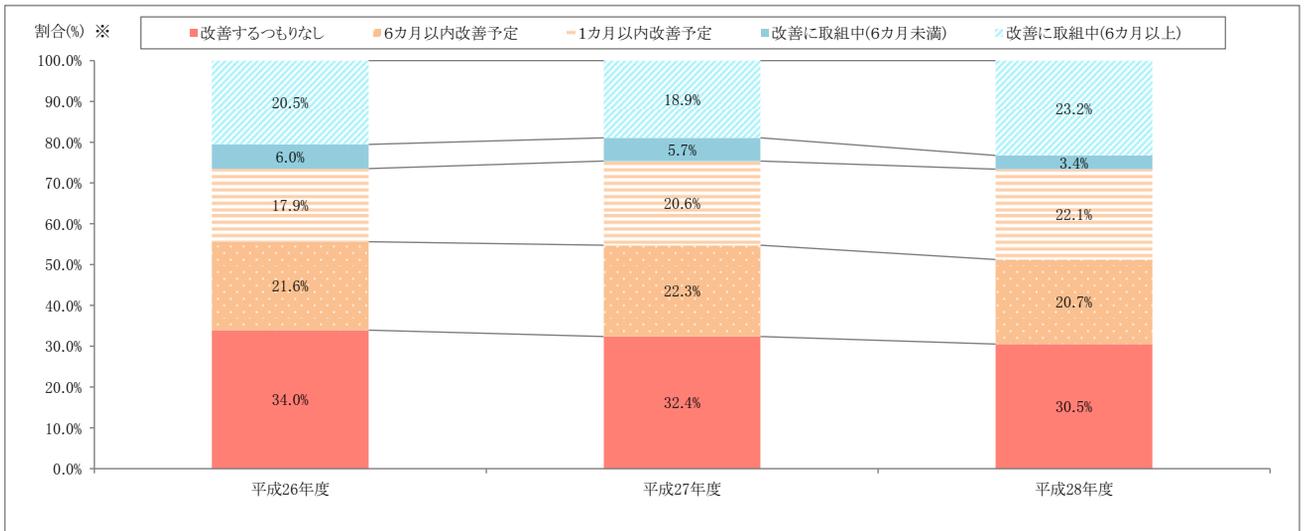
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	268	91	34.0%	58	21.6%	48	17.9%
平成27年度	349	113	32.4%	78	22.3%	72	20.6%
平成28年度	357	109	30.5%	74	20.7%	79	22.1%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	268	16	6.0%	55	20.5%
平成27年度	349	20	5.7%	66	18.9%
平成28年度	357	12	3.4%	83	23.2%

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

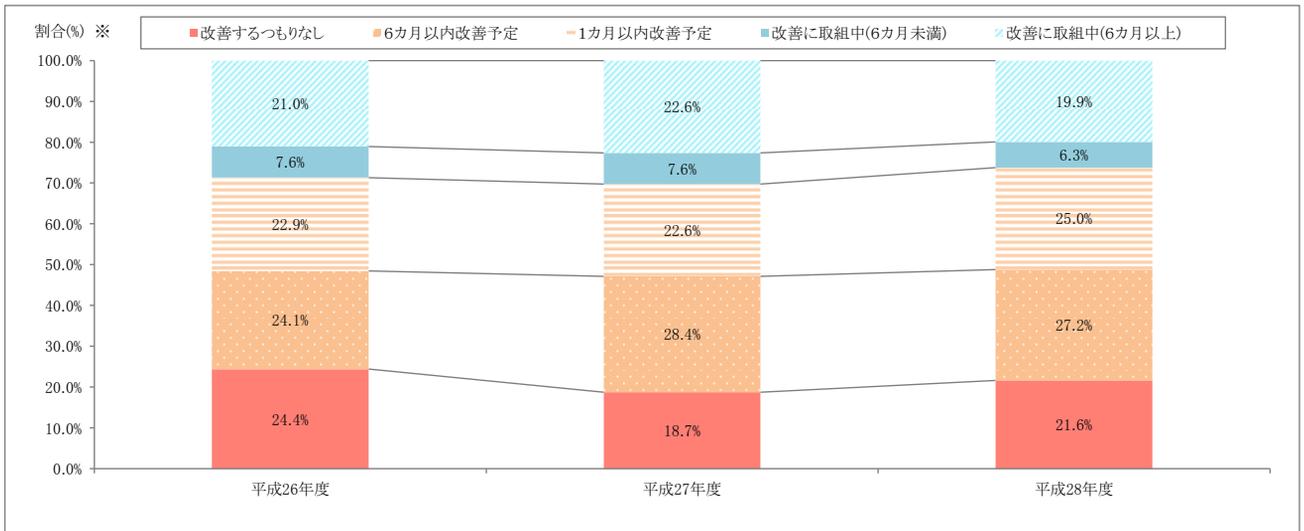
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	328	80	24.4%	79	24.1%	75	22.9%
平成27年度	433	81	18.7%	123	28.4%	98	22.6%
平成28年度	412	89	21.6%	112	27.2%	103	25.0%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	328	25	7.6%	69	21.0%
平成27年度	433	33	7.6%	98	22.6%
平成28年度	412	26	6.3%	82	19.9%

## 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

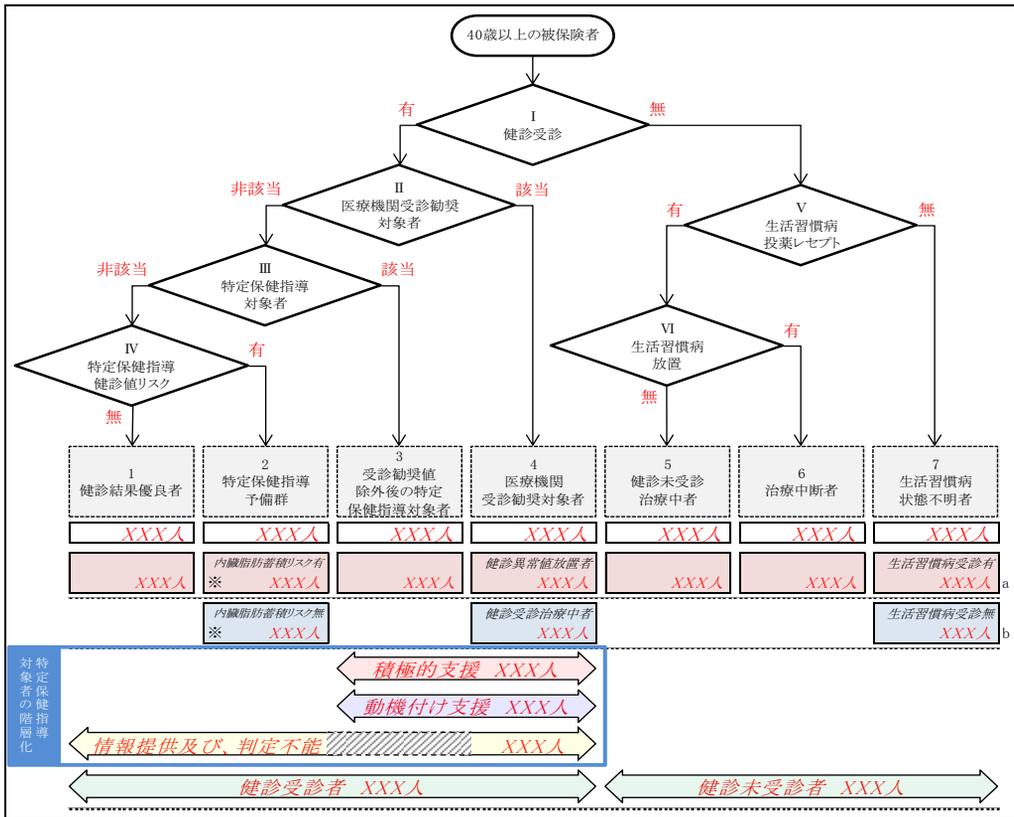
※選択者数 …生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合 …生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

## 1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

### 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



#### 【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク…厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

#### 【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
  - 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
    - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
    - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
  - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者…受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
  - 4. 医療機関受診勧奨対象者 健診異常値放置者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
    - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
    - …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
  - 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
  - 7. 生活習慣病状態不明者…生活習慣病の投薬治療をしていない者。
    - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
    - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

## 2. 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版) 準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3か月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導修了後、対象者は行動計画を実践し、3か月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2か月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

### 3. 疾病分類表 (2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	膀胱癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の痲痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎〔アルコール性のものを除く〕	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変〔アルコール性のものを除く〕	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害＜損傷＞	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子痛
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 嚢形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		